シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	エンジンⅠ－Ａ

教員（実務経験）	菊田　直樹（メーカー）	中林　聖弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	工具の名称・用途について学ぶ 工具を使った基本的な作業方法を身に付ける 全ての作業に通じる作業姿勢など、基本動作を身に付ける ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	工具の名称・用途等を、身に付けることができる 自動車部品の分解・組み付けにおいて、安全で正確な作業ができるようになる
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具一式
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	無し

授業時間	学科	実習	試験
6	1	5	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	工具取り扱い	工具の名称・用途が理解できる		1
実習	工具の選択	作業種類に応じた工具の選択　使い方の基礎能力を養う	224	1
実習	工具の使い方	ｽﾊﾟﾅ ｵﾌｾｯﾄﾚﾝﾁ ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝﾊﾞｰ Tﾊﾝﾄﾞﾙ ｽﾋﾟﾝﾅｰﾊﾝﾄﾞﾙ ﾗﾁｪｯﾄ	224	1
実習	工具の使い方	ｿｹｯﾄﾚﾝﾁ ｿｹｯﾄｱﾀﾞﾌﾟﾀｰﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ ｿｹｯﾄﾄﾞﾗｲﾊﾞｰﾌﾟﾗｲﾔｰ ﾆｰﾄﾞﾙﾉｰｽﾞ	224	1
実習	締め付けトルク	F型トルクレンチで正しい締め付けができるようになる	224	1
実習	作業姿勢・備品の脱着	ボルトナットスタッドボルト　脱着ができる	224	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	エンジンⅠ－Ａ

教員（実務経験）	菊田　直樹（メーカー）	中林　聖弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要　仕組み　３要素 動弁機構　冷却装置　吸気排気装置　構造と交換作業 修理書の見方　、　工具取り扱いの習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	動弁機構について理解し説明でき、国家試験が解ける 吸排気装置・冷却装置を理解し説明できる 冷却・動弁装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス 二級自動車整備士（総合）・三級自動車整備士（総合） 自動車整備技術 エンジン編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
45	15	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	動弁装置	基本的なエンジンの構造・動弁機構種類が理解できる		4
学科	動弁装置	（エンジンメカニカル２　動弁機構の種類）		
学科	動弁装置	（エンジンメカニカル２　動弁機構の構成）		
学科	動弁装置	（エンジンメカニカル２　バルブタイミング）		
学科	動弁装置	バルブタイミング　国家試験問題が解ける		2
学科	吸排気装置	基本的なエンジンの構造　吸気装置の仕組みが理解できる		2
学科	吸排気装置	（エンジンメカニカル３　吸気装置）		
学科	吸排気装置	基本的なエンジンの構造　排気装置の仕組みが理解できる		1
学科	吸排気装置	（エンジンメカニカル４　排気）		
学科	冷却装置	基本的なエンジンの構造　冷却装置の仕組みが理解できる		5
学科	冷却装置	（エンジンメカニカル５　冷却装置）		
学科	学科まとめ	確認試験、Forms問題		1
実習	修理書の見方	一般作業の説明範囲　準備品　作業手順について理解を深める		1
実習	修理書の見方	用語の定義　略語　SI単位について理解を深める		
実習	修理書の見方	標準ボルトナットについての理解を深める		
実習	冷却装置	冷却装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
実習	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3
実習	分解作業	冷却水抜き取り	32実	
実習	分解作業	ラジエータ取り外し、ベルト・ファンプーリー取り外し	32実	
実習	分解作業	テンショナー、ウォーターポンプ、サーモスタット取り外し	32実	
実習	構造研究	各部品の構造を理解する	32実	2
実習	点検、作動確認	サーモスタット、ファンクラッチ	32実	1
実習	組付作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	4
実習	組付作業	サーモスタット、ウォーターポンプ、テンショナー取り付け	32実	
実習	組付作業	ベルト・ファンプーリー取り付け、ラジエータ取り付け	32実	
実習	組付作業	冷却水注水	32実	
実習	各種点検	漏れ点検、キャップ点検、ＬＬＣ濃度点検	32実	3
実習	動弁機構	動弁機構（ラッシュアジャスター含む）について理解を深める	32実	3
実習	動弁装置	バルブ交換作業ができる	32実	3
実習	吸排気装置	吸気・排気装置の概要について理解を深める	32実	2
実習	チェックシート	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP ﾁｪｯｸｼｰﾄ】	32実	2
実習	チェックシート	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP ﾁｪｯｸｼｰﾄ】	32実	1
実習	実技まとめ	確認試験、Forms問題		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	エンジンⅠ－Ａ

教員（実務経験）	菊田　直樹（メーカー）	中林　聖弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要　仕組み エンジン本体　分解作業・構造確認 修理書の見方　、　工具取り扱いの習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる エンジン本体について理解し説明でき、国家試験が解ける 各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス 二級自動車整備士（総合） 三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
45	12	31	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン構造	シリンダブロックの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	ピストンの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	ピストンリングの構造や種類を理解する		2
学科	エンジン構造	コンロッドの構造を理解する		1
学科	エンジン構造	ベアリングメタルの種類・性質や特性を理解する		2
学科	エンジン構造	クランクシャフトの構造を理解する		1
学科	エンジン構造	フライホイール・クランクプーリーの構造を理解する		1
学科	学科まとめ	確認試験、Forms問題		1
実習	オーバホールについて	「オーバホール」について　STEP２p50～５５	32実	1
実習	オーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	2
実習	オーバホール	燃料流出防止作業　Fクイックコネクター　冷却水抜き	32実	1
実習	オーバホール	吸気系統、ハーネス　冷却水系統　電装系統取り外し	32実	1
実習	オーバホール	吸気系統　排気系統　センサー系統　ファンベルト関係取り外しき	32実	1
実習	オーバホール	シリンダヘッドカバーassy　クラッチハウジング　フライホール取り外し	32実	1
実習	オーバホール	圧縮上死点セット、クランクプーリ取り外し	32実	1
実習	オーバホール	オイルパン　タイミングチェーンカバー取り外し	32実	1
実習	オーバホール	タイミングチェーン機構	32実	1
実習	オーバホール	カムシャフト取り外し　動弁機構	32実	1
実習	オーバホール	シリンダヘッド、ヘッドガスケット	32実	1
実習	オーバホール	ピストン　クランクシャフト取り外し	32実	2
実習	エンジン本体	構造研究をとおして構造を理解する	32実	5
実習	点検	構造研究　オイルポンプ点検	32実	2
実習	点検	構造研究　ラッシュアジャスタ点検	32実	1
実習	チェックシート	ピストンリング脱着　練習	32実	2
実習	チェックシート	ピストンリング脱着【Ｇ３８００２】70点以上	32実	2
実習	チェックシート	ピストン脱着　練習	32実	2
実習	チェックシート	ピストン脱着【Ｇ３８００２】70点以上	32実	2
実習	実技まとめ	確認試験、Forms問題		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	エンジンⅠ－Ａ

教員（実務経験）	菊田　直樹（メーカー）	中林　聖弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	安全作業・リフトの取扱いについて学ぶ リフト操作概要及び操作方法 オイル交換作業の手順及び方法 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	安全作業・リフトの取扱いを理解し、実技授業の多頻度作業に関連付けできる 安全作業・リフトの取扱いを理解し、実技授業の多頻度作業（オイル交換）ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・工具一式
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	無し

授業時間	学科	実習	試験
17	1	16	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	リフト	安全作業・リフトの取扱いを理解する		1
実習	車両	お客様の自動車を意識した丁寧な車両の取扱いができる	31実	1
実習	リフト	安全作業を意識したリフト操作ができる	31実	2
実習	エンジンオイル	点検・交換の必要性を理解し、車両にて正しい作業ができる （作業と同時に交換時期やお客様へのアドバイスができる）	31実	2
実習	オイルフィルター	異なる2種類の基本作業要領を理解し作業ができる	31実	1
実習	オイル＆フィルター１	カートリッジ交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
実習	オイル＆フィルター２	エレメント交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
実習	【ｅテスト】	安全２　７０点以上合格	教室	1
実習	【チェックシート】	エンジンオイル・オイルフィルター交換作業【TEAM-GP】	31実	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	エンジンⅠ－B

教員（実務経験）	定行　智（　　）	田本　伸明（販売会社）

1.授業概要と履修前提	エンジンの種類と役割について学ぶ 4サイクルエンジンの基本的な作動について学ぶ 作業をするうえで最も大切な『安全な作業』を身に付ける ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	今後エンジンについて学ぶ入り口として、4サイクルエンジンとは？を概要的に説明できる
3.使用教科書、準備品	・タブレット
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価なし

授業時間	学科	実習	試験
6	0	6	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	エンジンの種類・役割	基本的なエンジンの種類について理解できる	教室	1
実習	4サイクルエンジン	4サイクルエンジンのやその他の構造について理解できる	教室	1
実習	作業安全（全般）	実作業の中で注意するポイントを知る	教室	1
実習	保護具	保護具の定義が理解できる	32実	1
実習	エンジン始動(安全作業)	エンジン始動に必要な準備、前点検ができるようになる	32実	1
実習	エンジン始動(安全作業)	始動中の安全行動、始動後の４Ｓ作業を実施することができる	32実	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	エンジンⅠ－B

教員（実務経験）	定行　智（　　）	田本　伸明（販売会社）

1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要　仕組み 燃料装置の構造と交換作業・EFI概要・始動装置概要 修理書の見方、工具取り扱い　習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	エンジンの性能について理解し説明でき、国家試験が解ける ガソリンエンジン概要、燃料装置・始動装置を理解し説明できる 燃料装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス 二級自動車整備士（総合） 三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
45	18	25	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジンが力を出す仕組み	ガソリンエンジン概要・仕組み・各行程の作動が理解できる　2STEP		3
学科	ガソリン３要素	エンジンの力をコントロールする要素を理解する		1
学科	【eテスト】	ガソリンが力を出す仕組み　７０点以上合格		1
学科	燃料装置	基本的なエンジンの構造　燃料装置の仕組みが理解できる		3
学科	始動装置	基本的なエンジンの構造　始動装置の仕組みが理解できる		1
学科	EFI	概要・主要な構成部品と基本制御が理解できる		2
学科	EFI	各種センサーアクチュエータが理解できる		1
学科	エンジンの性能	基本的なスペックの知識が理解できる		1
学科	（内燃機関）	（排気量　ボアストローク　出力　トルク　性能曲線　理論サイクル）		1
学科	（内燃機関）	（燃料消費率　燃費モード　熱効率　仕事、仕事率）		1
学科		エンジン性能　国家試験問題が解ける		1
学科	【eテスト】	安全　７０点以上合格		1
学科	学科まとめ	学科復習		1
実習	エンジン始動	作業安全＋ガソリンの性質と取り扱いを理解する	32実	1
実習	エンジン始動	点検・判定が正確にできる(ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙの量 冷却水の量 ﾊﾞｯﾃﾘﾀｰﾐﾅﾙの緩み)	32実	1
実習	修理書の見方	一般作業の説明範囲　準備品　作業手順について理解を深める	32実	1
実習		（用語の定義、略語、SI単位、標準ボルトナット、燃料系統を通して配線図集の見方）		
実習	燃料装置	燃料装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
実習	安全作業	火気に関わる作業・燃料流出防止作業を理解し実践できる	32実	2
実習	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	3
実習	構造研究	ポンプ　フィルター　パイプ　ホース　クイックカプラ各部品の構造を理解する	32実	1
実習	構造研究	パルセーションダンパ　プレッシャレギュレータ各部品の構造を理解する	32実	1
実習	構造研究	デリバリパイプ　インジェクター　ガスケット各部品の構造を理解する	32実	1
実習	組み付け作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	3
実習	締め付けトルク	適正なな締め付けトルクで組み付けができる	32実	1
実習	延長工具	延長工具を取り付けたトルク管理ができる	32実	1
実習	始動装置	始動装置の概要について理解を深める	32実	1
実習	圧力・負圧	インテークマニホールドに発生する圧力について理解を深める	32実	1
実習	燃圧測定	負荷と回転数と燃料消費について理解を深める	32実	1
実習	EFI構成	２級国家試験レベル(ＥＦＩ)の構成部品について理解を深める	32実	1
実習	確認試験	ペーパー問題		1
実習	実技チェック	燃料流出防止作業【TEAM-GP ﾁｪｯｸｼｰﾄ】	32実	1
実習	実技まとめ	実習内容復習	32実	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	エンジンⅠ－B

教員（実務経験）	定行　智（　　）	田本　伸明（販売会社）

1.授業概要と履修前提	内燃機関、ガソリンエンジン概要と仕組み、潤滑装置 エンジン本体　組付け作業・点検 修理書の見方、工具取り扱い　習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる 内燃機関、潤滑装置について理解し説明でき、国家試験が解ける 各装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス 二級自動車整備士（総合） 三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
45	15	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	潤滑装置	ろ過方式、フィルターの構造を理解する		1
学科	潤滑装置	ポンプ各種の構造を理解する		1
学科	潤滑装置	各種バルブの構造を理解する		1
学科	潤滑装置	油路等の構造を理解する		1
学科	潤滑装置	油脂の知識を身につける		1
学科	内燃	「熱・温度・仕事・エネルギー」について理解する		1
学科	内燃	「排気量・圧縮比・平均ピストンスピード」を求めることができる		2
学科	内燃	「平均有効圧力・諸損失」について理解する		1
学科	内燃	「バルブタイミング」について理解する		2
学科	学科まとめ	学科復習		1
学科	eテスト	エンジンメカニカル１【G30008-T03】　７０点以上合格		1
学科	eテスト	エンジンメカニカル５【G30008-T07】　７０点以上合格		
学科	eテスト	ガソリンエンジン１【G41004-T01】　７０点以上合格		
学科	確認試験	試験１ (ｴﾝｼﾞﾝ本体・潤滑装置)		1
学科	確認試験	試験2 (内燃機関)		1
実習	オーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する	32実	1
実習	オーバホール	塑性域締め付け法　ボルト点検　ノギスの使い方	32実	2
実習	オーバホール	ピストンリング　ベアリングメタル取り付け	32実	2
実習	オーバホール	クランクシャフト　ベアリングメタル取り付け	32実	2
実習	オーバホール	シリンダヘッドガスケット　シリンダヘッド取り付け	32実	2
実習	オーバホール	動弁機構＊３	32実	2
実習	オーバホール	カムシャフト取り付け　バルブタイミング　タイミングチェーン	32実	2
実習	オーバホール	タイミングチェーンケースカバー取り付け＊２	32実	2
実習	オーバホール	オイルパン取り付け　＊４	32実	2
実習	オーバホール	クランクプーリ取り付けフライホイール取り付け　＊５	32実	2
実習	オーバホール	吸気　排気　冷却　補記類取り付け	32実	2
実習	エンジン始動	安全作業の習熟　完成点検含む（各種漏れ点検）	32実	2
実習	点検	圧縮圧力点検	32実	3
実習	実技まとめ	実習内容復習	32実	1
実習	確認試験	実習全般		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	エンジンⅠ－Ｂ

教員（実務経験）	定行　智（　　）	田本　伸明（販売会社）

1.授業概要と履修前提	ＥＦＩ・コンピュータ制御について学ぶ ・筒内噴射式エンジンの概要を理解する・外部診断機について学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ＥＦＩ・コンピュータ制御の知識を深め、実技授業の故障探求に関連付けできる 外部診断機（ＧＴＳ＋）の基本的な機能を理解し、適切な操作ができる
3.使用教科書、準備品	・タブレット ・二級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価なし

授業時間	学科	実習	試験
17	3	14	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ＥＦＩ・OBD	ＥＦＩ・ＯＢＤ２機能について理解する		2
学科	【ｅテスト】	筒内噴射装置２ｺﾝﾃﾝﾂ、GTS+の概要　７０点以上合格		1
実習	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の概要を理解する		1
実習	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の基本部品の役割をを理解する		1
実習	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の構造・作動を理解する		1
実習	筒内噴射式エンジン	筒内噴射式の構造・作動を理解する		1
実習	ＧＴＳ＋の構成	主な装置（ＶＩＭ、ＰＣ）の構成、正しい接続が理解できる	32実	1
実習	ＧＴＳ＋の接続	正しい接続、ソフトの起動・設定が理解できる		
実習	ヘルスチェック	操作方法を理解し、ヘルスチェックができる	32実	1
実習	ダイアグノーシス	機能を理解し、ダイアグコード表示・消去がができる	32実	1
実習	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
実習	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
実習	アクティブテスト	機能を理解し、基礎的なアクティブテストができる	32実	1
実習	作業サポート	機能や基礎的なサポート内容の知識を深める	32実	1
実習	カスタマイズ	カスタマイズ項目の知識を深める	32実	1
実習	【ｅテスト】	GTS+の概要　７０点以上合格	32実	1
実習	【チェックシート】	ＧＴＳ取扱い【TEAM-GP】	32実	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	シャシⅠ－Ａ

教員（実務経験）	矢下　椋大（販売会社）	竹谷　康佑（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・正しい車両の取扱いを学ぶ ・安全なジャッキアップダウンを学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる ・ジャッキ、リジッドラックの前点検、正しい取扱いができる ・安全にジャッキアップダウンができる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	レポート評価のみ

授業時間	学科	実習	試験
6	0	6	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	車両取り扱い	安全で正確な取り扱いができる	35A	1
実習	車両取り扱い	車両保護、管理カルテ、車両受け入れ作業ができる	35A	1
実習	ジャッキ取扱い	ジャッキおよびリジッドラックの前点検、安全な操作ができる	35A	1
実習	ジャッキアップ	リジッドラックの配置の仕方を理解し、安全にジャッキアップができる	35A	1
実習	タイヤ脱着	正しいタイヤの脱着ができる	35A	1
実習	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンができる	35A	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	シャシⅠ － A

教員（実務経験）	矢下　椋大（販売会社）	竹谷　康佑（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ブレーキの基本性能，ディスクブレーキについて学ぶ ・エア抜き作業,タイヤローテーションについて学ぶ ・整備士に必要なシャシの構造・作動・整備の知識を身につける ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ブレーキ基本性能、ディスクブレーキの構造・作動、ブレーキフルードの性質と取扱いについて答えることができる ・パスカルの原理（油圧計算）ができる ・ディスクブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる。また各種点検の実施、良否判定ができるようになる。 ・エア抜き作業について学ぶ
3.使用教科書、準備品	・日整連　三級総合 ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入・1STEP）、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト　工具計測器整備機器編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：17点　、レポート：3点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
43	12	31	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ブレーキの原理	ブレーキの概要、原理を説明できる	235	1
学科	ブレーキ基本性能	停止、空走、制動を説明できる	235	1
学科	ディスクブレーキ	特徴、キャリパとディスクロータの種類を答えられる	235	1
学科	ディスクブレーキ	作動、構造を答えることができる	235	1
学科	ブレーキフルード	性質、取扱い方法、保管方法や注意点を答えることができる	235	1
学科	まとめ	まとめ	235	3
学科	ブレーキ	確認プリント実施	235	1
学科	復習（確認試験）	後で調整	235	3
実習	ディスクブレーキ	自動調整機構の必要性、構造、作動について説明できる	35A	1
実習	ブレーキトラブル	フェード現象、ベーパーロック現象、ブレーキノイズを説明できる	35A	1
実習	ブレーキ概要	実物のブレーキ関連部品が理解でき、答えられる。	35A	2
実習	ディスクブレーキ	キャリパの構造を理解し、取り外しができる	35A	2
実習	ディスクブレーキ	フレキシブルホースの点検、良否判定ができる	35A	1
実習	ディスクブレーキ	安全にパッドの脱着ができ、構造の理解、測定・良否判定ができる	35A	7
実習	ディスクブレーキ	ディスクロータの振れ点検、良否判定ができる	35A	1
実習	キャリパ	正しい分解組付けができる	35A	2
実習	エア抜き作業	フルードの性質を知り、正しい作業方法を理解し、実施できる	35A	2
実習	タイヤローテーション	FF、FRのローテーション方法や推奨距離の違いを理解し実施できる	35A	1
実習	パッド交換作業	パッドの測定、交換作業を時間内にできる	35A	3
実習	ブレーキトラブル	グループワークを通し、ブレーキの理解を深め、各項目を説明できる(含:確認試験)	35A	2
実習	ディスクブレーキ	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	ブレーホース	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	キャリパ	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	タイヤローテーション	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	定期点検	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	まとめ	まとめ	35A	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	シャシⅠ－Ａ

教員（実務経験）	矢下　椋大（販売会社）	竹谷　康佑（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ドラムブレーキについて学ぶ ・エア抜きについて学ぶ ・シャシ整備を学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ドラムブレーキの構造、作動、種類について答えることができる ・パーキングブレーキの作動について答えることができる ・ドラムブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる。エア抜き作業ができる。
3.使用教科書、準備品	日整連　三級総合 ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入・1STEP）、及び、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト　工具計測器整備機器編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：17点　、レポート：3点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
34	8	26	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ブレーキ	概要、種類（主、補助、駐車ブレーキ）を答えられる	235	1
学科	ドラムブレーキ	構造、作動原理を理解し、説明できる	235	1
学科	自動調整機構	必要性、構造を理解し、説明できる	235	1
学科	ドラムブレーキ	各種類の名称・特徴・図を理解し、説明できる	235	1
学科	ドラムブレーキ	パーキングブレーキの構造、作動を説明できる	235	1
学科	ブレーキ	試験(ｅテスト)に合格できる	235	1
学科	足回り①、②	試験(ｅテスト)に合格できる	235	1
学科	まとめ	まとめ	235	1
実習	ドラムブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35A	3
実習	パーキングブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35A	2
実習	ドラムブレーキ	正しい手順で分解ができる	35A	1
実習	ドラムブレーキ	ブレーキシューの交換作業ができる（Cワッシャ脱着含む）	35A	1
実習	ホイールシリンダ	ピストンカップを傷つけず、交換できる	35A	1
実習	ドラムブレーキ	グリスの特徴を理解し、正しい組付け作業ができる	35A	2
実習	ドラムブレーキ	分解組付け作業を時間内にできる（清掃、グリスアップ含む）	35A	4
実習	調整作業	ブレーキシューとドラムのすき間調整をサービスホールからできる	35A	4
実習	エア抜き作業	正しいエア抜き作業ができる	35A	2
実習	ブレーキペダル	３つの点検の名称、方法、良否判定、調整または交換部品がわかる	35A	1
実習	ドラムブレーキ	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	ホイールシリンダ	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	パーキングブレーキ	試験(ｅチェック)に合格できる	35A	1
実習	定期点検	試験(ｅチェック:定期点検)に合格できる	35A	1
実習	まとめ	まとめ	35A	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	シャシⅠ－Ａ

教員（実務経験）	矢下　椋大（販売会社）	竹谷　康佑（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・前期、後期授業で履修したブレーキ関係（種類、ブレーキブースタ、マスターシリンダ）の復習。 ・パンタグラフジャッキを使って応急用タイヤへの交換作業 ・パーキングブレーキの仕組みと調整作業の習得をする ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ブレーキの種類と特徴、及びブレーキブースタ、マスターシリンダ作動が説明できる。 ﾌﾞﾚｰｷの種類が理解でき、構造が説明できる。 ・応急用タイヤへの交換ができる ・パーキングブレーキの調整、ドラムブレーキの分解組付けとすき間調整ができる
3.使用教科書、準備品	日整連　３級総合、２級総合 TEAM-GP　技術テキスト　1STEP、2STEP 自動車整備技術　シャシ2 トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）、（1STEP）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17	1	16	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ﾌﾞﾚｰｷ	ブレーキ全体の種類と構造作動が理解できる。	235	1
実習	タイヤ	パンタグラフジャッキを使用し、テンパータイヤに交換ができる。	35A	3
実習	パーキングブレーキ	ドラムブレーキの隙間調整が時間内にできる。	35A	3
実習	１２か月点検	１２か月点検のブレーキ内容が判定含めて正しく実施できる	35A	3
実習	日常点検	日常点検が判定含めて正しく実施できる	35A	3
実習	ブレーキ	トラブルシュートが理解できる	35A	2
実習	ブレーキ	ドラムブレーキの隙間調整が時間内にできる。	35A	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	シャシⅠ－B

教員（実務経験）	中田　善之（　　）	猪熊 快斗　（　　）

1.授業概要と履修前提	計測機器の取り扱いについて学ぶ。
2.教科の到達目標	ノギスの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。 マイクロメーターの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト（工具・計測器・整備機器編） PC
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
6	3	3	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ノギス	ﾉｷﾞｽの作動説明と測定作業のテストピースを測定ができる	236	1
学科	マイクロメーター	ﾏｲｸﾛﾒｰﾀの作動説明とﾋﾟｽﾄﾝ外径の測定作業ができる	236	1
学科	マイクロメータ・確認試験	マイクロメータ測定作業、及び、確認試験(学科・実技)が解ける	236	1
実習	測定作業	測定に必要な知識、注意点を理解できる	223	1
実習	測定作業	ﾉｷﾞｽの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	223	1
実習	測定作業	ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	223	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	シャシⅠ－Ｂ

教員（実務経験）	中田　善之（　　）	猪熊 快斗　（　　）

1.授業概要と履修前提	ブレーキブースタ及び、マスターシリンダの構造・作動 ＡＢＳの概要 シャシ整備を学ぶ
2.教科の到達目標	ブレーキブースタの原理・名称および作動が説明できる。 ブレーキブースタ車上点検方法を理解する。 マスターシリンダの構成部品の名称および作動が説明できる。 ＡＢＳの概要的問題が解ける。
3.使用教科書、準備品	二級、三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：17点　、レポート：3点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
34	13	21	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ブレーキブースター	ブレーキブースターの必要性、種類が答えられる。	236	1
学科		原理が説明できる。	236	1
学科		構造、作動が説明できる。	236	2
学科		保持作動（リアクション機構）が説明できる。	236	1
学科	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が答えられる。	236	1
学科		マスターシリンダの構造が説明できる。	236	1
学科		マスターシリンダの作動が説明できる。	236	1
学科	ＡＢＳ	ＡＢＳの必要性、特徴が説明できる。	236	1
学科		EBD,ECBの概要が解る。	236	1
学科	まとめ	まとめ	236	2
学科	Eテスト	Eテスト得点率７０％以上 G30030-T01	236	1
実習	ブレーキブースター	ブレーキブースターの各部名称が全て答えられる。（外観）	223	1
実習		分解手順が理解でき、分解作業が出来る。	223	1
実習		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習		コントロールバルブの動きが説明できる。	223	1
実習		チェックバルブの作動が説明できる。	223	1
実習		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習		ブレーキブースタ簡易点検がひとりで出来る。	34B	3
実習		ブレーキブースター不具合の現象確認と現象説明が出来る。	テストコー	3
実習	マスターシリンダ	マスターシリンダの必要性、種類が説明できる。	223	1
実習		マスターシリンダが分解できる。	223	1
実習		マスターシリンダの作動が説明できる。（通常時、故障時）	223	2
実習		マスターシリンダの各部の名称が答えられる。（外観）	223	1
実習		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
実習		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
実習	まとめ	まとめ	244	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	シャシⅠ－B

教員（実務経験）	中田　善之（　　）	猪熊 快斗　（　　）

1.授業概要と履修前提	サスペンションの構造について学ぶ。 車両からのサスペンション脱着 単体サスペンションを使用し、分組及び構造研究。
2.教科の到達目標	サスペンション形式やスプリングの種類、特徴が説明できる。 ショックアブソーバの構造、作動が説明できる。 サスペンションの脱着ができる。（フロント） フロントアクスルの構成部品が説明できる。
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　1STEP、2STEP 二級、三級自動車整備士（総合） 自動車整備技術　シャシ２
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：17点　、レポート：3点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
43	20	23	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	サスペンション（概要）	サスペンションの役割が説明できる。	236	1
学科		サスペンションの構成が説明できる。	236	2
学科		車軸懸架式、独立懸架式の分類と違いが説明できる。	236	1
学科	スプリング	リーフスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		コイルスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		トーションバースプリング、エアスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科		金属バネとエアスプリングの特徴、違いが説明できる。	236	1
学科	ショックアブソーバ	ﾓﾉﾁｭｰﾌﾞ、ﾂｲﾝﾁｭｰﾌﾞの役目、名称、特徴が説明できる。	236	1
学科		ﾓﾉﾁｭｰﾌﾞの作動が説明できる。	236	1
学科		ﾂｲﾝﾁｭｰﾌﾞの作動が説明できる。	236	1
学科	スタビライザー	名称、役目、特徴が説明できる。	236	1
学科	サスペンション	車軸懸架式の構造が説明できる。（平行ﾘｰﾌ、コイル式）	236	1
学科	（フロントサスペンション）	独立懸架式の構造が説明できる。（ストラット式、ウィッシュボーン式）	236	1
学科	サスペンション	車軸、独立懸架式の構造の説明が出来る。（トーションビーム、マルチリンク）	236	1
学科	電子制御サスペンション	概要、特徴が説明できる。	236	1
学科		AVSのシステムが説明できる。	236	1
学科	まとめ	まとめ	236	2
学科	Ｅテスト	Eテスト得点率７０％以上 G41017-T02（後半T01も行う）、G30025-T01	236	1
実習		KYT	34B	1
実習	取り外し作業	ブレーキ、アクスルハブを含むショックアブソーバ脱着ができる。	34B	8
実習	構造研究	ショックアブソーバ、スプリング、ロアアーム、アクスルハブ、	34B	2
実習		ボールジョイント、スプリングの構成部品名称及び作動が答えられる。	34B	
実習	コイルスプリング脱着	コイルスプリングの脱着作業ができる。（習熟練習）	34B	4
実習	体感走行	アブソーバ不具合現象が走りで分かる。	34B	3
実習	平常チェック	コイルスプリングの脱着作業が時間内に一人でできる。得点率60％以上	34B	3
実習	まとめ	まとめ	244	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	シャシⅠ－B

教員（実務経験）	中田　善之（　　）	猪熊 快斗　（　　）

1.授業概要と履修前提	・駆動装置の復習を行い、理解をさらに深める ・トランスアクスル(MT)について学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・駆動装置の理解度を深め、不具合対応に活用できる ・ﾄﾗﾝｽｱｸｽﾙ(MT)の実物を確認し、名称や役目を答えることができる
3.使用教科書、準備品	teamgp　技術テキスト　導入編，１STEP ・日整連　２級自動車整備士（総合）　３級自動車整備士（総合） 自動車整備技術　シャシ１
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17	12	5	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	トランスアクスル	外観より、各部品が理解できる。	238	1
学科	トランスアクスル	トランスアクスルを分解、構造(部品)を理解できる	238	1
学科	トランスアクスル	トランスアクスルの組立手順、注意点を理解できる	238	1
学科	プロペラシャフト	座学の内容を実物で確認し、説明できる	238	1
学科	ﾄﾞﾗｲﾌﾞ シャフト	構造研究、ブーツ(スピージ)交換作業が理解できる	238	1
学科	クラッチ	クラッチの不具合箇所が判断できる。	238	1
学科	トランスミッション	トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	238	
学科	デフ，シャフト	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	238	
学科	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	238	5
学科	手仕上げ	作業を通して、安全作業を身に付けることができる	238	
学科	手仕上げ	作業を通して、工具の使い方を理解・習得できる	238	
学科	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	238	1
実習	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	223	1
実習	技術チェック	ドライブシャフトブーツ交換作業でできる。	223	1
実習	パワートレイン	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	223	1
実習	パワートレイン	クラッチ・トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	223	1
実習	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	223	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	シャシⅠ－C

教員（実務経験）	大橋　信夫（　　）	濱田　康博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ステアリング装置、ブレーキ装置についてその構造・作動を学ぶ ・駆動方式の種類、特徴について学ぶ ・正しい車両の取扱いを学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・自動車の三大要素である「走る」「曲がる」「止まる」の主要部品を答えることができる ・イラストから駆動方式を判断することができる ・駆動方式の特徴を答えることができる ・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる
3.使用教科書、準備品	・日整連　２級自動車整備士（総合）　３級自動車整備士（総合） ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）及び（1STEP） ・自動車整備技術　シャシ２
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
6	4	2	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ステアリング	役目、仕組を理解し、説明できる	学科教室	1
学科	ブレーキ	役目、仕組を理解し、説明できる	学科教室	1
学科	動力伝導装置	役目、仕組を理解し、説明できる	学科教室	1
学科	動力伝導装置	ＦＦ，ＦＲ、４ＷＤ，ＭＲ，ＲＲの区別ができる	学科教室	1
実習	車両取り扱い	ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ・ﾌﾞﾚｰｷ装置確認	53	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	シャシⅠ－C

教員（実務経験）	大橋　信夫（　　）	濱田　康博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・クラッチとトランスミッションについて学ぶ ・基礎的な工作作業について学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・クラッチの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる ・クラッチ、ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・トランスミッションの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる ・各種点検の実施、良否判定ができるようになる
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術　シャシ１ ・日整連　２級自動車整備士（総合）　３級自動車整備士（総合） ・ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ技術ﾃｷｽﾄ　TEAM GP G4(導入・1STEP),G3(2STEP),工具計測器整備機器編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：40点　、実技試験：45点　　●TEAM-GPのeテスト：70%以上

授業時間	学科	実習	試験
43	14	29	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	クラッチ	目的、必要条件、種類が理解できる	246	1
学科	クラッチ	ダイヤフラム式の構造、作動が理解できる	246	1
学科	クラッチ	クラッチの構成部品が理解できる	246	1
学科	クラッチ	コイルスプリング式の構造・作動が理解できる	246	1
学科	トランスミッション	必要性が理解できる	246	1
学科	トランスミッション	ギヤ比(変速比)が理解でき、計算ができる	246	1
学科	トランスミッション	種類、基本構造、シンクロ作動が理解できる	246	2
学科	動力伝達装置	(ｅｒラーニング実施し　テスト:ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾄﾚｰﾝ1)が合格できる	246	1
学科	クラッチ	試験(ｅテスト)が合格できる G41014-T01	246	1
学科	トランスミッション	試験(ｅテスト)が合格できる　G30021-T01	246	1
学科	トランスミッション	試験(ｅテスト:ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾄﾚｰﾝ2)が合格できる　G30021-T02	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	1
実習	基本作業	修理書の見方が理解できる	211	1
実習	クラッチ	構造(全体)が理解でき、分解作業の注意点が理解できる	211	1
実習	クラッチ	構造(単体)が理解でき、部品点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	クラッチ	組付作業の注意点が理解できる	211	3
実習	クラッチ	操作系統の構造(部品)、特徴が理解できる	211	2
実習	クラッチ	操作系統の点検の注意点が理解でき、作業ができる	211	2
実習	トランスミッション	ｹｰｽ外側についている部品の特徴、点検作業が理解できる	211	1
実習	トランスミッション	ギヤ関連の構造(部品)が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	点検(ブレーキ作用、スラストすき間)の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
実習	トランスミッション	シンクロ機構の構造(部品)、作動が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	操作機構の構造・作動が理解できる	211	2
実習	トランスミッション	誤作動防止装置の各種作動、特徴が理解できる	211	2
実習	トランスミッション		211	2
実習	トランスミッション	車両走行を通して、不具合現象を体感・発見できる	周回路	2
実習	ｸﾗｯﾁ・ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝ	ＧＷＴを通して、車両装置の不具合が理解できる	211	2
実習	まとめ	まとめ	211	2
実習	復習	復習	211	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	シャシⅠ－C

教員（実務経験）	大橋　信夫（　　）	濱田　康博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ディファレンシャルについて学ぶ ・タイヤ、ホイール、グリースについて学ぶ ２輪駆動装置について学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ディファレンシャルの必要性、役目、歯車の種類について答えることができる ・ディファレンシャルの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・タイヤ、ホイールの構造、各部名称、トラブルについて答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術　シャシ１ ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編・1STEP）及びG3（2STEP） ・日整連　２級自動車整備士（総合）　３級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：40点 、実技試験：45点　　●TEAM-GPのeテスト：70%以上

授業時間	学科	実習	試験
43	11	32	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ディファレンシャル	概要、基本構造が理解できる	246	1
学科	ディファレンシャル	ギヤ比、動力伝達順序、作動の動きが理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	種類(テンパタイヤ、冬ﾀｲﾔ)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	不具合(振動、騒音、偏摩耗、発熱、各現象)が理解できる	246	1
学科	タイヤホイール	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	246	1
学科	グリース	グリースの特徴が理解できる	246	1
学科	まとめ	まとめ	246	2
実習	ディファレンシャル	構造(全体)、歯当たり点検・良否判定が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	分解手順、注意点、構造(部品)が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	ﾃﾞﾌｹｰｽを分解、構造(部品)を理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	ﾃﾞﾌｹｰｽの組立手順、注意点を理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾋﾟﾆｵﾝ組付	211	1
実習	ディファレンシャル	ﾌﾟﾚﾛｰﾄﾞ、及び、ﾊﾞｯｸﾗｯｼｭ点検・調整、発生不具合が理解できる	211	2
実習	ディファレンシャル	プレロード点検、調整作業を習得する	211	2
実習	ディファレンシャル	ﾊﾞｯｸﾗｯｼｭ点検、調整作業を習得する	211	2
実習	ディファレンシャル	組付作業の注意点が理解できる	211	1
実習	ホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	211	2
実習	タイヤ	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	211	2
実習	タイヤ	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	211	3
実習	2輪駆動装置	チェーン駆動　シャフト駆動　ベルト駆動が理解できる	246	2
実習	2輪駆動装置	無段変速機が理解できる	246	2
実習	タイヤ	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	211	1
実習	タイヤ・ホイール	試験(e テスト)が合格できる	211	1
実習	まとめ	まとめ	211	3

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	シャシⅠ－C

教員（実務経験）	大橋　信夫（　　）	濱田　康博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・駆動装置の復習を行い、理解をさらに深める ・トランスアクスル(MT)について学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・駆動装置の理解度を深め、不具合対応に活用できる ・ﾄﾗﾝｽｱｸｽﾙ(MT)の実物を確認し、名称や役目を答えることができる
3.使用教科書、準備品	teamgp　技術テキスト　導入編，１STEP ・日整連　２級自動車整備士（総合）　３級自動車整備士（総合） 自動車整備技術　シャシ１
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17	12	5	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	トランスアクスル	外観より、各部品が理解できる。	238	1
学科	トランスアクスル	トランスアクスルを分解、構造(部品)を理解できる	238	1
学科	トランスアクスル	トランスアクスルの組立手順、注意点を理解できる	238	1
学科	プロペラシャフト	座学の内容を実物で確認し、説明できる	238	1
学科	ﾄﾞﾗｲﾌﾞ シャフト	構造研究、ブーツ(スピージ)交換作業が理解できる	238	1
学科	クラッチ	クラッチの不具合箇所が判断できる。	238	1
学科	トランスミッション	トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	238	
学科	デフ，シャフト	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	238	
学科	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	238	5
学科	手仕上げ	刃物(ｶｯﾀｰ)の使用を通して、安全作業を身に付けることができる	238	
学科	手仕上げ	作業を通して、工具の使い方を理解・習得できる	238	
学科	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	238	1
実習	トランスアクスル	トランスアクスルの構造が理解できる	211	1
実習	技術チェック	ドライブシャフトブーツ交換作業でできる。	211	1
実習	パワートレイン	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	211	1
実習	パワートレイン	クラッチ・トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	211	1
実習	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	211	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	電気装置Ⅰ－Ａ

教員（実務経験）	佐々木　健太（　　）	窪井　辰弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	車で使用される電気に関する基礎的な内容を学ぶ。 車両の受け入れチェックを行う。車両取扱の概要 灯火装置概要 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・車両の受け入れチェックを実施することができる。 ・エンジン始動やバッテリーのマイナス端子取り付けなど基本的な車両の取扱いができる。 ・基本的なPCの使い方、電子技術マニュアルの使い方、その他アプリケーションの使い方ができる。 ・
3.使用教科書、準備品	プリント（授業時に配布） 手持ち工具、保護具(眼鏡・手袋) PCやタブレット等の端末
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
6	0	6	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	電気概要	車両の電源が理解でき、電流の流れが説明できる。	231	1
実習	安全作業	安全作業を意識して、作業を行うことができる	231	1
実習	車両取り扱い	車両チェック(受入・終了)、及び、エンジン始動が安全に実施できる	35Ｂ	1
実習	ドアロック	ドアロックの機能、種類を理解できる	35Ｂ	1
実習	灯火装置	車に使用されている灯火装置の概要、操作を理解できる	35Ｂ	1
実習	バッテリ	バッテリの－端子脱着作業ができる	35Ｂ	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	電気装置Ⅰ－Ａ

教員（実務経験）	佐々木　健太（　　）	窪井　辰弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・メータの構造・作動を学び、各メータの単体点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・バッテリの構造,化学変化を学ぶ。バッテリの各種点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・配線図を用いて様々なコネクターや部品を探す。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・各メータの構造・作動を説明できる。各メータの単体点検ができ、良否判定ができる。 ・バッテリの構造、化学変化、及び、諸特性を説明できる ・バッテリの各種点検ができ、良否判定ができる ・指示されたコネクターの場所を特定できる
3.使用教科書、準備品	整備振興会　２級総合 整備振興会　３級総合 トヨタサービス TEAM GP G4（導入編・1STEP）G3（2STEP）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：50点 、実技試験：35点

授業時間	学科	実習	試験
38	8	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	コンビネーションメータ	運転席の各メータの役目及び、各警告灯の役目が説明できる。	231	1
学科	表示部、HUD、MID	各表示部の作動を説明できる。HUD、MIDの役目が説明できる	231	1
学科	検出部	各検出部の作動が説明できる。	231	1
学科	バッテリ概要	バッテリ内部の名称や役目を説明することができる。	231	1
学科	充放電反応	内部で起きている化学反応について説明することができる。	231	1
学科	特性	起電力、比重、容量などの関係性を説明することができる。	231	1
学科	ｅテスト	ｅテスト(ﾊﾞｯﾃﾘ、ﾒｰﾀｰ）に合格できる	231	1
学科		確認質問	231	1
実習	点検(検出部)	検出部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	245	2
実習	点検(表示部)	表示部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	245	2
実習	メータ脱着	内装の保護を意識しつつ、メータの脱着をすることができる。	35Ｂ	2
実習	バッテリ種類	サイズ、各記号、種類が理解できる	35Ｂ	1
実習	バッテリ諸特性	容量、起電力、比重、放電率、充電電流等が理解できる	231	2
実習	バッテリ各点検	液量、比重、起電力、内部抵抗等が理解できる	231	2
実習	充電作業	充電器の使用方法が理解でき、バッテリの充電ができる	231	2
実習	充電器	充電方法、種類、注意事項、接続方法を説明できる	35Ｂ	2
実習	バッテリ脱着	車両のバッテリの交換ができ、各種設定ができる	35Ｂ	2
実習	チェックシート	ｅチェック(バッテリ車両脱着、充電作業)が合格できる	35Ｂ	2
実習	配線図の見方	配線図集の構成、読み方、意味等が理解できる	231	2
実習	配線図の読み取り	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35Ｂ	4
実習	平常チェック	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35Ｂ	2
実習		確認質問	231	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	電気装置Ｉ－Ａ

教員（実務経験）	佐々木　健太（　　）	窪井　辰弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・点火装置の種類、構造、作動を学び、構造研究、単体点検を行う。 ・灯火装置の種類、構造、作動を学ぶ ・灯火装置のバルブ交換、ヘッドライト交換、光軸調整を行う ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・点火装置の構造、作動、特徴が説明できる。各種点検ができ、良否判定ができる。 ・灯火装置の構造、作動が説明できる ・安全、確実に灯火装置のバルブ交換ができる ・不具合状況から起因故障を推測することができる
3.使用教科書、準備品	整備振興会　２級総合 整備振興会　３級総合 トヨタサービス TEAM GP G4（導入編・1STEP）G3（2STEP）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：50点　、実技試験：35点

授業時間	学科	実習	試験
45	10	33	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	点火装置概要	点火装置の概要、仕組み、全体の構成が理解できる	231	2
学科	点火(回路と構成部品)	回路図と構成部品を一致させることができる	231	2
学科	点火時期	点火時期の必要性、作動が理解できる	231	2
学科	灯火装置(ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟ)	概要、構造、種類が理解できる	231	1
学科	灯火装置(その他)	その他ランプの特徴が理解できる	231	1
学科	ｅ テスト	ｅテスト(ﾒﾝﾃﾅﾝｽ、外装ﾎﾞﾃﾞｨｰ、ライト、電気)に合格する	231	1
学科		確認質問	231	1
実習	スパークプラグ	概要、特徴、及び、各種特徴を理解できる		4
実習	スパークプラグ	交換・各種点検を行い、良否判断ができ、トラブルが理解できる	教室・35	3
実習	ディストリビュータ(ＩＩＡ)	構造研究(進角部、配電部)が理解できる	245	1
実習	イグニッションコイル	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	245	2
実習	スパークプラグ	プラグ脱着、各種点検が行うことができる	35B	1
実習	点火時期点検	車両にて点火時期点検を行うことができる	35B	1
実習	ヘッドライト	種類、構造が理解できる	231	1
実習	ヘッドライト	各種機能(オートレベリング、コンライト)が理解できる	231	1
実習	ターンシグナル	種類、基本作動が理解できる	231	1
実習	ライト類	用語、保安基準の数値、測定方法を理解できる	231	1
実習	ランプ脱着	ハロゲン式、HID(ﾃﾞｨｽﾁｬｰｼﾞ)式の交換作業ができる	35B	2
実習	ランプ脱着	その他ランプの交換作業ができる	35B	1
実習	ヘッドライトテスタ	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	35B	2
実習	ヘッドライトテスタ	光軸調整が実施できる	35B	2
実習	ヘッドライト	各端子での電圧測定が実施できる	35B	3
実習	ヘッドライト、他ライト	不具合時の電気の流れと、各端子での電圧測定が実施できる	35B	4
実習	ｅチェック２	ヘッドライトの光軸調整に合格できる	35B	1
実習	平常技術チェック	スパークプラグの脱着が正しく行える(ｅチェック１)	35B	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	電気装置Ｉ－Ａ

教員（実務経験）	佐々木　健太（　　）	窪井　辰弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・カーナビ、ＥＴＣの基礎知識を身に付ける ・ＴＤＩの構造・作動を学ぶ ・トラブルシュートの進め方を学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・カーナビ、ＥＴＣの基礎知識を理解できる ・オーディオユニットの各種操作、脱着要領が理解できる ・トラブルシュートの基礎を身に付けることができる
3.使用教科書、準備品	振興会　２級・３級自動車整備士（総合） TEAM-GP　Ｇ４（1STEP）　Ｇ３(2STEP) ・手持ち工具　保護眼鏡・手袋　ウェス　サーキットテスタ 自動車整備技術　電気装置１－Ａ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17	7	10	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	点火装置（復習）	点火装置の復習	231	1
学科	点火装置	電子制御式点火装置の制御を理解する	231	1
学科	カーナビ	カーナビ、ETCの構造が理解できる	231	2
学科	ホーン	ホーンの構造、作動、法規(保安基準)が理解できる	231	2
学科	平常試験	平常試験が解ける	231	1
実習	点火装置(ＴＤＩ)	ＴＤＩ(ダイレクト式)の構造・作動が理解できる	231	4
実習	電圧測定Ｉ	灯火ＢＯＸを使用した電圧測定、不具合特定ができる	245	3
実習	オーディオユニット脱着	オーディオユニットの各種操作、脱着要領が理解できる	35B	3

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	電気装置Ｉ－Ｂ

教員（実務経験）	西谷　孝也、大橋　登(メーカー)、古川　宰(販売会社)、小野田　皓基

1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基礎知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする サーキットテスタ（デジタル）の取り扱い ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。（直列・並列問題） サーキットテスタ（デジタル）の基本的な取り扱い サーキットテスタ（デジタル）を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　技術テキスト（工具・計測器・整備機器編）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	平常試験100%

授業時間	学科	実習	試験
6	4	2	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
	＜電装Ｉ－Ｂの内容＞			
学科	電気の基礎（学科）	電気の３要素（電圧、電流、抵抗の関係）が説明できる	教室	1
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の基本計算（抵抗１つ）ができる	教室	1
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の計算（抵抗２つ直列接続）ができる	教室	1
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の計算（抵抗２つ並列接続）ができる	教室	1
実習	電気基礎	電力、電力量について説明ができる	教室	1
実習	電気基礎	オームの法則練習問題が全て解ける	教室	1
	＜電装Ｉ－Ｃの内容＞			
実習	デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている		
実習	デジタルテスタ	測定前準備（ゼロ点確認、導通点検）ができる		
実習	デジタルテスタ	電圧測定ができる		
実習	デジタルテスタ	抵抗測定ができる		
実習	TEAM-GP	ｅテスト：Ｇ４１０４４－Ｔ０１　正解率１００％		
実習	電気基礎	確認試験得点率 60%以上		

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	電気装置Ⅰ－B

教員（実務経験）	西谷　孝也（　　）	大橋　登（メーカー）

1.授業概要と履修前提	・磁気の基礎を理解したうえで、モータの原理を理解する ・スタータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ ・スタータの交換作業を行う。内部構造を理解し各種点検を行う。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・電流と磁界の関係を理解し、ﾌﾚﾐﾝｸﾞの法則の理解につなげる ・スタータの各機構について必要性・作動を説明できる。スタータの回路作動を説明できる。 ・安全・確実にスタータの交換作業を行える。 ・スタータの各種点検要領を理解し、測定値から良否の判定が行えると共に、起因故障を理解する
3.使用教科書、準備品	整備振興会　二級自動車整備士（総合） 整備振興会　三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：45点　、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
37	8	27	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	スタータ概要	スタータの必要性を理解する。		1
学科	磁気の基礎と電流	磁気と電流に関する法則を理解する。		1
学科	モータの原理・特性	回転する仕組み、構造、及び、特性が理解できる		1
学科	種類(ISS)	ISS(ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯｸｼｽﾃﾑ)の構造を理解できる		1
学科	逆起電力	逆起電力の発生、大きさについて理解できる		1
学科	ｅテスト	ｅテスト(ｴﾚｸﾄﾘｶﾙﾃｽﾀ)に合格できる		1
学科	確認試験	確認試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける		1
学科	復習	授業内容で解らない内容が無い		1
実習	車両脱着	車両からスタータの脱着ができる(含:車両取扱)		3
実習	外観構造研究(R型)	R型スタータの構造の特徴について説明できる。		1
実習	作動・種類	回路図での電気の流れが理解でき、構造上の種類がわかる		2
実習	分解(R型)	修理書の手順に従い、分解できる		1
実習	構造研究(R型:単体)	ｱｰﾏﾁｭｱ、ﾖｰｸ、ﾌﾞﾗｼAssyの特徴が分かり、単体点検ができる		2
実習	構造研究(R型:単体)	減速機構、ﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁの特徴が分かり、単体点検ができる		2
実習	組付(R型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1
実習	単体点検(R型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		2
実習	外観構造研究	P型スタータの構造の特徴について説明できる。		1
実習	分解(P型)	修理書の手順に従い、分解できる		1
実習	構造研究(P型:単体)	プラネタリギヤの構造、ギヤ比の求め方が理解できる		2
実習	構造研究(P型:単体)	緩衝装置の構造、作動が理解できる		1
実習	組付(P型)	修理書の手順に従い、組付けできる		1
実習	単体点検(P型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる		1
実習	モータの損失	モータに発生する損失が理解できる		1
実習	出力特性図	グラフ(表)の読取ができ、出力、逆起電力等の関連が理解できる		1
実習	復習	単体点検がスムーズに流せて、良否判定ができる		2
実習	平常技術チェック	単体点検(吸引、保持、戻り、無負荷)に合格できる		1
実習	ｅ－テスト			1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	電気装置Ⅰ－Ｂ

教員（実務経験）	西谷　孝也（　　）	大橋　登（メーカー）

1.授業概要と履修前提	・磁気の基礎を理解したうえで、発電機の原理を理解する ・オルタネータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ ・オルタネータの車上交換、点検を行う。単体の分組、点検を行う。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・オルタネータの発電原理・構造・作動・回路作動を説明できる ・安全、確実にオルタネータ車上交換、点検が行うことができる ・オルタネータの点検要領を理解し、測定値から良否判定ができる ・不具合状況から起因故障を推測することができる
3.使用教科書、準備品	整備振興会　二級自動車整備士（総合） 整備振興会　三級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
39	10	27	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	概要	目的、必要条件、機能が理解できる		1
学科	発電の原理	電磁誘導作用、フレミング右手の法則が理解できる		1
学科	オルタの構造	基本構造、交流発生原理		1
学科	三相交流	三相交流波形が理解できる		1
学科	結線の種類	結成方法と特徴が理解できる		1
学科	基本回路（整流）	電流の流れが理解できる		1
学科	レクティファイヤ	整流方法がりかいできる		1
学科	ｅテスト	ｅテスト(充電装置、電源システム)に合格する		1
学科	確認試験	確認試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける		1
学科	復習	授業で解らない内容が無い		1
実習	オルタ脱着	車両にて、オルタネータ脱着作業ができる		4
実習	オルタ発生電圧	運転状態による発生電圧・電流の変化が理解できる		3
実習	ベルト脱着	車両にて、ベルト脱着作業ができる(反復練習)		1
実習	チェックシート	GPチェックシート(ベルト交換：ｵｰﾄﾃﾝｼｮﾅｰ無)が合格できる		2
実習	バッテリ救援	GPの内容が実施できる		1
実習	外観確認	各部名称、端子名が理解できる		1
実習	分解・構造研究	部品名称、各端子名、特徴が理解できる		4
実習	部品点検	各部品の点検が実施でき、良否判定ができる		2
実習	組付け	組付時の注意点を理解しながら、組付作業ができる		1
実習	中性点ダイオード	特徴と作動が理解できる		1
実習	IC式ﾎﾞﾙﾃｰｼﾞﾚｷﾞｭﾚｰﾀ	発生電圧、電流の制御が理解できる		1
実習	M・ＩＣ式	回路図が理解でき、各種作動(制御)が理解できる		3
実習	復習	ﾛｰﾀ・ｽﾃｰﾀ・ﾚｸﾃｨﾌｧｲﾔなど点検が実施でき、良否判定ができる		1
実習	技術チェック	各種部品の各点検が実施でき、良否判定ができる		2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	電気装置Ｉ－Ｂ

教員（実務経験）	西谷　孝也（　　）	大橋　登（メーカー）

1.授業概要と履修前提	・各電気装置の復習を通して、理解度の向上を図る ・Ωの法則の計算の理解度を向上を図る ・拭取り装置の種類、作動、構造を学ぶ。各種点検を行い、良否判定を行う。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・各種装置の構造、作動の理解がより深くできる ・拭取り装置の構造、作動が理解できる ・モータの回転速度の変化、回路が理解できる ・ワイパゴムの交換がスムーズにできる
3.使用教科書、準備品	整備振興会　二級自動車整備士（総合） 整備振興会　三級自動車整備士（総合） 手持ち工具，保護眼鏡，手袋，ウェス
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17	4	13	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ワイパ概要、構造	概要、種類、構造を理解できる	249	1
学科	リンク機構	構造が理解できる	249	1
学科	ワイパ電気回路	速度制御の方法、作動(INT、LO、HI、自動停止)が理解できる	249	1
学科	ｅテスト	ワイパ、その他の項目が合格できる	249	1
実習	ウォッシャ機能	概要、用途が理解できる		1
実習	ワイパモータ	モータ単体を分解、構造研究を行い、理解を深める		1
実習	ワイパモータ	単体点検を実施し、良否判定を行うことができる		1
実習	ワイパアーム脱着	車両にて、注意点を理解して、実施できる		3
実習	ウォッシャ液噴射状態	点検、噴射方向の調整を行うことができる		1
実習	ワイパラバー交換	車両にて、注意点を理解して、実施できる。		4
実習	ワイパ回路電圧測定	ワイパの作動を理解しつつ、各ポイントの電圧測定が行える		1
実習	技術ﾁｪｯｸ(ｅチェック)	ｅチェック(ラバー交換、ワイパ点検)に合格できる		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	導入	電気装置Ⅰ－Ｃ

教員（実務経験）	西谷　孝也、大橋　登(メーカー)、古川　宰(販売会社)、小野田　皓基

1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基礎知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする サーキットテスタ（デジタル）の取り扱い ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。（直列・並列問題） サーキットテスタ（デジタル）の基本的な取り扱い サーキットテスタ（デジタル）を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　Ｇ４（PDF） トヨタサービス　技術テキスト（工具・計測器・整備機器編）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	平常試験100% 平常試験80%、レポート20%

授業時間	学科	実習	試験
6	0	6	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
	＜電装Ⅰ－Ｂの内容＞			
学科	電気の基礎（学科）	電気の３要素（電圧、電流、抵抗の関係）が説明できる		
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の基本計算（抵抗１つ）ができる		
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の計算（抵抗２つ直列接続）ができる		
学科	電気の基礎（学科）	オームの法則の計算（抵抗２つ並列接続）ができる		
実習	電気基礎	電力、電力量について説明ができる		
実習	電気基礎	オームの法則練習問題が全て解ける		
	＜電装Ⅰ－Cの内容＞			
実習	デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている		1
実習	デジタルテスタ	測定前準備（ゼロ点確認、導通点検）ができる		1
実習	デジタルテスタ	電圧測定ができる		1
実習	デジタルテスタ	抵抗測定ができる		1
実習	TEAM-GP	ｅテスト：Ｇ４１０４４－Ｔ０１　正解率１００％		1
実習	電気基礎	確認試験得点率 60%以上		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	電気装置Ｉ－Ｃ

教員（実務経験）	古川宰（販売会社）	小野田皓基（）

1.授業概要と履修前提	オームの法則実験回路を用いて電圧予測および測定。 半導体、オシロスコープを使って電気の基礎を学ぶ。ダイオードを使った整流回路の作動を学ぶ。 オシロスコープの波形観測および読み取りが出来る。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	半導体の名称、作動が説明できる。 オームの法則を使った国家試験問題が解ける。 電気回路トラブル（断線・ショート）時の電圧・電流求められる。 半波・全波回路の作動が説明できる。
3.使用教科書、準備品	三級自動車整備士　総合 二級自動車整備士　総合 トヨタサービス TEAM GP G4（1STEP）及びG3（2STEP） ニッパー、ニードルノーズプライヤ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：12点　、レポート：3点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
38	11	25	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	電気の基礎	オームの法則、電力の問題が解ける。	教室	4
学科	半導体の基礎	半導体の種類が答えられる。	教室	1
学科	ダイオード	記号、端子名、作動が説明できる。	教室	1
学科	ダイオード	Ｖ－Ｉ特性図で順方向立ち上がり電圧の内容が説明できる。	教室	1
学科	整流回路	半波・全波整流回路作動が説明できる。	教室	3
学科	確認試験		教室	1
実習	ABCランプ	電圧・電流・抵抗・電力の計算ができる	255	2
実習	ABCランプ	正常時と異常時の実測が正しくできる	255	6
実習	オシロスコープ	各部名称と役目が説明できる。	255	1
実習	オシロスコープ	校正作業の意味を説明できる。	255	1
実習	オシロスコープ	電圧、周期の計算が解ける。	255	1
実習	オシロスコープ	周波数の計算が解ける。	255	1
実習	整流回路	ダイオードの特徴、作動が説明できる	255	1
実習	整流回路	ＬＥＤの特徴、作動が説明できる。	255	1
実習	整流回路	コンデンサーの特徴、作動が説明できる。	255	1
実習	整流回路	半波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	2
実習	整流回路	全波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	3
実習	整流回路	半波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	2
実習	整流回路	全波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	2
実習		チェックシート（TEAM-GP）得点率70％以上	255	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	電気装置Ｉ－Ｃ

教員（実務経験）	古川宰（販売会社）	小野田皓基（）

1.授業概要と履修前提	トランジスタの基本作動とスイッチング回路、デジタルとアナログ、論理回路の基本、論理回路を用いた回路作動、 各センサの概略と自動車用センサへの活用、灯火ボックスを用いて各点電位の理解と不具合箇所の推定 ワイヤーハーネスの修正作業（ワイヤクリッパの取り扱い要領） ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	トランジスタスイッチング回路において、作動中の各電圧、トランジスタ状態を理解している 論理回路を理解し、論理回路を応用した回路作動の説明ができる 各センサの役目と作動原理の理解をする。灯火ボックスにて電圧測定結果から断線箇所の判定ができる 配線の補修について、基本作業ができる（ワイヤクリッパの取り扱い）
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス TEAM GP G3（2STEP） 三級自動車整備士　総合 二級自動車整備士　総合
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：12点　、レポート：3点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
45	16	27	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	トランジスタ	トランジスタの種類、記号、作動が説明できる	教室	1
学科	トランジスタ	スイッチング作動が理解でき、説明ができる	教室	3
学科	トランジスタ	電流増幅率の問題が解ける	教室	1
学科	デジタル	デジタル信号の基礎が解る	教室	1
学科	論理回路	論理回路の図記号や基本作動が解る	教室	2
学科	センサー回路	フォトトランジスタ	教室	1
学科	センサー回路	ツェナダイオード	教室	2
学科	センサー回路	距離センサー	教室	2
学科	センサー回路	磁気センサー	教室	1
学科	Ｅテスト	満点合格	教室	1
学科	まとめ		教室	1
実習	灯火BOX	灯火BOXの電圧測定ができる	255	3
実習	灯火BOX	灯火BOXの断線個所を予測・発見できる	255	3
実習	スイッチング回路	トランジスタの基本と点検ができる	255	1
実習	スイッチング回路	トランジスタの特性、作動が説明できる。	255	2
実習	スイッチング回路	工作回路が完成している	255	3
実習	スイッチング回路	回路説明ができる	255	1
実習	スイッチング回路	波形予測ができる	255	2
実習	スイッチング回路	波形観測ができる	255	2
実習	センサ回路の確認	温度検出回路、ECUの断線短絡検出	255	3
実習	センサ回路の確認	ツェナダイオード、各センサの作動確認	255	1
実習	ワイヤハーネス加工	ワイヤクリッパを使用できる	255	2
実習	ワイヤハーネス加工	ワイヤハーネスを加工した配線修理ができる	255	2
実習	確認試験	スキルチェック（合格、８０％以上）	255	1
実習	まとめ		255	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	学年末	電気装置Ｉ－Ｃ

教員（実務経験）	古川宰（販売会社）	小野田皓基（）

1.授業概要と履修前提	ネームラベルとエアクリーナエレメント ドアミラー及び内装など脱着取り扱いについて ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ネームラベルについて理解を深める。エアクリーナの清掃方法がわかる 電子技術マニュアルの観かたの練度を向上させる。 ドアミラーを含め内装取り扱いについて理解を深める。
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	評価無し

授業時間	学科	実習	試験
17		17	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	車の情報確認	ネームラベル、フル型式の見方ほか	教室	2
実習	ネームラベルと打刻	ネームラベルの場所、打刻位置がわかる。	34B	1
実習	エアクリーナ	エアガン取り扱いエアクリーナエレメント取り外しと清掃ができる	34B	1
実習	サイドターンシグナル脱着	電子技術マニュアルを操作しながら当該部品の脱着方法　構造を理解する。	34B	1
実習	アウタードアミラー脱着	電子技術マニュアルを操作しながらミラーの脱着方法　構造を理解する。	34B	2
実習	ルーフヘッドライニング取り外し	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	4
実習	ルーフヘッドライニング取り付け	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	4
実習	パーソナルランプ、ルームランプ脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
実習	まとめ		教室	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	自動車材料・環境

教員（実務経験）	佐々木　健太（　　）	窪井　辰弥（販売会社）

1.授業概要と履修前提	自動車と環境の関係性について学ぶ
2.教科の到達目標	自動車が環境に与える影響について説明することができる。 整備時に出る各種廃棄物の正しい処理方法を答えることができる。
3.使用教科書、準備品	配布資料
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	●定期試験　１００％　　※自動車材料と合同 ・定期試験…環境保全(５０％)と自動車材料(５０％）で合算

授業時間	学科	実習	試験
7	7	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	環境概要	自動車と環境の関係性を理解する。	231	2
学科	環境問題への取り組み	トヨタの環境問題に対する取り組みを理解する。	231	1
学科	整備工場の取り組み	整備車両から出る廃棄物の処理方法を理解する。	231	2
学科	環境の法律	自動車と環境に関する関係法令を理解する。	231	1
学科	環境の法律	自動車と環境に関する関係法令を理解できる。	231	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	自動車材料・環境

教員（実務経験）	西谷　孝也（　　）	大橋　登（メーカー）

1.授業概要と履修前提	自動車に使用される各種材料、材質、特性について学ぶ
2.教科の到達目標	各種材料、材質、特性について説明できる
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	●定期試験　１００％　　※自動車材料と合同 ・定期試験…環境保全(５０％)と自動車材料(５０％）で合算

授業時間	学科	実習	試験
9	8	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	鉄鋼	鋳鉄と鋼の違い、特殊鋼、及び、熱処理等が理解できる		2
学科	非鉄金属	各非鉄金属の特徴、各合金、及び、使用箇所が理解できる		3
学科	非鉄金属	焼結合金の特徴が理解できる		1
学科	非金属	非金属の種類、特徴が理解できる		1
学科	確認試験	確認試験が解ける		1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	自動車性能・力学

教員（実務経験）	中田　善之（　　）	猪熊 快斗　（　　）

1.授業概要と履修前提	軸重計算（検査員数学）
2.教科の到達目標	国家試験問題（軸重計算）が解ける つり合いが理解でき、重心の位置が答えられる 用語が理解できる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合） 簡易電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	定期試験100点

授業時間	学科	実習	試験
9	9	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	つり合いの条件	モーメントの理論が説明できる	236	1
学科	重心	荷重分布、軸重の求め方が答えられる	236	2
学科	軸重計算	検査員数学の専門用語が答えられる	236	1
学科	軸重計算	諸元表が読める	236	1
学科	軸重計算	軸重計算が解ける	236	1
学科	軸重計算	軸重計算が解ける（レッカー問題）	236	2
学科	まとめ	まとめ	236	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	自動車性能・力学

教員（実務経験）	矢下　椋大（販売会社）	竹谷　康佑（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・自動車の諸元について学ぶ ・自動車性能について学ぶ
2.教科の到達目標	・自動車の基礎用語、寸法用語について答えることができる ・動力性能の計算ができる ・性能線図を読み取ることができる
3.使用教科書、準備品	・日整連　二級総合 ・電卓（関数電卓　不可）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
8	8	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	自動車の諸元	自動車の諸元、各部名称が理解できる	235	1
学科	走行抵抗	走行抵抗の種類が分かり、計算ができる	235	1
学科	速度変換、加速度	各種の計算ができる	235	2
学科	平均速度、走行距離	各種の計算ができる	235	2
学科	駆動力、トルク、出力	各種の計算ができる	235	2

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	前期	機械要素・製図

教員（実務経験）	古川宰（販売会社）	小野田皓基（　　）

1.授業概要と履修前提	ねじ、ベアリング等の基礎的な構造および名称を学ぶ
2.教科の到達目標	部品の各部名称、用途が説明できる ベアリングの使用目的、種類が説明できる スプリング、ギヤの使用目的、種類が説明できる
3.使用教科書、準備品	三級自動車整備士　総合
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	定期試験100%

授業時間	学科	実習	試験
8	7	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ボルト・ナット	ボルト・ナットの各部名称が説明できる	教室	1
学科	ねじとねじ部品	呼び径、ピッチ、リード、一条ねじ、多条ねじ、ボルトナットの種類	教室	1
学科	スプリング	概要及び各スプリングの種類、構造、使用用途が説明できる	教室	1
学科	ベアリグ	概要及び各ベアリングの種類、構造、使用用途が説明できる	教室	1
学科	ギヤ	ギヤ各部名称、種類、歯形曲線の説明ができる	教室	1
学科	ベルト、チェーン	動力伝達用ベルトおよびチェーンの種類、構造が説明できる	教室	1
学科	オイルシール、ガスケット	漏れ防止装置の種類、構造が説明できる	教室	1

シラバス	自動車整備科１年・高度自動車工学科１年・国際自動車整備科２年		
	2026年度	後期	機械要素・製図

教員（実務経験）	西谷　孝也（　　）	大橋　登（メーカー）

1.授業概要と履修前提	自動車整備における機械製図の一般知識を習得する
2.教科の到達目標	製図を見て、部品の形状、各寸法を理解して、形状を説明(想像)できる
3.使用教科書、準備品	整備振興会　二級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	●定期試験　１００％

授業時間	学科	実習	試験
7	6	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	製図の基本	図形投影方法、用紙の大きさ、線の種類が理解できる		1
学科	製図の基本	寸法記入、制度、及び、はめあい方式が理解できる		1
学科	形体の精度	幾何公差方式、独立の原則、包絡の条件が理解できる		1
学科	形体の精度、表面性状	最大実態公差(MMR)、除去加工の指示表面粗さが理解できる		1
学科	機械要素部品の製図	各要素部品の製図の書き方が理解できる		1
学科	確認試験	確認試験が解ける		1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	エンジンⅡ－Ａ

教員（実務経験）	浅野　忠伯（　　）	久保　翔（販売会社）

1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング 過給機 エンジン計測作業 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	可変バルブ装置を理解し、構造・作動が説明できる 過給機の種類と特徴を理解し作動説明できる 国家試験問題を解くことができる 正しい計測器の取扱いができ、結果を元に判定ができる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合） トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP トヨタサービス技術テキスト　工具、計測器、整備機器編
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点 実技平常試験：5点、レポート：5点、実技チェック：8点 、実技試験：32点

授業時間	学科	実習	試験
56	15	39	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン本体	可変バルブタイミングの必要性・役目を理解する	241	1
学科	エンジン本体	ＶＶＴ-iの構造・構成部品を理解する	241	1
学科	エンジン本体	ＶＶＴ-iの作動を理解する	241	1
学科	エンジン本体	ＶＶＴＬ-iの構造・作動を理解する	241	1
学科	エンジン本体	ＶＶＴ-iとｉＥの違いを理解する	241	1
学科	エンジン本体	LPG概要	241	1
学科	吸排気装置	過給機の役目、種類を理解する	241	1
学科	吸排気装置	ターボチャージャの作動を理解する	241	1
学科	吸排気装置	ターボチャージャの過給圧制御、特徴を理解する	241	1
学科	吸排気装置	スーパーチャージャの特徴	241	1
学科	吸排気装置	インタークーラの役目を理解する	241	1
学科	ｅテスト	ｅテスト（ガソリンエンジン２・エンジンメカニカル２）の内容を理解する	241	1
学科	ｅテスト	ｅテスト（ターボチャージャ・オーバーホール）の内容を理解する	241	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	241	1
学科	学科まとめ		241	1
実習	エンジン本体	可変バルブタイミングの構成・構造・作動を理解する	32Ａ	5
実習	吸排気装置	ターボチャージャの構造を理解する	32Ａ	2
実習	エンジン計測	正しい測定値を得るための注意事項を理解する	32Ａ	1
実習	エンジン計測	オーバーホールの基礎や注意事項を理解する	32Ａ	1
実習	エンジン計測	カムシャフト関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32Ａ	3
実習	エンジン計測	バルブ関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32Ａ	4
実習	エンジン計測	カムシャフト脱着・振れ点検を習熟する	32Ａ	1
実習	平常試験	チェックシート（カムシャフト脱着）が正確にできるようになる	32Ａ	1
実習	平常試験	チェックシート（振れ測定）が正確にできるようになる	32Ａ	1
実習	エンジン計測	ピストン/コンロッド脱着が正確にできるようになる	32Ａ	2
実習	エンジン計測	エンジン計測機器の取り扱いを理解する	32Ａ	2
実習	エンジン計測	シリンダー関係の測定が正確にできるようになる	32Ａ	3
実習	エンジン計測	ピストン関係の測定が正確にできるようになる	32Ａ	5
実習	エンジン計測	クランクシャフト関係の測定が正確にできるようになる	32Ａ	3
実習	エンジン計測	各測定を習熟する	32Ａ	1
実習	平常試験	チェックシート（エンジン計測全般）が正確にできるようになる	32Ａ	3
実習	実技まとめ		32Ａ	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	エンジンⅡ－Ａ

教員（実務経験）	浅野　忠伯（　　）	久保　翔（販売会社）

1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン コモンレール式ディーゼルエンジン 整備機器取り扱い ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	ディーゼルエンジンの特徴・構造等が理解でき、ガソリンエンジンとの違いを説明できる コモンレール式燃料噴射装置の概要・構成や役割を理解し、各種制御を説明できる 国家試験問題を解くことができる 正しい測定値を得るための計測器の取扱いができる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合） トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP トヨタサービス技術テキスト　工具、計測器、整備機器編
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点 実技平常試験：5点、レポート：5点、 実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
56	22	32	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの特徴を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	軽油の性状を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの４行程について理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	空気過剰率、体積効率について理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルノックについて理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	排気ガス中の有害ガス及び対策を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの3要素を理解する	241	1
学科	ディーゼル本体	予熱装置について理解する	241	1
学科	燃料装置	近年のディーゼルエンジン事情を理解する	241	1
学科	燃料装置	コモンレール式の特徴・全体構成を理解する	241	2
学科	燃料装置	サプライポンプの種類・特徴を理解する	241	4
学科	燃料装置	ＥＣＵの内部構成及び制御を理解する	241	2
学科	吸排気装置	後処理装置について理解する	241	2
学科	学科まとめ		241	1
学科	ｅテスト	ｅテスト（ディーゼルエンジン、尿素ＳＣＲ）の内容を理解する	241	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	241	1
実習	エンジン本体	エンジンの全体構成・各部名称・取り付き位置を理解する	32Ａ	3
実習	エンジン本体	各センサーの名称・取り付き位置を理解する	32Ａ	2
実習	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、コモンレールの構造を理解する	32Ａ	2
実習	エンジン本体	本体部品の取外しができ、吸排気装置の構造を理解する	32Ａ	2
実習	エンジン本体	分解・構造確認を通して、ディーゼルエンジン構造を理解する	32Ａ	4
実習	エンジン本体	シリンダヘッドの脱着ができ、燃焼室について理解する	32Ａ	3
実習	エンジン本体	エンジン本体のトルク管理・復元ができるようになる	32Ａ	4
実習	エンジン本体	燃料系統のトルク管理・復元ができるようになる	32Ａ	3
実習	エンジン本体	車両にて全体構成や取り付き状態を理解する	32Ａ	1
実習	エンジン本体	車両にてエンジン始動・メータ表示を理解する	32Ａ	1
実習	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いたデータ確認と補正値登録を理解する	32Ａ	2
実習	ディーゼル本体	大型車両の概要、構造を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	ディーゼル本体	燃料系作業方法を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	ディーゼル本体	燃欠時の対応を理解する（愛知日野自動車様講師）	51実	1
実習	実技まとめ		32Ａ	1
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32Ａ	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	エンジンⅡ－Ｂ

教員（実務経験）	小川　剛司（　　）	足立　拓（販売会社）

1.授業概要と履修前提	電子制御燃料噴射装置（EFI）、排気浄化装置、外部診断機（GTS）の習熟 電子技術マニュアル取り扱い 電子制御装置の構造構成制御理解 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	排出ガスの種類と発生原因を理解し説明できる EFIの構成部品について、センサー・コンピュータ制御の基礎を理解し説明できる 診断機を使用し、基本的な点検・計測作業ができる 国家試験問題を解くことができる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合） トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点 実技平常試験：5点、レポート：5点、実技チェック：8点　、実技試験：32点

授業時間	学科	実習	試験
56	19	35	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エンジン本体	ガソリンエンジンの排出ガスを理解する	242	1
学科	エンジン本体	排出ガス対策の酸化触媒・還元触媒・三元触媒を理解する	242	1
学科	エンジン本体	排出ガス対策のEGR・ブローバイガス還元装置を理解する	242	1
学科	電子制御装置	ＥＦＩ装置の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	フューエルポンプの制御を理解する	242	1
学科	電子制御装置	バキュームセンサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	エアフロメータの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	ｽﾛｯﾄﾙ・ｱｸｾﾙﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	Ｏ2・空燃比センサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	クランク角・カム角センサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	温度・ノックセンサの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	インジェクタの構造・特性・作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	燃料噴射制御の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	同期・非同期噴射の種類を理解する	242	1
学科	電子制御装置	フューエルカットを理解する	242	1
学科	電子制御装置	空燃比Ｆ/Ｂ、学習制御を理解する	242	1
学科	ｅテスト	ｅテスト（エンジンメカニカル３・４、ガソリンエンジン３）の内容を理解する	242	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	242	1
学科	学科まとめ		242	1
実習	基本作業	危険予知ができるようになる	32Ｂ	1
実習	ＥＦＩ構成部品	ＥＦＩ構成部品の種類・取り付き位置・役目等を理解する	32Ｂ	4
実習	ＥＦＩ構成部品	ＥＣＵの電源・アースについて理解する	32Ｂ	3
実習	外部診断機	ダイアグ機能の概要、検出原理を理解する	32Ｂ	2
実習	外部診断機	外部診断機の取り扱い（基礎）ができるようになる	32Ｂ	3
実習	電子技術マニュアル	電子技術マニュアルの修理書にて調べることができるようになる	32Ｂ	1
実習	電子技術マニュアル	修理書より正常データ収集ができるようになる	32Ｂ	2
実習	電子技術マニュアル	解説書より各正常データ収集ができるようになる	32Ｂ	2
実習	電子技術マニュアル	配線図より不具合時の値、現象確認ができるようになる	32Ｂ	2
実習	ＥＦＩ構成部品	データモニタにて正常データ収集ができるようになる	32Ｂ	4
実習	ＥＦＩ構成部品	各センサーの波形観測ができるようになる	32Ｂ	6
実習	ＥＦＩ構成部品	ダイアグコード読み取りや現象確認ができるようになる	32Ｂ	2
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32Ｂ	2
実習	実技まとめ		32Ｂ	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	エンジンⅡ－Ｂ

教員（実務経験）	小川　剛司（　　）	足立　拓（販売会社）

1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン　電子点火装置（ＥＳＡ） アイドル回転速度制御装置・電子スロットル ガソリンエンジンの故障探求、電子点火装置 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	電子点火装置の作動を理解し説明できる アイドル回転速度制御装置を理解し説明できる 故障探求の手順・方法が理解できる 国家試験問題を解くことができる
3.使用教科書、準備品	二級自動車整備士（総合） トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科平常試験：10点、学科試験：40点 実技平常試験：5点、レポート：5点、 実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
56	16	38	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	電子制御装置	点火制御装置の概要を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の役目・構造を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の回路・信号を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の作動を理解する	242	1
学科	電子制御装置	点火制御装置の点火時期制御を理解する	242	2
学科	電子制御装置	点火制御装置の点火補正を理解する	242	1
学科	電子制御装置	アイドル回転制御装置の概要・役目・構造を理解する	242	1
学科	電子制御装置	アイドル回転制御方法を理解する	242	1
学科	電子制御装置	電子制御式スロットルの概要・特徴を理解する	242	1
学科	電子制御装置	電子制御式スロットルの制御を理解する	242	1
学科	故障探求	故障探求の流れを理解する	242	3
学科	ｅテスト	ｅテスト（エンジンの３要素・ＧＴＳの活用）の内容を理解する	242	1
学科	平常試験	授業内容全般を理解する	242	1
実習	点火制御装置	ＥＳＡの概要、構造を理解する	32Ｂ	1
実習	点火制御装置	ＥＳＡの制御を理解し、波形観測ができるようになる	32Ｂ	1
実習	点火制御装置	データモニタにて回転速度と負荷の関係を理解する	32Ｂ	1
実習	故障探求	故障探求の5つのステージを理解する	32Ｂ	2
実習	故障探求	故障探求のフローチャートを作成することができるようになる	32Ｂ	1
実習	故障探求	パワーバランス点検ができるようになる	32Ｂ	1
実習	故障探求	W/H、リレーの単体点検ができるようになる	32Ｂ	1
実習	エンジントラブル	ＥＣＵ、センサ電圧測定ができるようになる	32Ｂ	1
実習	エンジントラブル	課題１の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題２の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題３の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題４の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題５の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題６の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題７の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題８の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	課題９の故障探求ができるようになる	32Ｂ	3
実習	エンジントラブル	復習を通し、トラブルシュートについて理解する	32Ｂ	1
実習	平常試験	授業内容全般を理解する	32Ｂ	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	シャシII － A

教員（実務経験）	本間　滉太郎（販売会社）	鈴木　郁哉（販売会社）

1.授業概要と履修前提	定期点検の必要性，種類を理解する。 定期交換部品の商品知識，交換時期を理解する（復習）。 日常点検、プロケア１０、12か月定期点検 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	定期交換部品の商品知識，交換時期を説明できる。 安全な作業ができる 正確な点検、記録簿の正しい記載ができる 整備機器の正しい取り扱いができる
3.使用教科書、準備品	法令テキスト トヨタ定期点検作業要領説明書 2，3級自動車整備士（総合） 教育用メンテナンスノート
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	学科平常試験：5、学科定期試験：30 実技平常試験：7、レポート：3、実技チェック：5、実技定期試験：50

授業時間	学科	実習	試験
56	15	39	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	定期点検整備	定期点検の目的・必要性を理解する	214	3
学科	定期点検整備	車両・リフトの取り扱いを理解する	214	1
学科	基礎	エンジンオイルの知識を理解する	214	2
学科	基礎	ブレーキフルードの知識を理解する	214	1
学科	基礎	バッテリの知識を理解する	214	1
学科	基礎	エアクリーナ、LLCの知識を理解する	214	1
学科	基礎	タイヤの知識を理解する	214	1
学科	定期点検整備	パッド、ライニングの知識を理解する	214	1
学科	基礎	復習、まとめ	214	2
学科	基礎	国家試験対策（工学）	214	1
学科	定期点検整備	平常試験	214	1
実習	定期点検整備	エンジン始動、車両の取り扱いができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	リフトの取り扱いができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	日常点検ができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	タイヤ脱着ができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	１ヶ月無料点検と記録簿の記入ができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	プロケア１０の点検項目確認・記載ができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	プロケア１０ができるようになる	31A	2
実習	定期点検整備	12ヶ月定期点検項目の記録簿の記入ができるようになる	31A	3
実習	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる（１～３ローテ）	31A	9
実習	定期点検整備	より効率の良い作業を話し合って考えることができる	31A	2
実習	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる（４～６ローテ）	31A	8
実習	定期点検整備	平常試験（実技チェック）	31A	2
実習	定期点検整備	平常試験（実技ペーパー）	214	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	シャシⅡ － A

教員（実務経験）	本間　滉太郎（販売会社）	鈴木　郁哉（販売会社）

1.授業概要と履修前提	車検書類について 継続検査に関する保安基準と検査機器の取り扱い 24ヵ月定期点検、継続検査、検査ライン ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	車検に必要な各書類の用途と車検申請の流れを説明できる トヨタ検定３級レベルの定期点検が正確にでき、記録簿の正しい記載ができる 車検検査機器の取り扱い方を理解する 継続検査の実施要領を説明できる
3.使用教科書、準備品	法令テキスト トヨタ定期点検作業要領説明書 技術テキスト　導入教育編 教育用メンテナンスノート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
56	15	39	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	車検整備	登録および検査の車の種別、検査の種類を理解する	214	2
学科	車検整備	継続検査の実施方法を理解する	214	2
学科	車検整備	検査申請書類を理解する	214	1
学科	車検整備	必要書類および税金、手数料を理解する	214	1
学科	車検整備	書類作成の継続検査書類作成方法を理解する	214	2
学科	車検整備	前期の復習	214	1
学科	基礎	トヨタ検定を理解する	214	1
学科	定期点検整備	実技の流し方、点検方法を理解する	214	2
学科	基礎	国家試験対策（工学）	214	1
学科	基礎	復習	214	1
学科	定期点検整備	平常試験	214	1
実習	公害発散防止	公害発散防止装置を理解し、点検ができるようになる	31A	3
実習	車検整備	24ヶ月定期点検の新規点検項目ができるようになる	31A	3
実習	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる（１ローテ目）	31A	8
実習	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる（２ローテ目）	31A	8
実習	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる（３ローテ目）	31A	8
実習	車検整備	検査機器の取り扱いができるようになる	31A	2
実習	車検整備	ブレーキフルードエア抜き（ＨＶ車）ができるようになる	31A	3
実習	定期点検整備	平常試験（実技チェック）	31A	3
実習	定期点検整備	平常試験（実技ペーパー）	214	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	シャシⅡ － B

教員（実務経験）	小掠　哲弘（　　）	加藤　以織（　　）

1.授業概要と履修前提	パワーステアリング、オイルポンプ、ロータリバルブ、電子制御式パワーステアリング、電動パワーステアリング パワーステアリングを構成する部品の名称・役目、コントロール トヨタ業務教育に基づいた、接客の基本・部品業務の知識
2.教科の到達目標	バルブの種類・作動を説明できる。 パワーステアリングの構造がわかり、国家試験問題が解けるようになる。 基本の接客業務の流れを理解し、実践できる。
3.使用教科書、準備品	二級総合 三級総合 自動車整備技術シャシ４ （PDF)
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点　平常試験： 5 点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
54	13	39	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	パワーステアリング概要	動力、作動、制御装置を区別し、説明できる	244	1
学科	オイルポンプ	ベーン型オイルポンプ、フローコントロールバルブ、プレッシャリリーフバルブの作動を理	244	2
学科	種類	装置の取り付け位置、リンクによる種類の区別ができる	244	1
学科	コントロールバルブ	油圧作動、作動切り替えの原理を理解する	244	1
学科	ロータリバルブ	直進時、旋回時の部品の動き、油路の説明ができる　　故障時の作動を説明	244	1
学科	電子制御式パワーステアリング	必要性を理解し、油圧反力制御式の作動を説明できる	244	1
学科	電動パワーステアリング	部品の取り付け位置による種類の分類、トルクセンサの特徴を押させ説明ができ	244	1
学科	業務教育①トヨタサービスの基本精神	３S精神　基本７項目が身につく	244	1
学科	業務教育②接客	ロールプレイングを通して、接客の流れが身につく	244	1
学科	業務教育③保証業務	トヨタの製品保証について、理解できる	244	1
学科	習熟	今回学んだことを想起し、抜け、漏れ、理解不足を把握し、補う	244	2
実習	ステアリング概要	３つの機構、要求される条件を説明できる	244	2
実習	操作機構	ステアリングコラムの特徴、機能を説明できる	244	2
実習	ギア機構、バリアブルギアレシオ	名称・作動が説明でき、ギヤ比を用いた計算ができる　　国家試験問題を解くこ	244	3
実習	リンク機構	アッカーマンジャント理論を理解する	244	1
実習	旋回性能	コーナリングフォースとスリップアングルについて理解し、旋回軌跡の違いを説明でき	244	2
実習	４輪操舵機構	４輪操舵機構について理解し、各速度域での制御の違いを説明できる	244	1
実習	油圧式パワーステアリング	分解・組付けを行い各部品の特徴を押さえ、差動を説明できる	212	3
実習	電動パワーステアリング	外観による種類の区別ができ、トルクセンサの種類の区別が説明できる	212	3
実習	GWT	トーションバーが無い場合の作動について	212	1
実習	車上ステアリングホイール脱着	車両で作業を行い、取付状態が理解できる。	33A	3
実習	業務教育①トヨタサービスの基本精神	３S精神　基本７項目が身につく	244	3
実習	業務教育②接客	ロールプレイングを通して、接客の流れが身につく	244	5
実習	業務教育③保証業務	トヨタの製品保証について、理解できる	244	4
実習	技術チェック	ラックブーツの交換が正しくできる	212	3
実習	４S・毎日問題	今回学んだ内容を復習し、理解を深める	244	1
実習	練習問題	今回学んだ内容を理解し、国家試験問題を解くことができる	244	1
実習	まとめ	復習	244	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	シャシⅡ－Ｂ

教員（実務経験）	小掠　哲弘（　　）	加藤　以織（　　）

1.授業概要と履修前提	ATについてトルクコンバータ、ATの構造、部品名称について ATの国家試験問題が解ける（各レンジ作動問題）
2.教科の到達目標	ATの構造、作動について説明できる
3.使用教科書、準備品	二級総合 三級総合 自動車整備技術シャシ４ （PDF)
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点 、レポート：5点　平常試験： 5 点 学科試験：40点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
54	21	31	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	AT概要	必要性を理解し、説明できる	244R	2
学科	トルクコンバータ	基本構造、ステータ、性能線図、ロックアップ機構を説明できる	244R	4
学科	プラネタリギヤ	基本構造を理解し、ギヤ比の計算ができる	244R	3
学科	4速AT　基礎構造	各クラッチ、ブレーキ等の区別ができ、説明できる	244R	2
学科	4速AT　構成、機能	構成部品、各機能を理解し、説明できる	244R	2
学科	4速AT　各レンジの作動	各レンジでの作動部品を理解し、作動が説明できる	244R	4
学科	復習	日々の内容を想起し、理解不足を把握する	244R	1
学科	国家試験問題	今回の内容国家試験問題を解くことができる	244R	1
学科	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	244R	2
実習	電子制御機構	各センサー・ソレノイドの区別ができ、必要性を説明できる	244R	1
実習	4速AT　変速線図	自動変速線図を読み取ることができる	244R	1
実習	安全装置	インヒビタスイッチ、急発進防止装置の必要性と作動が説明できる	244R	1
実習	トルクコンバータ	実物での作動説明ができる。ロックアップ時の作動説明ができる	212	2
実習	AT　オイルポンプ	オイルポンプの構造を把握し、クリアランス点検を確実に実施できる	212	1
実習	AT　外観構造研究	外観より各部品の名称を答えることができる	212	1
実習	AT　分解	安全、確実に分解することができる	212	2
実習	AT　内部構造研究	各部品の名称を把握し、必要性を説明できる	212	3
実習	AT　プラネタリギヤユニット	プラネタリギヤの実物を確認し、作動理解を深める	212	3
実習	AT　組み付け	安全、確実に組付けをすることができる	212	1
実習	AT　点検	インヒビタスイッチの構造を理解し、確実に点検を行うことができる	212	1
実習	GWT、４Ｓ	各クラッチ、ブレーキが作動不良の場合の作動について	212	3
実習	CVT	構造を理解し、変速作動時の各備品、油圧の変化を説明できる	212	2
実習	車上点検	車上点検において良否判定ができる。故障部位の推定ができる	34B	1
実習	車上点検	ストールテストを確実に実施でき、良否判定ができる。故障部位の推測ができる	35B	2
実習	電話応対	敬語、電話対応を適切に行うことができる	244R	4
実習	平常試験	学科・実技ペーパー試験、実技試験	244R	1
実習	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	244R	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	シャシⅡ－Ｃ

教員（実務経験）	青谷　真乃介（販売会社）	坂元　亮太（　　）

1.授業概要と履修前提	各ホイールアライメントの役目を理解する。ホイールアライメント測定・調整　作業 ４ＷＤ、ｲﾝﾀｰｱｸｽﾙﾃﾞﾌ 業務教育（記録簿説明） ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	CCKゲージの取り扱いと計測ができる 各点検及び測定作業の良否判断ができる 様々な４WDの構成部品を把握できる　インタアクスルデフの国家試験問題が解ける 記録簿をお客様に説明でき、提案できる
3.使用教科書、準備品	３級自動車整備士（総合） ２級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技平常試験：5点、スキルチェック：8点、レポート：5点、実技試験：32点 学科平常試験：10点 、学科試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
47	18	27	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	国家試験対策	国家試験問題の練習	246R	1
学科	概要	アライメントの概要が理解できる	246R	4
学科	キャンバ	キャンバの目的、機能が理解できる	246R	2
学科	キャスタ	キャスタの目的、機能が理解できる	246R	3
学科	キングピンアングル	トー、サイドスリップ、ターニングラジアスの目的、機能が理解できる	246R	2
学科	まとめ	授業内容の復習	246R	1
学科	４WD	４WD概要・種類・構造が理解できる	246R	3
実習	業務教育	記録簿の内容がお客様に説明できる		2
実習	業務教育	スキルチェック		3
実習	キャンバ	キャンバの測定作業が理解できる	34A	1
実習	キャスタ	キャスタの測定作業が理解できる	34A	2
実習	キングピンアングル	キングピンアングルの測定作業が理解できる	34A	4
実習	トーイン	トーインの測定、調整作業が理解できる	34A	1
実習	ターニングラジアス	ターニングラジアスの測定作業が理解できる	34A	1
実習	４輪アライメント	セットバック，スラスト角が理解できる	34A	3
実習	測定前点検	測定前点検が行える	34A	4
実習	各アライメント測定	ＣＣＫゲージが使用できる	34A	2
実習	4WD	フリーホイールハブを理解できる	246R	1
実習	インタアクスルデフ	国家試験が解ける	246R	1
学科	まとめ	定期試験のまとめ	246R	1
実習	まとめ	定期試験のまとめ	246R	1
学科	定期試験			1
実習	定期試験			1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	シャシⅡ－C

教員（実務経験）	青谷　真乃介（販売会社）	坂元　亮太（　　）

1.授業概要と履修前提	トヨタ検定３級（プレス・プーラの使用方法　オルタネータ　スタータ） 外装脱着（フロントバンパー　テールレンズ　ヘッドランプ　テールランプ） シート脱着（フロントシート　リヤシート座面脱着） ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	プレス機・プーラーを一人で作業ができる 修理書を確認しながら部品脱着ができる
3.使用教科書、準備品	３級自動車整備士（総合） ２級自動車整備士（総合） サーキットテスタ・メガー・プレス機・プーラー
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとして様々な工具を使用できるように身に技術をつける
5.評価方法	実技平常試験：5点、スキルチェック：8点、レポート：5点、実技試験：32点 学科平常試験：10点 、学科試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
44	1	41	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	スタータ・オルタネーター部門	国家試験問題を訂正・記載教科書のページを記入できる	33B	5
実習	プレス機部門	プレス機を使用できる（ハブベアリング脱着）。スキルチェックが出来るようになる。	33B	5
実習	プーラー部門	Cプーラーを組立て、ハブベアリングインナーレースを取り外しできる。	33B	5
実習	プレス機スキルチェック	10分程度でハブベアリングの脱着ができる	33B	3
実習	プーラースキルチェック	5分程度でベアリングのインナーレースを取り外しができる	33B	2
実習	ボデー部門	バンパー脱着ができる	33B	8
実習	ボデー部門	バンパー構造研究	33B	1
実習	ボデー部門	灯火類（ヘッドライト・テール）脱着ができる	33B	3
実習	ボデー部門	シート脱着ができる	33B	2
実習	バンパー脱着スキルチェック	60分以内でバンパー脱着が出来る	33B	5
実習	平常試験	平常試験（紙での問題で合格は6割以上）	246	1
学科	まとめ	定期試験に向けてのまとめ授業	246	1
実習	まとめ	定期試験に向けてのまとめ授業	246	1
	定期試験	定期試験１		1
	定期試験	定期試験２		1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	電気装置Ⅱ－Ａ

教員（実務経験）	小野田　貴文（販売会社）	中村　宗博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	車体の振動、バネ定数、固有振動数、エアサスペンション、エキゾースト・複合式・エアブレーキ, 各スプリングのばね特性、各リターダーについて。 大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて
2.教科の到達目標	走行性能、エアサスペンション、エキゾーストブレーキ、複合式ブレーキ、エアブレーキで 各スプリングのばね特性、各リターダーについて説明できる。 大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて説明できる。 車両を安全に取扱いできる"
3.使用教科書、準備品	二級総合 自動車整備技術　シャシ４
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点、平常試験：10点 学科試験：40点 、実技試験：35点

授業時間	学科	実習	試験
56	20	34	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	サスペンション基礎	サスペンション構造の復習をする	248	1
学科	エアサスペンション基礎	エアサスペンションの構成を確認する	248	1
学科	エアブレーキ基礎	エアブレーキの構成を確認する	248	1
学科	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ性能	ばね定数，振動の特性グラフ，固有振動数，共振を理解する	248	1
学科	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ性能	車体の振動，揺動のローリング、各振動の発生原因のロールセンタもを理解する	248	1
学科	エアサス	概要，特性の長所，短所の金属ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞとの比較を理解する	248	1
学科	エアサス	構成部品の名称，配置，役目を理解する	248	1
学科	エアサス	エア供給装置の構成、構造作動を理解する	248	1
学科	エアサス	エアスプリングの種類，構造，特徴を理解する	248	1
学科	エキゾーストブレーキ	概要と装置の構成、作動を理解する	248	2
学科	複合式ブレーキ	概要の用途，構成部品を理解する	248	2
学科	複合式ブレーキ	ブレーキバルブの構造と作動を理解する	248	1
学科	複合式ブレーキ	制動倍力装置、リレーバルブの構想と作動を理解する	248	1
学科	エアブレーキ	概要，構成部品の用途，部品の名称と配置を理解する	248	2
学科	練習問題	ｴｱｻｽ，EXﾌﾞﾚｰｷ,複合ﾌﾞﾚｰｷ,ｴｱﾌﾞﾚｰｷの国家試験が解ける	248	1
学科	習熟	今回学んだことを想起し，抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	248	1
学科	平常試験	平常試験	248	1
実習	基礎	シューの組付けができるようになる，エアサス概要が説明できる	33B	3
実習	エアブレーキ	ブレーキバルブ，ドライヤ，制動倍力装置が理解できる	33B	10
実習	エアサス	レベリングバルブの構造，作動が説明できる	33B	3
実習	トラック	リヤアクスル取り外し，ドラムの分解組付けができる	33B	16
実習	習熟	今回学んだことを想起し，抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	33B	1
実習	平常試験	平常試験	33B	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	電気装置Ⅱ－Ａ

教員（実務経験）	小野田　貴文（販売会社）	中村　宗博（販売会社）

1.授業概要と履修前提	自動車エアコンの冷凍サイクルを学ぶ 冷凍サイクルの状態を理解する。 ゲージマニホールドの取り扱い及び充填方法を学ぶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	冷凍サイクルの構成部品や冷凍サイクル内の状態が分かる。 ゲージマニホールドの取扱いが出来る 冷媒の抜き取り、充填が出来る クリーンエアフィルタの交換が出来る
3.使用教科書、準備品	二級総合 電気装置２
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点　、平常試験：10点 学科試験：40点　、実技試験：35点

授業時間	学科	実習	試験
56	21	33	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	エアコン概要	冷房、暖房の概要を理解する	248	2
学科	冷房装置概要	冷房の原理を理解する	248	4
学科	構成部品	各部品の役目、作動を理解する	248	5
学科	マニュアルエアコン	マニュアル、オートの違いをりかいする	248	1
学科	オートエアコン	オートエアコン制御を理解する	248	2
学科	乗員保護装置（エアバッグ、シートベルト）	乗員保護の種類と構成、を理解する	248	2
学科	パワーウィンドウ	パワーウインドウの概要、作動を理解する	248	3
学科	復習	国家試験問題が解けるようになる	248	1
学科	平常試験		248	1
実習	エアコンユニット構成	実車による取り付け位置の確認	34	1
実習	冷媒について	互換性、注意事項、点検要領が分かる	34	2
実習	ゲージマニホールド	取り扱いが出来る	34	1
実習	冷媒回収	回収機が使用できる	34	2
実習	真空引き、気密チェック	必要性が理解できる	34	1
実習	ガス漏れ点検	点検要領を理解する	34	1
実習	冷媒充填	作業要領を理解する	34	3
実習	クリーンエアフィルタ	交換できる	34	3
実習	車両配線	オートエアコン配線を理解する	34	1
実習	練習	ゲージマニホールド、クリーンエアフィルタ取り扱い	34	2
実習	技術チェック	ゲージマニホールド、クリーンエアフィルタ車両取り付け	34	3
実習	復習	国家試験対策問題	34	1
実習	エアバッグ、シートベルト	エアバッグ構成部品、シートベルトの機能を理解する	248	4
実習	アクセサリーソケット	種類と非常時給電を理解する	248	3
実習	パワーウィンドウ	レギュレータ脱着	34	4
実習	平常試験		248	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	電気装置Ⅱ－Ｂ

教員（実務経験）	小山　真由子（　　）	友山　昌樹（販売会社）

1.授業概要と履修前提	アクティブセーフティー 工場経営、業務教育 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	安全装置全般内容を理解し、将来お客様に説明できるようになる
3.使用教科書、準備品	２級自動車整備士（総合）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
56	18	36	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ＡＢＳ	ABSの概要、構成、制御を理解する	249	5
学科	ＴＲＣ	TRCの概要、構成、制御を理解する	249	1
学科	ＶＳＣ	VSCの概要、構成、制御を理解する	249	1
学科	ＴＳＳ	TSSの概要、構成、制御を理解する	249	3
学科	CAN通信	CANの概要、構成、制御を理解する	249	4
学科	工場経営	電子カタログ、ai２１を使用できる	249	2
学科	ＥＣＢ	ECB通信の概要、構成、制御を理解する	249	1
学科	平常試験	平常試験	236	1
実習	ＥＣＢ	ECB通信の概要、構成、制御を理解する	249	3
実習	ＡＢＳ	構成部品、制御を理解する	34	2
実習	TRC	アクチュエータ作動	34	3
実習	CAN	ボデー多重通信の基本的な診断ができる	34	3
実習	車輪速センサ	基本構造、作動が理解できる	34	1
実習	ＴＳＳ	TSSの体験走行を行い、各作動が理解できる	テストコー	5
実習	エーミング	エーミングの概要、作業手順が分かる	34	6
実習	工場経営	電子カタログ、ai２１を使用できる	235	4
実習	国家試験対策	該当内容の国家試験問題を理解する	249	2
実習	電気回路作動	ライト消し忘れ警報装置の作動、トラブルを理解する	249	6
実習	平常試験	平常試験	236	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	電気装置Ⅱ－Ｂ

教員（実務経験）	小山　真由子（　　）	友山　昌樹（販売会社）

1.授業概要と履修前提	HVシステムの概要、交流同期式モータ、インバータの構造、作動 低圧電気取扱者講習 HV車の特徴と整備時の注意事項、HVバッテリ脱着、HV車の制御 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	HVシステムの概要を理解することで将来お客様に説明できるようになる 低圧電気取扱者講習が修了できる HV車の特徴と整備時の注意事項が理解でき、安全な整備ができるようにする
3.使用教科書、準備品	低圧電気取扱テキスト トヨタサービス導入、１、２STEP
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	実技チェック：10点　、レポート：5点 学科試験：45点 、実技試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
56	19	35	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	HV概要	HV車の必要性、種類が分かる	236	2
学科	THSシステムの構成	HV車の特徴、エンジンの構造が分かる	236	1
学科	THSシステムの構成	モータ、ジェネレータの構造が分かる	236	1
学科	THSシステムの構成	PCUの構造が分かる	236	1
学科	THSシステムの構成	パワーケーブル、HVバッテリの構造が分かる	236	1
学科	THSシステムの構成	ＳＭＲの構造、作動が分かる	236	1
学科	THSシステムの構成	サービスプラグの構造が分かる	236	1
学科	共線図	共線図が理解できる	236	3
学科	FCV概要	FCVの概要が分かる	236	3
学科	低圧電気取扱者講習	低圧電気取扱者講習が修了（60％以上）できる	236	4
学科	平常試験	平常試験	236	1
実習	交流同期式モータ	交流同期式モータの構造、作動が分かる	245	2
実習	インバータ	インバータの構造、作動が分かる	245	2
実習	診断機、技術マニュアル	HV車の取り扱いについてが分かる	34	2
実習	HVバッテリ取り外し	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを取り外すことができる	34	3
実習	HVバッテリ分解	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを分解することができる	34	1
実習	HVバッテリ構造研究	HVバッテリの構造が分かる	34	2
実習	HVバッテリ組み付け	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを組み付けすることができる	34	1
実習	HVバッテリ取り付け	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを取り付けることができる	34	2
実習	PCU構造研究	PCUの構造が分かる	34	3
実習	クーリングブロワ制御	クーリングブロワの制御が分かる	34	2
実習	共線図	共線図が分かる	34	2
実習	eテスト	得点率が７０％以上取れる	236	4
実習	まとめ	授業内容の確認ができる	34	3
実習	HV車乗り比べ	HV車を試乗し、体感走行させる	テストコー	3
実習	平常試験	平常試験	34	3

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	前期	法規

教員（実務経験）	青谷　真乃介（販売会社）	坂元　亮太（　　）

1.授業概要と履修前提	道路運送車両法を理解する
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける
3.使用教科書、準備品	法令教本（公論出版）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	平常試験20点 定期試験80点

授業時間	学科	実習	試験
10	9	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	道路運送車両法	車両の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	車両の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	車両の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	分解整備事業の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	分解整備事業の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	分解整備事業の法律	学科教室	1
学科	道路運送車両法	分解整備の種類	学科教室	1
学科	道路運送車両法	分解整備の種類	学科教室	1
学科	定期試験		学科教室	1

シラバス	自動車整備科２年・高度自動車工学科２年・国際自動車整備科３年		
	2026年度	後期	法規

教員（実務経験）	青谷　真乃介（販売会社）	坂元　亮太（　　）

1.授業概要と履修前提	保安基準を理解する
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける
3.使用教科書、準備品	法令教本（公論出版）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている
5.評価方法	平常試験20点 定期試験80点

授業時間	学科	実習	試験
12	11	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	保安基準	灯火類関係	246	5
学科		車両状態・軸重・安定性・最小回転半径・舵取り装置・燃料装置・など	246	6
	定期試験			1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	エンジン電子制御

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝ電子制御における各センサ、アクチュエータの構造、作動を詳細まで学び、故障探求ができるまでの基礎作りをする。
2.教科の到達目標	各センサ、アクチュエータの構造、作動を詳細まで理解し、基礎的な故障探求が回路上で行えるようになる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト　2・３STEP　、１級自動車整備士エンジン編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	ｾﾝｻ、ｱｸﾁｭｴｰﾀ、配線、ＥＣＵの関係を理解する。	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	電子ｽﾛｯﾄﾙｼｽﾃﾑの構成、ｾﾝｻ、制御	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	燃料噴射制御の構成、ｾﾝｻ	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	燃料噴射制御のｾﾝｻ、空燃比	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	燃料噴射制御、制御方法	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	VVT-iｼｽﾃﾑ構成、ｾﾝｻ	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	VVT-iｼｽﾃﾑの制御方法	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	点火時期制御のｼｽﾃﾑ構成	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	ﾉｯｸｺﾝﾄﾛｰﾙのｾﾝｻと制御	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	燃料噴射ｼｽﾃﾑの電源とｱｰｽ	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	燃料噴射ｼｽﾃﾑのｾﾝｻ電圧	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎	ﾀﾞｲｱｸﾞﾉｰｼｽの概要	教室	1
学科	電子制御式ｴﾝｼﾞﾝの基礎		教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	シャシ電子制御

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・トヨタサービス技術検定2級レベル及び一級自動車整備士レベルのオートマチックトランスミッション知識を習得する ・プラネタリギヤユニットの歯数と回転数の証明ができる知識の習得 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・トヨタA42DL4速オートマチックトランスミッションの１～４速の変速作動（動力伝達経路含む）と変速比計算， 各運転状態の制御方法が説明できる ・ホイールアライメントの各要素とそれぞれの役割，異常発生時の現象を予測できる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　第２・３ステップ ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	AT、CVT	概要、構造、作動、ﾛｯｸｱｯﾌﾟ	523	1
学科	AT、CVT	概要、構造、変速作用、ｷﾞﾔ比	523	1
学科	AT、CVT	変速制御、油圧制御装置	523	1
学科	AT、CVT	制御ｼｽﾃﾑ	523	1
学科	AT、CVT	各アクチュエータ	523	1
学科	AT、CVT	各センサ	523	1
学科	AT、CVT	各種制御(変速、登降坂、ﾀﾞｳﾝｼﾌﾄ)	523	1
学科	AT、CVT	各種制御(ﾗｲﾝ圧、ﾛｯｸｱｯﾌﾟ、ﾆｭｰﾄﾗﾙ)	523	1
学科	AT、CVT	ｼﾌﾄ・ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ・ｾﾝｻ	523	1
学科	AT、CVT	ｽﾛｯﾄﾙ・ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ・ｾﾝｻ	523	1
学科	AT、CVT	ﾗｲﾝ・ﾌﾟﾚｯｼｬ	523	1
学科	AT、CVT	変速、ﾛｯｸｱｯﾌﾟ、ﾌｪｲﾙｾｰﾌ(ｽﾛﾎﾟｼﾞ),ﾌｪｲﾙｾｰﾌ(ｼﾌﾄﾎﾟｼﾞｼｮﾝ、各ｿﾚﾉｲﾄﾞ)	523	1
学科	平常試験		523	1
学科	定期試験		523	
学科	定期試験		523	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	シャシ電子制御実習

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・ATの整備方法と重整備時における安全作業の修得し補修部品を正確に発注できる ・与えられた整備目標に対してグループ内で作業内容や手順を摺り合わせ，少人数内での調整力を養う ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・安全に重整備が実施できる。（安全な作業方法の考案と実施） ・次の作業の流れを考えた整備ができる。（作業手順・段取りなどの後工程を踏まえ，作業内容の工夫ができる）
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト２ステップ　オートマチックトランスミッション ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
31	0	29	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ切離し	51実	1
実習	A/T脱着	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ切離し	51実	1
実習	A/T脱着	車両よりAT取外し	51実	1
実習	A/T脱着	車両よりAT取外し	51実	1
実習	A/T脱着	車両よりAT取外し	51実	1
実習	A/T脱着	AT構造研究	51実	1
実習	A/T脱着	AT構造研究	51実	1
実習	A/T脱着	車両にAT組付け	51実	1
実習	A/T脱着	車両にAT組付け	51実	1
実習	A/T脱着	車両にAT組付け	51実	1
実習	A/T脱着	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続	51実	1
実習	A/T脱着	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続	51実	1
実習	A/T脱着	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	周辺部品	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	A/T脱着	AT車上点検	51実	1
実習	ﾁｰﾑＧＰ	Ｇ２００５６～７３	51実	1
実習	ﾁｰﾑＧＰ	Ｇ２００５６～７３	51実	1
実習	ﾁｰﾑＧＰ	Ｇ２００５６～７３	51実	1
実習	定期試験			
実習	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	プレゼンテーション技術

教員（実務経験）	担任（　　）	

1.授業概要と履修前提	・高度自動車科教育の特色の一つである「プレゼンテーション技術」を習得する
2.教科の到達目標	・文書作成ソフト，表計算ソフトを用いてプレゼンテーションを行うことができる ・プレゼンテーションを実施し，まとめる力を養い発表することができる
3.使用教科書、準備品	・パソコン
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：50点 プレゼンテーション：50点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	概要	プレゼンテーションとは何か説明できる	52F	1
学科	概要	上手なプレゼンを見てみる	52F	1
学科	聴き手の心理	聴き手の心理、気持ちの変化を体験する	52F	1
学科	ﾃﾞｰﾀの活用法	ﾃﾞｰﾀを活用できる	52F	1
学科	感情の込め方	ｱｲｺﾝﾀｸﾄ/ｼﾞｪｽﾁｬｰができる	52F	1
学科	感情の込め方	感情の込め方を理解する	52F	1
学科	パワーポイント	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄの取扱いのを理解する	52F	1
学科	パワーポイント	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのﾌﾟﾚｾﾞﾝ資料作成のを理解する	52F	1
学科	ロールプレイング	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝのﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞを実施できる	52F	1
学科	ロールプレイング	ロールプレイング後に発表資料を改善できる	52F	1
学科	発表	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの発表を体験する	52F	1
学科	発表	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの発表を体験する	52F	1
学科	聴講	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表を聴講する	52F	1
学科	聴講	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表に対して意見を言うことができる	52F	1
学科	評価	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表を評価することができる	52F	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	英語

教員（実務経験）	３年担当教員（　　）	

1.授業概要と履修前提	一般教養科目の一つとして英語を様々な形で学ぶ。 講義形式，グループワーク
2.教科の到達目標	簡単な日常会話の復習を通して英語の必要性を理解する。 グループワークを通して他者の理解を深める。 カナダ留学、ヨーロッパ研修で活かす。
3.使用教科書、準備品	オリジナルテキスト(配布)、辞書
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている △　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている △　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：100点 （リスニングとリーディングで60％以上で合格）

授業時間	学科	実習	試験
16	15	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	必要性と役割	自動車業界の英語の必要性と役割が理解できる	教室	1
学科	必要性と役割	自動車業界の英語の必要性と役割が理解できる	教室	1
学科	自動車用語(英語)	欧米式の自動車用語意味と使い分けが分かる。	教室	1
学科	自動車用語(英語)	欧米式の自動車用語意味と使い分けが分かる。	教室	1
学科	英会話の基礎	挨拶ができ、目を見て話せる。	教室	1
学科	英会話の基礎	自己紹介、出身、趣味などを相手に伝えられる。	教室	1
学科	英会話の基礎	学校での勉強に関し英語で説明できる。	教室	1
学科	英会話の基礎	海外での入国審査、飛行機内での英語が理解できる。	教室	1
学科	英会話の基礎	海外での入国審査、飛行機内での英語が理解できる。	教室	1
学科	英会話の基礎	ホームステイやレストランでの会話をおおむね理解する。	教室	1
学科	英会話を利用したCS	お客様に英語対応する手法を学ぶ。	教室	1
学科	英会話を利用したCS	お客様に英語対応する手法を学ぶ。	教室	1
学科	英会話を利用したCS	お車のトラブルを英語で説明できる。	教室	1
学科	英会話を利用したCS	代金清算や請求などを伝えられるようになる。	教室	1
学科	英会話を利用したCS	簡単なトラブルや部品注文	教室	1
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	応用計測実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝやｼｬｼ系の観測や故障探求に欠かせない、各種計測器や故障診断装置に関し、取り扱いを通して学ぶ。
2.教科の到達目標	各機器の基本的な使用方法をマスターし、1人で接続から波形観測、付属機能までを使えるようになる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス工具・計測器編、各装置説明書（紙・またはＶドライブ内ｐｄｆファイル）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	TaSCANの取り扱い	DGｺｰﾄﾞ出力及び消去ができる。		1
実習	TaSCANの取り扱い	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀ出力ができ、内容を理解できる。		1
実習	TaSCANの取り扱い	ECUﾃﾞｰﾀ出力をして、各ﾃﾞｰﾀが何を指すのかが分かる。		1
実習	TaSCANの取り扱い	ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄの実施ができる、実行できない条件も学ぶ。		1
実習	TaSCANの取り扱い	DGﾓｰﾄﾞ選択ができる。		1
実習	TaSCANの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、2現象まで測定。		1
実習	GTSの取り扱い	DGｺｰﾄﾞ出力及び消去ができる。		1
実習	GTSの取り扱い	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀ出力ができ、内容を理解できる。		1
実習	GTSの取り扱い	ECUﾃﾞｰﾀ出力をして、各ﾃﾞｰﾀが何を指すのかが分かる。		1
実習	GTSの取り扱い	ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄの実施ができる、実行できない条件も学ぶ。		1
実習	GTSの取り扱い	DGﾓｰﾄﾞ選択ができる。		1
実習	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
実習	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
実習	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	取り扱いを学ぶ		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	取り扱いを学ぶ		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	取り扱いを学ぶ		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	取り扱いを学ぶ		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	取り扱いを学ぶ		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	波形観測までできる。		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	波形観測までできる。		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	波形観測までできる。		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	波形観測までできる。		1
実習	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟ取り扱い	波形観測までできる。		1
実習	チームＧＰ	Ｇ２０００１～Ｇ２０００５		1
実習	チームＧＰ	Ｇ２０００１～Ｇ２０００５		1
実習	チームＧＰ	Ｇ２０２７０～Ｇ２０２７１		1
実習	チームＧＰ	Ｇ２０２７０～Ｇ２０２７１		1
実習	定期試験	定期試験		
実習	定期試験	定期試験		

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	診断機・測定機器

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・外部診断機（GTS、TaSCAN、メモリハイコーダ）の取扱い ・データ解析（PC２０００pro）の要領取得
2.教科の到達目標	・車載故障診断機の仕組みを理解する ・外部診断機の機能、取り扱いを習得する ・取得データを利用した故障診断ができる
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス３ＳＴＥＰ ・トヨタサービス技術テキスト工具、計測器、整備機器編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	外部診断器	車載故障診断機の概要	541	1
学科	外部診断器	ダイアグノーシス	541	1
学科	外部診断器	新ダイアグノーシス	541	1
学科	外部診断器	新ダイアグノーシス	541	1
学科	外部診断器	新ダイアグ（J-OBDⅡ）	541	1
学科	外部診断器	新ダイアグ（J-OBDⅡ）	541	1
学科	外部診断器	ＥＣＵ端子電圧	541	1
学科	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの機能	541	1
学科	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの操作	541	1
学科	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの操作	541	1
学科	外部診断器(GTS+)	TaSCANの操作	541	1
学科	外部診断器(GTS+)	GTSの概要	541	1
学科	外部診断器(GTS+)	GTSの取り扱い	541	1
学科	定期試験	特徴/取り扱い	541	
学科	定期試験	特徴/取り扱い	541	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	総合診断

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・就職活動時の基本的な社会人マナーを習得する ・電子技術マニュアル、電子カタログの検索能力を向上する ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・電子技術マニュアル（新型解説資料・修理書・配線図・艤装図）の取扱いができるようになる ・電子カタログ（ＵＯＥによる部品発注業務を除く）の取扱いができるようになる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　第１ステップ　　・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編 ・ＰＣ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：70点 ｅテスト：30点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	電子技術マニュアル取り扱い	電子技術マニュアルを理解する	教室	1
学科	電子技術マニュアル取り扱い	電子技術マニュアルを理解する	教室	1
学科	電子技術マニュアル取り扱い	電子技術マニュアルを理解する	教室	1
学科	電子技術マニュアル取り扱い	電子技術マニュアルを理解する	教室	1
学科	電子技術マニュアル取り扱い	電子技術マニュアルを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログを理解する	教室	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログとマニュアルを活用できる	CAI	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログとマニュアルを活用できる	CAI	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログとマニュアルを活用できる	CAI	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログとマニュアルを活用できる	CAI	1
学科	電子カタログ取り扱い	電子カタログとマニュアルを活用できる	教室	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	総合診断実習

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	各種の電子制御を理解するために、マイコン、プログラミング、電子工学の基礎的な知識を履修する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	マイコンを使用した入出力回路が理解できる プログラミングの基礎が理解できる ブレッドボードを使用した電子工作ができる。
3.使用教科書、準備品	振興会一級テキスト　エンジン電子制御＆シャシ電子制御
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	ＦＥＴを使用した出力回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	ＦＥＴを使用した出力回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	ＦＥＴを使用した出力回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	ＦＥＴを使用した出力回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	ＦＥＴを使用した出力回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	モータドライバＩＣを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	モータドライバＩＣを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	モータドライバＩＣを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	モータドライバＩＣを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	モータドライバＩＣを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
実習	ＩＣ回路	ブラシモータをＰＷＭ駆動できる	教室	1
実習	ﾏｲｺﾝまとめ	ブラシモータをＰＷＭ駆動できる	教室	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	電気電子工学

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	各種の電子制御を理解するために、マイコン、プログラミング、電子工学の基礎的な知識を履修する。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	マイコンを使用した入出力回路が理解できる プログラミングの基礎が理解できる ブレッドボードを使用した電子工作ができる。
3.使用教科書、準備品	振興会一級テキスト　エンジン電子制御＆シャシ電子制御
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎	Ｓｃｒａｔｃｈ言語を理解する	教室	1
学科	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎	Ｓｃｒａｔｃｈ言語を理解する	教室	1
学科	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎	マイコンボード（Ａｒｄｕｉｎｏ）を理解する	教室	1
学科	ﾏｲｺﾝ基礎	アクチュエータ（プラス駆動、マイナス駆動、スイッチング、PWM）	教室	1
学科	ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（プラス駆動、マイナス駆動、スイッチング、PWM）	教室	1
学科	ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（プラス駆動、マイナス駆動、スイッチング、PWM）	教室	1
学科	ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（応用回路）	教室	1
学科	ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（応用回路）	教室	1
学科	論理信号ｾﾝｻ	オルタネイトスイッチを理解する	教室	1
学科	論理信号ｾﾝｻ	モーメンタリスイッチを理解する	教室	1
学科	論理信号ｾﾝｻ	プルダウン抵抗を理解する	教室	1
学科	論理信号ｾﾝｻ	プルアップ抵抗を理解する	教室	1
学科	論理信号ｾﾝｻ	信号ノイズを理解する	教室	1
学科	定期試験			
学科	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	品質管理・数学

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	品質管理の考え方や取り組み方を学ぶことで、問題意識をもって行動し解決できる人材の育成 課題設定能力や問題解決能力の養成
2.教科の到達目標	自ら課題設定や解決ができ卒業研究や、普段の授業管理などで活用できる 就職後、職場でのサービス品質の向上、業務改善などで活用できる
3.使用教科書、準備品	配布プリント 関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	三角関数	正弦、余弦、正接、度数法、弧度法が理解できる	542	1
学科	指数関数	指数の定義、累乗根、有理数が理解できる	542	1
学科	対数関数	対数の必要性、性質が理解できる	542	1
学科	微分積分	平均変化率、極限、不定積分、定積分が理解できる	542	1
学科	点の運動	位置、速度、加速度、円運動、角速度、角加速度が理解できる	542	1
学科	品質管理の概要	企業の役割が理解できる,品質管理の定義が理解できる,	542	1
学科	品質の考え方	目標・企画・製造・使用品質が理解できる,生産の4要素を理解できる	542	1
学科	管理	QC的な考え方を理解できる,改善活動(QCｻｰｸﾙ)を理解できる	542	1
学科	改善	データ処理の目的を理解できる,管理ｻｲｸﾙを理解できる	542	1
学科	改善	ﾁｪｯｸｼｰﾄ/ﾊﾟﾚｰﾄ図を作成できる,標準化を理解できる	542	1
学科	ﾃﾞｰﾀ処理	特性要因図/散布図を作成できる	542	1
学科	ﾃﾞｰﾀ処理	度数分布/管理図を作成できる、正規分布について理解できる	542	1
学科	平常試験		542	1
学科	定期試験		542	
学科	定期試験		542	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	エンジン故障探求実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・単体エンジンを用いてＴＣＣＳシステムエンジンにおける故障診断技術を学ぶ
2.教科の到達目標	・故障診断の基礎（基本ＤＴＣあり）を身につけ、生かせるように訓練する ・フローチャート作成を実施し故障診断のテクニックを身に着ける ・プレゼンテーションを実施し、まとめる力と発表する話術や資料整理のテクニックを学ぶ
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御、・トヨタサービス２～４ＳＴＥＰ ・テスタ（ピンリードやミノムシ必須）、工具 ・電子技術マニュアル等（ＰＣは必須）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点、プレゼン能力：10点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
35	0	33	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	1.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	4
実習	2.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	2
実習	3.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（旧１G)	実習場	1
実習	3.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（旧１G)	実習場	1
実習	4.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ラフアイドル	実習場	1
実習	4.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ラフアイドル	実習場	1
実習	5.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	5.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	6.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	6.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	7.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（ＴＤＩ）	実習場	1
実習	7.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（ＴＤＩ）	実習場	1
実習	8.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	8.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	9.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	9.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	10.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	アイドル不調	実習場	1
実習	10.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	アイドル不調	実習場	1
実習	11.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	11.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
実習	12.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動困難（すぐとまる）	実習場	1
実習	12.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動困難（すぐとまる）	実習場	1
実習	プレゼンテーション準備	発表用パワーポイントを作成する、（現象、回路図、不具合、フローチャート）	実習場	3
実習	プレゼンテーション	聴講者が理解できるプレゼンを行う、5段階評価	実習場	2
実習	Ｇ２０２８６、G20301～G20303	チームｇｐ	実習場	2
実習	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	基礎力学＿工業力学

教員（実務経験）	久保田　健一（ﾒｰｶｰ）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・力学分野の基礎としての学習 ・物の考え方や，物を証明する切り口を増やし，視野を広げる。
2.教科の到達目標	・文字列が何を表しているかを分かるようになる。 ・配布問題のレベルを習得する。 ・各内容の使い所を理解する。
3.使用教科書、準備品	・基礎数学の資料 ・関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1.力/ﾍﾞｸﾄﾙ	力/ﾍﾞｸﾄﾙを理解する	教室	1
学科	2.力の合成と分解	力の合成と分解を理解する	教室	1
学科	3.着力点の異なる合力	着力点の異なる合力を理解する	教室	1
学科	4.ﾓｰﾒﾝﾄ/偶力	ﾓｰﾒﾝﾄ/偶力を理解する	教室	1
学科	5.重心	重心を理解する	教室	1
学科	5.重心	重心の計算ができる	教室	1
学科	6.直線、円、放物運動	直線、円運動を理解する	教室	1
学科	6.直線、円、放物運動	放物線運動を理解する	教室	1
学科	7.運動と力	運動と力を理解する	教室	1
学科	8.遠心力と向心力	遠心力向心力を理解する	教室	1
学科	9.運動方程式	運動方程式が計算できる	教室	1
学科	10.仕事とｴﾈﾙｷﾞｰ	仕事とｴﾈﾙｷﾞｰを理解する	教室	1
学科	11.平常試験		教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	故障診断技術

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス３・４ＳＴＥＰ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	故障診断の基本と手順	故障診断の基本と故障診断の進め方	教室	1
学科	故障診断の基本と手順	故障探求の手順、現象の確認	教室	1
学科	故障診断の基本と手順	現象の確認と再現、不具合原因の推定	教室	1
学科	故障診断の基本と手順	推定個所の点検と原因の発見、再発防止	教室	1
学科	故障診断の基本と手順	ｴﾝｼﾞﾝでの故障診断とﾀﾞｲｱｸﾞﾉｰｼｽ	教室	1
学科	故障探求事例	始動困難での作業の流れ	教室	2
学科	故障探求事例	ｸﾗﾝｷﾝｸﾞ点検からの作業	教室	2
学科	故障探求事例	ﾀﾞｲｱｸﾞﾉｰｼｽ有りからの作業の流れ	教室	2
学科	故障探求事例	ｸﾗﾝｷﾝｸﾞ有りからの作業の流れ	教室	1
学科	故障探求事例	ｱｲﾄﾞﾙ不調の状況確認	教室	1
学科	故障探求事例	ﾗﾌｱｲﾄﾞﾙでの作業の流れ	教室	1
学科	故障探求事例	ｱｲﾄﾞﾙ回転数不良での作業の流れ	教室	1
学科	故障探求事例	エンストでの作業の流れ	教室	1
学科	故障探求事例	FFDの活用とECUﾃﾞｰﾀの活用	教室	1
学科	故障探求事例	各項目に関し、理解ができるようになる。	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	自動車検査・検査機器

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・点検に当たっての正しい知識を得る，トヨタサービス技術２級レベルのホイールアライメント知識の復習 ・説明資料をまとめ、その内容を相手に理解しやすいよう教えるスキルを身に付ける ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・自動車の点検整備の目的などの理解を深め、指定整備記録簿の記入方法を理解する ・自家用乗用車の各装置の点検のポイント，劣化のメカニズム，メンテナンスの必要性を理解する ・ホイールアライメントの各要素とそれぞれの役割，異常発生時の現象を予測できる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト導入教育編 ・トヨタ営業サービステキスト新ここが知りたい ・自動車整備士法令教本　，　教育用メンテナンスノート
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：40点 定期試験（発表）：60点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	点検要領	点検・検査の概要	教室	1
学科	点検要領	点検・検査の概要	教室	1
学科	点検要領	原動機	教室	1
学科	点検要領	原動機	教室	1
学科	点検要領	制動装置	教室	1
学科	点検要領	制動装置	教室	1
学科	点検要領	走行装置	教室	1
学科	点検要領	走行装置	教室	1
学科	点検要領	緩衝装置	教室	1
学科	点検要領	舵取り装置	教室	1
学科	点検要領	電気装置	教室	1
学科	点検要領	灯火装置	教室	1
学科	点検要領	その他の装置	教室	1
学科	点検要領	定期点検記録簿	教室	1
学科	点検要領	指定整備記録簿	教室	1
学科	点検要領	指定整備記録簿	教室	1
学科	点検要領	点検要領	教室	1
学科	点検要領	点検要領	教室	1
学科	定期試験			
学科	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	心理学概論

教員（実務経験）	波多野　佑樹（専門家）	

1.授業概要と履修前提	心理学を通じ、お客様や職場での人間関係を円滑にすることを学ぶ。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	心理学の基本と種類を理解し、自身の心理と相手の心理を理解できるようになる。
3.使用教科書、準備品	配布テキスト
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている △　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている △　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
16	15	0	1

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	心理学概論	心理学の基礎が理解できる。		1
学科	心理学概論	心理学とは？が説明できる。		1
学科	心理学概論	心理学がどのようなところで使われるのか。		1
学科	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する１		1
学科	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する２		1
学科	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する３		1
学科	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学とは		1
学科	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学・健康心理学の違い。		1
学科	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学・健康心理学を理解する。		1
学科	人格心理学	人格心理学とは１		1
学科	人格心理学	人格心理学とは２		1
学科	人格心理学	人格心理学とは３		1
学科	社会心理学・教育心理学	社会心理学と教育心理学		1
学科	社会心理学・教育心理学	社会心理学と教育心理学の違いを理解する。		1
学科	まとめ			1
学科	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	整備機器・検査実習

教員（実務経験）	久保田　健一（ﾒｰｶｰ）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・整備機器の取り扱いを取扱説明書及び現物で理解できる能力の育成,パソコンにて資料の作成方法の修得 ・就職後，後輩や新人に教えることを想定した説明能力の育成 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・後輩や新人に対して，適切に指導及び教育ができる ・授業で使用する機器の取り扱いができ，各自が必要に応じて適時使用できる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト工具計測機器，整備機器編 ・手持ち工具
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：40点 定期試験（プレゼン）：60点

授業時間	学科	実習	試験
35	0	35	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	整備機器取り扱い	説明担当の内容習熟	51	6
実習	整備機器	①ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｻ(ONｻﾞｶｰ)	51	1
実習	整備機器	②ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｻ(OFFｻﾞｶｰ)	51	1
実習	整備機器	③ﾗｼﾞｴｰﾀﾃｽﾀ、LLCﾃｽﾀ	51	1
実習	整備機器	④ｵﾊﾟｼﾒｰﾀｰ、ﾌｧｲﾊﾞｽｺｰﾌﾟ	51	1
実習	整備機器	⑤ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄﾃｽﾀｰ	51	1
実習	整備機器	⑥ﾌﾞﾚｰｷﾌﾙｰﾄﾞﾃｽﾀｰ	51	1
実習	整備機器	⑦LLCﾁｪﾝｼﾞｬ、ｵｲﾙﾁｪﾝｼﾞｬ	51	1
実習	整備機器	⑧ｱｰﾑﾘﾌﾄ、ﾌﾞﾚｰｷﾌﾙｰﾄﾞﾁｪﾝｼﾞｬ	51	1
実習	整備機器	⑨検査ﾗｲﾝ	51	1
実習	整備機器	⑩ﾊﾞｯﾃﾘﾁｪｯｶ/充電器各種	51	1
実習	整備機器	⑪加振機	51	1
実習	整備機器	⑫冷媒回収機	51	1
実習	整備機器	⑬CO・HCﾒｰﾀｰ,5ｶﾞｽﾃｽﾀ	51	1
実習	整備機器	⑭ﾀｲﾔﾁｪﾝｼﾞｬ	51	1
実習	整備機器	⑮ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨｰﾏｼﾝ	51	1
実習	整備機器	⑯4輪ｱﾗｲﾒﾝﾄﾃｽﾀ	51	1
実習	整備機器	⑰THSﾁｬｰｼﾞｬｰ	51	1
実習	整備機器	⑱振動分析計	51	1
実習	整備機器	説明、確認	51	6
実習	整備機器	取扱いマニュアル作成	51	5

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	電装品電子制御

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・エアコンとオルタネータ（ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ技術ﾃｷｽﾄ3STEP）,テスタの知識（国家一級） ・国家2級及び2stepまでのオルタネータ及びマニュアルエアコンの構造作動を理解していること ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・トヨタ検定問題（オルタネータ、エアコン）を解くことができる。 ・SCオルタネータ、充電制御システム、スマートストップを説明できる。 ・エジェクタサイクル、ガスインジェクションヒートポンプについて説明できる。 ・デジタルサーキットテスタの性能、理論値と計測値（表示値）の違いを理解でき、それに伴う諸計算ができる。
3.使用教科書、準備品	・ＰＣ　　・技術テキスト3STEP ・国家一級エンジン電子制御　　・関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
25	23	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	オートエアコン	ｵｰﾄｴｱｺﾝの概要を理解する	523	1
学科	オートエアコン	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御のTAOについて理解する	523	1
学科	オートエアコン	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の吹き出し口温度制御を理解する	523	1
学科	オートエアコン	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の風量制御のを理解する	523	1
学科	オートエアコン	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の吹き出し口切り替え制御のを理解する	523	1
学科	オートエアコン	ﾆｭｰﾗﾙﾈｯﾄﾜｰｸ制御を理解する	523	1
学科	オートエアコン	国家1級のエアコンに関わる問題が解けるようになる	523	1
学科	オートエアコン	eTest(オートエアコン部門)で80点以上得点する	523	1
学科	オルタネータ	オルタネータの基本作動を想起する1	523	1
学科	オルタネータ	オルタネータの基本作動を想起する2	523	1
学科	オルタネータ	オルタネータの基本作動を想起する3	523	1
学科	オルタネータ	充電制御の概要を理解し、お客様に説明ができる	523	1
学科	オルタネータ	充電制御の構成部品を理解し制御を説明できる1	523	1
学科	オルタネータ	充電制御の構成部品を理解し制御を説明できる2	523	1
学科	オルタネータ	eTest(充電制御部門)で80点以上得点する	523	1
学科	エアバック	エアバッグに関わる国家1級試験問題が解ける	523	1
学科	エアバック	エアバッグ以外の安全装置に関わる国家1級試験問題が解ける	523	1
学科	サーキットテスタ	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の概要（性能）を理解する	523	1
学科	サーキットテスタ	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の交流の平均値、実行値を理解する	523	1
学科	サーキットテスタ	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の交流の波形率、波高率を理解する	523	1
学科	サーキットテスタ	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の分解能と内部抵抗・確度を理解する	523	1
学科	サーキットテスタ	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の基本測定技術を理解する	523	1
学科	サーキットテスタ	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
学科	定期試験		523	
学科	定期試験		523	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	前期	電装品電子制御実習

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・オートエアコン、エアバッグ、オルタネータの整備方法修得及び、電装品新機構の構造作動を理解する ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・冷媒充填作業を安全確実に実施できる。エアコンパネルダイアグ作業を行うことができる。 ・トヨタ検定３級オルタネータ脱着を２０分以内に実施できる。 ・ＳＣオルタネータとⅢ型の違いを説明できる。 ・エアバッグ脱着を安全確実に実施できる。
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　工具・計測機器・整備機器編、2ステップ、3ステップ　・国家1級テキスト　新技術 ・自動車整備技術電気装置(エアコン)　・工具　・デジタルテスタ
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	実習説明	準備、レポート説明		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	1.エアコン各アクチュエータ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	1.エアコン各アクチュエータ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	1.エアコン各アクチュエータ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	1.エアコン各アクチュエータ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	2.オートエアコンセンサ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	2.オートエアコンセンサ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	2.オートエアコンセンサ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	2.オートエアコンセンサ		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	3.エアコン性能点検、新技術		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	3.エアコン性能点検、新技術		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	3.エアコン性能点検、新技術		1
実習	ｴｱｺﾝ部品脱着	3.エアコン性能点検、新技術		1
実習	電装部品脱着	4.テスタの基礎構造		1
実習	電装部品脱着	4.テスタの基礎構造		1
実習	電装部品脱着	4.テスタの基礎構造		1
実習	電装部品脱着	4.テスタの基礎構造		1
実習	電装部品脱着	5.SCオルタ、充電制御、オシロ		1
実習	電装部品脱着	5.SCオルタ、充電制御、オシロ		1
実習	電装部品脱着	5.SCオルタ、充電制御、オシロ		1
実習	電装部品脱着	5.SCオルタ、充電制御、オシロ		1
実習	電装部品脱着	6.エアバッグ、シートベルト		1
実習	電装部品脱着	6.エアバッグ、シートベルト		1
実習	電装部品脱着	6.エアバッグ、シートベルト		1
実習	電装部品脱着	6.エアバッグ、シートベルト		1
実習	TEAM-GP	G20168～G20170		1
実習	TEAM-GP	G20168～G20170		1
実習	TEAM-GP	G20137　G20137		1
実習	定期試験			
実習	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	エンジン故障探求実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・単体エンジンを用いてＴＣＣＳシステムエンジンにおける故障診断技術を学ぶ
2.教科の到達目標	・故障診断の基礎（基本ＤＴＣあり）を身につけ、生かせるように訓練する ・フローチャート作成を実施し故障診断のテクニックを身に着ける ・プレゼンテーションを実施し、まとめる力と発表する話術や資料整理のテクニックを学ぶ
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御、・トヨタサービス２～４ＳＴＥＰ ・テスタ（ピンリードやミノムシ必須）、工具 ・電子技術マニュアル等（ＰＣは必須）
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点、プレゼン能力：10点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費不良	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費不良	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ不良	実習場	1
実習	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾋﾞﾘﾃｨ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾋﾞﾘﾃｨ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費,ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費,ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	冷間時不良	実習場	1
実習	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	冷間時不良	実習場	1
実習	プレゼン準備		実習場	1
実習	プレゼン準備		実習場	1
実習	プレゼン発表		実習場	1
実習	定期試験		実習場	
実習	定期試験		実習場	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	シャシ電子制御

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・ＡＢＳ，ＴＲＣ，ＶＳＣ，ＣＶＴ，ＶＧＲＳの構造，作動，制御内容の習得 ・CVTの構造、制御、整備内容の習得 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・国家一級自動車整備士試験が合格できる水準の内容理解できている ・車両安定制御装置の構造，作動，制御内容を説明できる ・CVTの構造，作動，制御内容を説明できる
3.使用教科書、準備品	・1級自動車整備士　自動車新技術 ・トヨタサービス３ステップ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：40点 定期試験：60点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ABS	構造と役目	教室	1
学科	ABS	基本作動	教室	1
学科	EBD付きABS	構造と役目	教室	1
学科	EBD付きABS	基本作動	教室	1
学科	BA	構造と役目	教室	1
学科	BA	基本作動	教室	1
学科	TRC	構造と役目	教室	1
学科	TRC	基本作動	教室	1
学科	VSC	構造と役目	教室	1
学科	VSC	基本作動	教室	1
学科	VSC	OS・VSの判定・構成部品	教室	1
学科	VSC	OS・VSの判定・構成部品	教室	1
学科	VDIM	概要、作動	教室	1
学科	VGRS	概要、構造、作動	教室	1
学科	CVT	特徴及び構造	教室	1
学科	CVT	特徴及び構造	教室	1
学科	CVT	CVTﾌﾙｰﾄﾞ	教室	1
学科	CVT	電子制御機構	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	シャシ電子制御実習

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・ABS，TRC，VSC，CVTのｼｬｼ電子制御系の各構造，作動を習得 ・ABS，TRC，VSC，CVTのｼｬｼ電子制御系の制御，点検方法及び初期設定を習得 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・シャシ電子制御の故障診断を行うための基礎知識や正常作動を理解できる ・各機構を理解することで，お客様に対して商品説明できる知識を身につける ・各機構の波形観測ができ、フェイルセーフやトラブルシュートが理解できる
3.使用教科書、準備品	・手持ち工具　※データ移動用として、USBメモリがあるといいかも ・ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ3・4STEP ・国家一級シャシ電子制御及び新技術
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：40点 定期試験：60点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	車両安定制御装置	実習説明	51	1
実習	車両安定制御装置	実習説明	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション1	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション1	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション1	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション1	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション2	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション2	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション2	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション2	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション3	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション3	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション3	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション3	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション4	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション4	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション4	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション4	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション5	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション5	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション5	51	1
実習	車両安定制御装置	セクション5	51	1
実習	EHPS	セクション6	51	1
実習	EHPS	セクション6	51	1
実習	AVS	セクション6	51	1
実習	AVS	セクション6	51	1
実習	ﾁｰﾑGP	G20104	51	1
実習	ﾁｰﾑGP	G20106	51	1
実習	定期試験			
実習	定期試験			

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	環境保全・安全管理

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	自動車に関する環境保全の知識を身に付ける。 自動車整備における安全管理の知識を身につける。
2.教科の到達目標	・自動車に関する環境保全の対応の理解を深める。 ・自動車整備における安全管理の知識を深める。
3.使用教科書、準備品	一級自動車整備士　総合診断・環境保全・安全管理
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
23	21	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	安全管理の意義と重要性	意義と重要性・安全管理と作業能率	教室	1
学科	災害のあらまし	災害発生のしくみ・不安全行動と不安全状態	教室	1
学科	災害のあらまし	災害の起こる要件・災害防止の急所/災害調査法	教室	1
学科	災害防止	安全のルール・整理整頓の要点・作業上の注意事項	教室	1
学科	電気災害	電気災害の特徴	教室	1
学科	電気災害	災害とその防止策	教室	1
学科	職場における防火・防災	防火・防災の知識	教室	1
学科	職場における防火・防災	危険物の貯蔵と取り扱い	教室	1
学科	救急処置についての心得	救急処置の意義	教室	1
学科	救急処置についての心得	一般的な注意事項/応急処置	教室	1
学科	地球環境	環境保全の現況、必要性	教室	1
学科	自動車にかかわる問題	地球規模、広域的、局地的な環境問題	教室	1
学科	3R・リサイクル実例	３Ｒのための手法	教室	1
学科	ﾄﾖﾀの5R活動	５Ｒ活動	教室	1
学科	関連法規,種類・マニフェスト	産業廃棄物の処理	教室	1
学科	自動車リサイクル法	概要	教室	1
学科	適正処理方法	ｴｱﾊﾞｯｸﾞ,ﾌﾛﾝ・ｼｭﾚｯﾀﾞｰﾀﾞｽﾄ	教室	1
学科	適正処理方法	油脂類・ﾀｲﾔ,ﾊﾞｯﾃﾘ・ﾀｲﾔ,ﾊﾞｯﾃﾘ	教室	1
学科	整備工場の環境問題	対応および処理	教室	1
学科	ＰＲＴＲ法	概要	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	解答公開		教室	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	基礎力学＿材料力学Ⅰ

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	力（荷重）が材料に及ぼす影響を考え、強度や設計の基礎を学ぶ。
2.教科の到達目標	材料・部品にかかる力から破壊されやすい部分を予測できる。 教科書の例題を解くことができる。
3.使用教科書、準備品	「三訂材料力学」 関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1.材料力学の基礎	荷重	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	応力	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	ひずみ	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	応力とひずみの関係	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	材料の機械的性質	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	材料の強さ	教室	1
学科	1.材料力学の基礎	許容応力	教室	1
学科	2.単純応力	力の合成	教室	1
学科	2.単純応力	引っ張り・圧縮応力/ひずみ、ポアソン比	教室	1
学科	2.単純応力	弾性係数	教室	1
学科	2.単純応力	垂直応力と剪断応力の関係	教室	1
学科	2.単純応力	熱応力	教室	1
学科	2.単純応力	動荷重/応力集中、ﾘﾍﾞｯﾄ継ぎ手/溶接継ぎ手	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	自動車材料

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	自動車に使われている、金属、樹脂、燃料、油脂等の知識を身に付ける。
2.教科の到達目標	・自動車に使用されている材料の種類や性質を理解を深める。（ﾒﾝﾃ、リペア、レストア等で知識が役立ちます。） ・燃料・油脂の知識を深め、お客様対応力を向上させる。（実際の仕事でアドバイスｅｔｃで活用必須です）
3.使用教科書、準備品	・全国自動車整備専門学校協会　自動車材料　と　内燃機関、燃料・油脂
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	自動車に使用される鋼板材料	熱冷間圧延鋼板の特徴を理解する。	教室	1
学科	自動車に使用される鋼板材料	高張力鋼板・防錆鋼板の車両への使用場所が分かる。	教室	1
学科	自動車に使用される鋼板材料	特殊鋼板とは何か説明できる。	教室	1
学科	自動車に使用される非金属材料	樹脂の使用場所を理解できる。	教室	1
学科	自動車に使用される非金属材料	ｺﾞﾑの種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
学科	自動車に使用される非金属材料	接着剤、ｼｰﾘﾝｸﾞ剤使用箇所を理解できる。	教室	1
学科	自動車に使用される非金属材料	ｶﾞﾗｽの種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
学科	自動車補修用材料	塗料の種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
学科	自動車補修用材料	ﾊﾟﾃ・ﾌﾟﾗｲﾏｻｰﾌｪｰｻの種類が理解できる。	教室	1
学科	油脂類	ｵｲﾙの種類と特徴を理解できる。	教室	1
学科	油脂類	ﾌﾙｰﾄﾞの種類と特徴を理解できる。	教室	1
学科	油脂類・燃料	ｸﾞﾘｰｽの種類と特徴を理解できる。	教室	1
学科	油脂類・燃料	ﾊﾞｯﾃﾘ液・ｳｫｯｼｬ液,LLC・燃料・代替燃料・CNGの理解ができる。	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	自動車性能

教員（実務経験）	久保田　健一（ﾒｰｶｰ）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・自動車の各種性能，特性を学ぶ，工学的にその現象を学び，また，工学と具体的な現象のつながりを学ぶ ・自動車に要求される動力性能，走行性能，タイヤ性能などの特性を工学的に捉え，
2.教科の到達目標	・力学で学んだ各種理論を自動車を通して具体的に活用できる ・自動車の性能，特性を理論的に説明できる ・上記に伴う諸計算ができる
3.使用教科書、準備品	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ技術ﾃｷｽﾄ3STEP JAMCA ｼｬｼ構造 II 関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	駆動力と走行抵抗	走行性能曲線図の理解をする	教室	1
学科	車速と駆動力	走行性能曲線図を読み取れる	教室	1
学科	走行抵抗の種類	転がり抵抗を計算できる	教室	1
学科	走行抵抗の種類	空気抵抗、登坂抵抗を計算できる	教室	1
学科	走行抵抗の種類	加速抵抗及び加速力を計算できる	教室	1
学科	燃費	10・15ﾓｰﾄﾞ及び燃費率を理解できる	教室	1
学科	タイヤの転動	ころがり抵抗を理解できる	教室	1
学科	タイヤの転動	旋回時にﾀｲﾔに働く力を理解できる	教室	1
学科	旋回性能	遠心力を計算できる	教室	1
学科	旋回性能	c.f.について理解できる	教室	1
学科	ブレーキ性能	減速状態の荷重輪の変化を計算できる	教室	1
学科	ブレーキ性能	運動ｴﾈﾙｷﾞｰを計算できる	教室	1
学科	ブレーキ性能	前後輪の制動力分配を計算できる	教室	1
学科	平常試験,定期試験		教室	1
学科	平常試験,定期試験		教室	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	総合診断

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・サービス活動や接客応対について理解し、フロント業務全般の知識を習得 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・トヨタサービスの基本理念・３Ｓ精神・基本７項目を覚え、それぞれの意味を言う事ができる ・サービスの分類、マナー、ＣＳ、ホスピタリティについて意味・必要性を言う事ができる ・自分のタイプを理解し、それに合ったお客様対応ができる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　１ＳＴＥＰ　及び　２ＳＴＥＰ ・一級自動車整備士テキスト　総合診断・環境保全・安全管理
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	1.ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの役割	お客さま窓口係	教室	1
学科	2.ｴﾝｼﾞﾆｱﾘｰﾀﾞの役割		教室	1
学科	3.技術情報	ｻ技報,市技報	教室	1
学科	4.業務の流れ(各行程)	業務内容/CSとは	教室	1
学科	5.各行程の詳細	受付/問診/診断/見積もり/作業管理/作業進行/	教室	1
学科	6.苦情の初期応対	苦情とは	教室	1
学科	診断ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ	ｱﾄﾞﾊﾞｲｽとｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ	教室	1
学科	診断ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ	商品知識・提案・FSV話法・苦情対応	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	口述試験対策	教室	1
学科	国家試験対策	装置別問題	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	総合診断実習

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・コンサルティング技術の習得。アドバイザ業務の実践。国家１級口述試験対策の基礎。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ＦＳＶ話法を用いたコンサルティングがどのようなものか説明できる ・アドバイザ業務の受付、引渡しの内容をチェック項目に対し９割以上できる ・１級口述試験の過去問題を全て８割以上できる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　１ＳＴＥＰ　及び　２ＳＴＥＰ ・診断・アドバイスマニュアル　及び　技術テキスト導入教育編 ・新ここが知りたい　～クルマのプロをめざして～ ・振興会一級テキスト　総合診断
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている △　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	ロールプレ：30点、レポート：30点 平常試験：40点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	準備	準備	54	1
実習	準備	準備	54	1
実習	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽの理念	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽの理念が説明できる	54	1
実習	ｻｰﾋﾞｽ業務の流れ	ｻｰﾋﾞｽｽﾀｯﾌの心得が説明できる	54	1
実習	受付	ｻｰﾋﾞｽ業務の流れ、要点説明ができる	54	1
実習	受付	受付の要点説明ができるようになる	54	1
実習	受付(ご用命応対)	受付(ご用命応対)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	受付(ご用命応対)	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	受付(ご用命応対)	受付(問診,診断)の要点説明ができるようになる	54	1
実習	受付(問診,診断)	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	受付(問診,診断)	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	受付(問診,診断)	引き渡しの要点説明ができるようになる	54	1
実習	受付(問診,診断)	引き渡しの要点説明ができるようになる	54	1
実習	受付(問診,診断)	引き渡し(整備内容説明)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	引き渡し	引き渡し(整備内容説明)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	引き渡し	引き渡し(精算,お見送り)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	引き渡し	引き渡し(精算,お見送り)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	引き渡し(整備内容説明)	1ﾌｫﾛｰの要点説明ができるようになる	54	1
実習	引き渡し(整備内容説明)	1ﾌｫﾛｰの要点説明ができるようになる	54	1
実習	引き渡し(整備内容説明)	1ﾌｫﾛｰの電話対応の基本ができるようになる	54	1
実習	引き渡し(精算,お見送り)	1ﾌｫﾛｰの電話対応の基本ができるようになる	54	1
実習	引き渡し(精算,お見送り)	1ﾌｫﾛｰのお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	引き渡し(精算,お見送り)	苦情対応の心得ができるようになる	54	1
実習	1ﾌｫﾛｰ	苦情対応の心得ができるようになる	54	1
実習	1ﾌｫﾛｰ	苦情対応のﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	1ﾌｫﾛｰ	苦情対応のﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
実習	苦情対応	口述試験の内容を３０％言うことができる	54	1
実習	苦情対応	口述試験の内容を４０％言うことができる	54	1
実習	口頭試験レポート作成	口述試験の内容を５０％言うことができる	54	1
実習	片付け	口述試験の内容を６０％言うことができる	54	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	点検整備実習

教員（実務経験）	３年担当（　　）	

1.授業概要と履修前提	定期点検整備の技術を、上級生からのOJTにより学び、知識・技術の向上を図る。
2.教科の到達目標	12ヶ月点検が一人で作業ができるようになる。 トヨタ検定３級の実技試験が合格できる。
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス導入編、ＳＴＥＰ１、２
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	トヨタ技術力検定の評価基準に準ずる

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	準備		51	1
実習	12ヶ月点検作業	①ＦＦ車両点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	①ＦＦ車両点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	①ＦＦ車両点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	①ＦＦ車両点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	②ＦＲ点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	②ＦＲ点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	③4ＷＤ点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	③4ＷＤ点検の基本技能修得	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
実習	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
実習	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
実習	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
実習	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
実習	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
実習	ﾌｫﾛｰ		51	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	EV・HV技術

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	ハイブリッド、ＥＣＢ、ＦＣＶ ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ハイブリッドの基本を説明できる ・ハイブリッドの専門知識を深化し、技術力を高める ・商品知識をつける ・国家試験1級筆記試験に必要な知識を身につける
3.使用教科書、準備品	・1級自動車整備士　新技術　　・PC
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	THSの基礎	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	THSの基礎	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	THSの基礎	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	THSの基礎	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	THSの基礎	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	構成部品の特徴	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	安全機構	教室	1
学科	低圧電気取扱者特別講習	整備科内容の確認	教室	1
学科	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両	ｼｽﾃﾑの特徴	教室	1
学科	車両制御装置	ECB	教室	1
学科	車両制御装置	EPS	教室	1
学科	FCV	概要	教室	1
学科	FCV	概要	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	EV・HV実習

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	・HV理解 ・FCV基本理解 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・２０、３０プリウスの共線図をデータから書け、トルクと充放電について説明できる ・ＨＶバッテリの脱着作業が安全に行うことができる ・ＥＣＢのエア抜き作業ができる。データから協調制御について説明できる ・ＨＶ特有の異常について体感し、それぞれについて概要を説明できる。・ＦＣＶの各部品の位置、作動、特徴を説明できる。
3.使用教科書、準備品	・国家一級新技術
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	HVシステム	実習説明	51実	1
実習	HVシステム	実習説明	51実	1
実習	HVシステム	HVの作動の基礎	51実	1
実習	HVシステム	HVの作動の基礎	51実	1
実習	HVシステム	HVの作動中の共線図の作図	51実	1
実習	HVシステム	HVの作動中の共線図の作図	51実	1
実習	HVシステム	HVの作動中の共線図の作図	51実	1
実習	HVシステム	ＥＣＢ、制動データ解析	51実	1
実習	HVシステム	ＥＣＢ、制動データ解析	51実	1
実習	HVシステム	ＥＣＢ、制動データ解析	51実	1
実習	HVシステム	ＥＣＢ、制動データ解析	51実	1
実習	HVシステム	ＥＣＢ、制動データ解析	51実	1
実習	HVシステム	漏電実験、ＨＶバッテリ出力制限、レゾルバ作動	51実	1
実習	HVシステム	漏電実験、ＨＶバッテリ出力制限、レゾルバ作動	51実	1
実習	HVシステム	漏電実験、ＨＶバッテリ出力制限、レゾルバ作動	51実	1
実習	HVシステム	漏電実験、ＨＶバッテリ出力制限、レゾルバ作動	51実	1
実習	HVシステム	漏電実験、ＨＶバッテリ出力制限、レゾルバ作動	51実	1
実習	HVシステム	HVバッテリ脱着	51実	1
実習	HVシステム	HVバッテリ脱着	51実	1
実習	HVシステム	HVバッテリ脱着	51実	1
実習	HVシステム	HVバッテリ脱着	51実	1
実習	HVシステム	HVバッテリ脱着	51実	1
実習	FCVシステム概要	構造研究	51実	1
実習	FCVシステム概要	構造研究	51実	1
実習	FCVシステム概要	構造研究	51実	1
実習	FCVシステム概要	部品の交換時期確認	51実	1
実習	FCVシステム概要	部品の交換時期確認	51実	1
実習	G20038～G20041、G20104～G20104	G20051-T01、G20051-T02、G20116-T00	51実	1
実習	定期試験		51実	
実習	定期試験		51実	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	エンジン電子制御

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝ新技術（筒内噴射、ｺﾓﾝﾚｰﾙ等）に関する知識を身に付ける。 国家一級試験に必要な知識を身につける。
2.教科の到達目標	・ｴﾝｼﾞﾝ新技術に関する理解を深める。 ・国家一級国家試験に必要な知識を深める。
3.使用教科書、準備品	一級自動車整備士　新技術
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	筒内噴射式ｴﾝｼﾞﾝ概要	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	燃料の燃焼	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	燃料装置、高圧ｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	ﾄﾖﾀのｼｽﾃﾑ、吸気装置	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	燃料噴射制御、EGR制御	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	排ガス浄化対策（NOx触媒）	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	ﾄﾖﾀの筒内噴射式ｴﾝｼﾞﾝ	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	D-4ST	教室	1
学科	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	バルブマチック	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	概要	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	構造、機能	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料装置	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	インジェクタ	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射制御	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	排出ガス規制	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	排出ガス対策（ﾀｰﾎﾞ、DPR）	教室	1
学科	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	排ガス対策（SCR触媒）	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	エンジン電子制御実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・ｶﾞｿﾘﾝ直噴（D-4）ｴﾝｼﾞﾝ、ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ、EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ、ﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞﾀｰﾎﾞなど新機構
2.教科の到達目標	・エンジン電子制御の学科で学んだことを、今回の実習を通して確認し理解度を増す。 ・波形観測やデータモニターから何が解るのか、また正常か異常の判断ができるようにする。 波形観測は**細かい時間の変化に気をつけながら観測**する。（制御が短時間のため変化が小さい）
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　３・４ＳＴＥＰ ・パソコン（技術マニュアル）　　ＧＴＳ（ＴａＳＣＡＮ）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	高圧ﾌｭｰｴﾙﾎﾟﾝﾌﾟ制御のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	高圧ﾌｭｰｴﾙﾎﾟﾝﾌﾟ制御を理解し、まとめられる	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	燃料噴射形態の検証、ﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	燃料噴射形態をまとめることができる。	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	ｲﾝｼﾞｪｸﾀの駆動波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	点火波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	点火波形の検証	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	回転負荷と燃焼状態のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	EGRﾊﾞﾙﾌﾞ作動,制御のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	次世代D-4との比較	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	直噴のみと、筒内噴射との使い分けを学ぶ	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	D-4Sとの比較、ＯＢＤの違いを理解	実習場	1
実習	D-4ｴﾝｼﾞﾝ構造	D-4Sとの比較、ペンディングコード、ﾀﾞｲｱｸﾞ消去、復帰	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射量制御、ＥＤＵの場所、役割が分かる。	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射量制御＃１０、ＩＮＪＦ	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射量制御、パイロット・メイン噴射	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射量制御ＰＭ強制再生中の波形の理解	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	排気絞り弁の働きが分かる。	実習場	1
実習	チームＧＰ		実習場	1
実習	チームＧＰ		実習場	1
実習	チームＧＰ		実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	ﾌｭｰｴﾙｼｽﾃﾑ、ﾀﾞｲﾅｴﾝｼﾞﾝで部品配置	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	ﾌｭｰｴﾙｼｽﾃﾑＤＰＦ装置の関係の理解	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ/ｸﾞﾛｰｼｽﾃﾑ	実習場	1
実習	ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	噴射量/噴射時期がそれぞれのｴﾝｼﾞﾝで理解できる。	実習場	1
実習	ﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞﾀｰﾎﾞ	部品配置、構造	実習場	1
実習	チームＧＰ	J-OBDⅡのﾀﾞｲｱｸﾞ判定	実習場	1
実習	定期試験		実習場	
実習	定期試験		実習場	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	振動騒音診断技術

教員（実務経験）	久保田　健一（ﾒｰｶｰ）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・官能的な表現で表す振動・騒音の基礎知識を身につける，一級自動車整備士の振動騒音知識を修得する ・お客様の官能的要素の振動・騒音についてトラブルシュートができる ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・振動・騒音の発生のメカニズムを理解できる ・振動・騒音の防止，抑制策を作ることができる ・一級自動車整備士の振動騒音問題を理解できる
3.使用教科書、準備品	・1級テキスト　シャシ電子制御　　・関数電卓 ・トヨタサービス　技術テキスト　STEP4 ・トヨタのテキスト　自動車の振動　騒音
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている △　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
20	18	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	基礎知識	概要/振動と音	教室	1
学科	振動の表し方	振動の性質	教室	1
学科	振動の表し方	自由振動、固有振動	教室	1
学科	振動の表し方	振動強制力、共振	教室	1
学科	振動の表し方	剛体振動	教室	1
学科	振動の表し方	弾性振動	教室	1
学科	音(騒音)の表し方	音の3要素	教室	1
学科	音の感じ方	可聴範囲	教室	1
学科	音の感じ方	共鳴/音圧ﾚﾍﾞﾙ	教室	1
学科	振動と騒音の防止	振動強制力	教室	1
学科	振動と騒音の防止	各ﾀﾞﾝﾊﾟ	教室	1
学科	振動と騒音の防止	対策部品	教室	1
学科	計測機器	振動,騒音計	教室	1
学科	防止実用例	ｴﾝｼﾞﾝでの対応	教室	1
学科	防止実用例	ｴﾝｼﾞﾝでの対応	教室	1
学科	防止実用例	ｼｬｼでの対応	教室	1
学科	防止実用例	車体での対応	教室	1
学科	平常試験		教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	振動騒音診断実習

教員（実務経験）	久保田　健一（メーカー）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・振動騒音発生のメカニズムから、音の発生源を考える能力 ・与えられた整備目標に対してグループ内で作業内容や手順を摺り合わせ，少人数内での調整力 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・人によって違う振動・騒音レベルを官能で感じ取れる能力を養う ・自動車の振動・騒音の現象を計測機器を用いて振動発生原因を追究するプロセスを理解する ・振動騒音を再現し，振動騒音が発生する原因を突き止め，そのレベルがどのような原因なのかを知る
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト２ステップ　オートマチックトランスミッション ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	28	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	振動騒音	故障原因探求の準備車両移動、諸注意	51	1
実習	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
実習	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
実習	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
実習	故障原因探求	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ2次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ2次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｻﾎﾞｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	1
実習	故障原因探求	ｻﾎﾞｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	1
実習	定期試験	ｻﾎﾞｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	
実習	定期試験	加振機取り扱いを理解する	51	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	選択応用力学＿材料力学Ⅱ

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	力（荷重）が材料に及ぼす影響を考え、強度や設計の基礎を学ぶ。
2.教科の到達目標	はりに加わるせん断力、モーメント、応力、たわみが計算できる。 せん断力、曲げモーメントが計算できる。せん断力図、曲げモーメント図が描ける。 教科書の例題を解くことができる。
3.使用教科書、準備品	「三訂　材料力学」 関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
13	11	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	はりとつり合い	せん断力	教室	1
学科	はりとつり合い	せん断力図	教室	1
学科	はりとつり合い	曲げモーメント	教室	1
学科	はりとつり合い	曲げモーメント図	教室	1
学科	片持ちはり		教室	1
学科	片持ちはり	練習問題	教室	1
学科	単純はり		教室	1
学科	単純はり	練習問題	教室	1
学科	曲げ応力	練習問題含む	教室	1
学科	断面2次モーメント	練習問題含む	教室	1
学科	断面係数	練習問題含む	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	選択応用力学＿熱力学

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・内燃機関に欠かせない熱力学の基礎を学び、ｴﾝｼﾞﾝの理解度をさらに向上させる。
2.教科の到達目標	・熱力学の第０から第3法則までを学び、内燃機関のサイクルと熱変化を理解できる。 ・熱エネルギーと運動・位置エネルギーの関係性を理解し、計算することができる。
3.使用教科書、準備品	・オリジナルテキスト ・関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	概要	物体または系とは何か、理解し説明できるようになる。	教室	1
学科	概要	状態量と状態式を理解し、式を立てられるようになる。	教室	1
学科	熱力学第法則	温度とは、絶対温度、摂氏・華氏の変換ができる。	教室	1
学科	熱力学第法則	熱平衡の理解、比熱へとつなげられる様に。	教室	1
学科	熱力学第1法則	熱量および比熱を理解し、練習問題が解ける。	教室	1
学科	熱力学第1法則	力学ｴﾈﾙｷﾞと熱ｴﾈﾙｷﾞが同じエネルギであることの理解を深める。	教室	1
学科	熱力学第1法則	第1永久機関が説明できる。	教室	1
学科	熱力学第2法則	熱力学第2法則が理解でき、説明できる。	教室	1
学科	熱力学第2法則	ｴﾝﾄﾛﾋﾟとは何か	教室	1
学科	熱力学第2法則	ｴﾝﾄﾛﾋﾞを求める方法を理解する。	教室	1
学科	熱力学第2法則	第2種永久機関が説明できるようになる。	教室	1
学科	熱力学第3法則	熱力学第3法則が理解でき、説明できる。	教室	1
学科	ｻｲｸﾙ(ｵｯﾄｰ、ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ、ｻﾊﾞﾃ)	サイクルのＰＶ線図が理解でき、書けるようになる	教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	選択応用力学__流体力学

教員（実務経験）	久保田　健一（ﾒｰｶｰ）	安池　孝夫（　　）

1.授業概要と履修前提	・流体の力のつりあい，運動の理論的を学ぶ ・工学の概念を卒業論文に生かす
2.教科の到達目標	・流体技術を利用した装置を流体力学の観点から学び理解を深める ・ベルヌーイの定理を理解する ・文字列が何を意味しているのかを数式で理解する
3.使用教科書、準備品	・オリジナルテキスト ・関数電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
15	13	0	2

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	流線/流管	流線と流管を理解できる	教室	1
学科	質量流量と体積流量	質量流量と体積流量を理解できる	教室	1
学科	連続の式	連続の式を理解できる	教室	1
学科	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理を理解できる	教室	1
学科	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理を理解できる	教室	1
学科	ｷｬﾋﾞﾃｰｼｮﾝ	ｷｬﾋﾞﾃｰｼｮﾝを理解できる	教室	1
学科	粘性流体	粘性流体を理解できる	教室	1
学科	粘性流体	粘性流体を理解できる	教室	1
学科	計算問題1	計算問題1を解くことができる	教室	1
学科	計算問題2	計算問題2を解くことができる	教室	1
学科	計算問題3	計算問題3を解くことができる	教室	1
学科	計算問題4	計算問題4を解くことができる	教室	1
学科	平常試験		教室	1
学科	定期試験		教室	
学科	定期試験		教室	

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	学年末	エンジン故障探求実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　３・４ＳＴＥＰ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：100点

授業時間	学科	実習	試験
20	0	20	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	新機構（LS５００）	１．新機構確認	実習場	1
実習	新機構（LS５００）	１．新機構確認	実習場	1
実習	D－4ST（ARS220、IS200ｔ）	２．ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
実習	D－4ST（ARS220、IS200ｔ）	２．ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
実習	ﾊﾞﾙﾌﾞﾏﾁｯｸ（ノア、ボクシー）	３．エンジン不調（失火）	実習場	1
実習	ﾊﾞﾙﾌﾞﾏﾁｯｸ（ノア、ボクシー）	３．エンジン不調（失火）	実習場	1
実習	D-4Sｴﾝｼﾞﾝ（IS350）	４．エンジン不調	実習場	1
実習	D-4Sｴﾝｼﾞﾝ（IS350）	４．エンジン不調	実習場	1
実習	１Ｇ－ＦＥ（単体）	５．水温センサ系異常	実習場	1
実習	１Ｇ－ＦＥ（単体）	５．水温センサ系異常	実習場	1
実習	ﾊﾞﾙﾌﾞﾏﾁｯｸ（アベンシス）	６．エンジン不調及びブレーキ弱い（エア吸い）	実習場	1
実習	ﾊﾞﾙﾌﾞﾏﾁｯｸ（アベンシス）	６．エンジン不調及びブレーキ弱い（エア吸い）	実習場	1
実習	１ＮＺ－ＦＥ（ポルテ）	７．吸気圧力大、ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
実習	１ＮＺ－ＦＥ（ｽﾍﾟｲﾄﾞ）	７．吸気圧力大、ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
実習	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	８．ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
実習	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	８．ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
実習		９．国家試験プリント新技術内容の理解	実習場	1
実習	発表・確認	パワポは作成せず、黒板で	実習場	1
実習	発表・確認		実習場	1
実習	発表・確認		実習場	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	学年末	手仕上・機械工作実習

教員（実務経験）	豆田　千尭　（　　）	飯田　貴文（　　）

1.授業概要と履修前提	機械工作の種類・特徴・作業を理解する。
2.教科の到達目標	卒業研究等で行われる工作などの予備知識を付け、安全に作業ができるようになる。
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス工具・計測器編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている △　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている △　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	学科ノート提出と、故障探求レポートとの合算：100点

授業時間	学科	実習	試験
10	0	10	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	やすり/弓鋸	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	ﾄﾞﾘﾙ/ｽｸﾘｭｰｴｷｽﾄﾗｸﾀ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	ﾀｯﾌﾟ/ﾀﾞｲｽ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	ﾎﾞｰﾙ盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	旋盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	ﾌﾗｲｽ盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	ﾊﾟｲﾌﾟﾍﾞﾝﾀﾞｰ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	溶接ＴＩＧ・ＭＡＧ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
実習	準備・片付け			2

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	学年末	電装品電子制御実習

教員（実務経験）	小林　治彦（販売会社）	加藤　洋（　　）

1.授業概要と履修前提	TSS・EPS概要の理解 シャシ・電装装置に関する総合的な故障診断や、実験実習 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	現象確認，原因の推定，点検方法の立案と実施，故障部位の発見までの流れを自分のものにする より実践的な不具合現象の把握・絞込み・原因の発見などの知識と技術習得する ＨＶの特殊な制御を実験によって習得する
3.使用教科書、準備品	１級自動車整備士　シャシ電子制御編，技術テキスト４ステップ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：50点 レポート：50点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	TSS	概要	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装実験	モータ出力制限実験フェイル走行実験	51	1
実習	電装実験	モータ出力制限実験フェイル走行実験	51	1
実習	電装実験	モータ出力制限実験フェイル走行実験	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装実験	EPS、灯火パネル	51	1
実習	電装実験	EPS、灯火パネル	51	1
実習	電装実験	EPS、灯火パネル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装実験	体感実習	51	1
実習	電装実験	体感実習	51	1
実習	電装実験	体感実習	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装トラブル	ハイブリッドトラブル	51	1
実習	電装実験	安全装置	51	1
実習	電装実験	安全装置	51	1
実習	電装実験	安全装置	51	1
実習	チームＧＰ	G20185～G20188,G20192,G20193	51	1
実習	チームＧＰ	G20185～G20188,G20192,G20193	51	1
実習	チームＧＰ	G20121～G20122	51	1
実習	チームＧＰ	G20121～G20122	51	1
実習	準備片付け		51	1

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	後期	総合実習Ⅰ

教員（実務経験）	担任（　　）	

1.授業概要と履修前提	総合的な実習で整備士としての様々なスキルアップする。
2.教科の到達目標	
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	

授業時間	学科	実習	試験
118	0	118	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	整備技術	３年生振り返り（含:面談）	実習場	17
実習	整備技術	３年生振り返り（含:面談）	実習場	2
実習	まとめ		実習場	35
実習	卒業研究		実習場	61
実習	確認試験（実力試験）		実習場	3

シラバス	高度自動車工学科　３年		
	2026年度	通年	キャリア開発Ⅲ

教員（実務経験）	担任（　　）	

1.授業概要と履修前提	総合的な実習で整備士としての様々なスキルアップする。
2.教科の到達目標	
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	

授業時間	学科	実習	試験
0	0	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
	工場見学	技術コンクール見学	教室	7
	目標管理	目標選定	教室	2
	トーク＆ライブ		教室	3
	企業研究	会社訪問準備	教室	3
	就職セミナー	採用担当者講義	教室	3
	就職支援		教室	20
	技術講演会		教室	3
	生活安全講話		教室	2
	就職決起大会		教室	2
	キャリア		教室	4

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	前期	ボデー通信制御

教員（実務経験）	谷川　亮太（　　）	森　正美（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ボデー多重通信（ＣＡＮ、ＬＩＮ、ＡＶＣ－ＬＡＮ　Ｐｌｕｓ、ＭＯＳＴ）の基礎の理解 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・国家試験１級筆記試験に必要な知識を身につける。 ・多重通信の知識を得ることで、自動車のＥＣＵ間の通信データのやりとりが理解できる。 ・正しい故障診断の手順を習得する。
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	○　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	平常試験：20点 定期試験：80点

授業時間	学科	実習	試験
20	20	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	多重通信の基礎知識	通信媒体,方法を理解する	教室	1
学科	多重通信の基礎知識	符号化,同期,ｴﾗｰﾁｪｯｸの方式の理解	教室	1
学科	多重通信の基礎知識	符号化,同期,ｴﾗｰﾁｪｯｸの方式の理解	教室	1
学科	多重通信の基礎知識	ｱｸｾｽ,ﾈｯﾄﾜｰｸの方式の理解	教室	1
学科	CANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙと速度,通信ﾌﾚｰﾑの理解	教室	1
学科	CANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙと速度,通信ﾌﾚｰﾑの理解	教室	1
学科	CANの基礎	国家１級試験内容理解	教室	1
学科	AVC-LANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ/ﾌﾚｰﾑ構成の理解	教室	1
学科	AVC-LANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ/ﾌﾚｰﾑ構成の理解	教室	1
学科	AVC-LANの基礎	ﾏｽﾀｰ制御の理解,ｹﾞｰﾄｳｪｲECUの理解	教室	1
学科	CXPIの基礎知識	概要、規格	教室	1
学科	CXPIの基礎知識	KINとの違い、特徴	教室	1
学科	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟｽﾗｲﾝ断線,短絡の理解	教室	1
学科	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟｽﾗｲﾝ断線,短絡の理解	教室	1
学科	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾌｪｲﾙｾｰﾌの理解	教室	1
学科	LIN	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ,ﾌﾚｰﾑ,LINの理解	教室	1
学科	LIN	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ,ﾌﾚｰﾑ,LINの理解	教室	1
学科	CASE、MaaS		教室	1
学科	定期試験		教室	1
学科	定期試験		教室	1
		G20152、G20153も含める		
		G20163－T01eテスト実施も含める		

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	前期	ボデー通信制御実習

教員（実務経験）	谷川　亮太（　　）	森　正美（販売会社）

1.授業概要と履修前提	・ボデー通信の故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・ボデー通信の故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　G2
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点 定期試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	車載多重通信	準備	実習場	1
実習	車載多重通信	車載多重通信基本項目	実習場	1
実習	車載多重通信	外部診断機を使用しCANバス診断ができる	実習場	1
実習	車載多重通信	外部診断機を使用しヘルスチェックができる	実習場	1
実習	車載多重通信	外部診断機を使用しダイアグ検知ができる	実習場	1
実習	車載多重通信	CAN通信メインバスライン断線について理解	実習場	1
実習	車載多重通信	CAN通信メインバスライン短絡について理解	実習場	1
実習	車載多重通信	CAN通信サブバスライン断線について理解	実習場	2
実習	車載多重通信	CAN通信サブバスライン短絡について理解	実習場	2
実習	車載多重通信	CAN通信セントラルゲートウェイの機能について理解	実習場	1
実習	車載多重通信	CAN通信セントラルゲートウェイのバス診断、ダイアグの理解	実習場	2
実習	車載多重通信	CXPIの制御、現象を理解	実習場	3
実習	車載多重通信	LINの制御、現象を理解	実習場	3
実習	車載多重通信	MOSTの制御、現象を理解	実習場	3
実習	車載多重通信	国家1級試験に対応した知識を得る	実習場	5
実習	車載多重通信	定期試験	実習場	2

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	前期	故障探求実習

教員（実務経験）	伊藤　亮（　　）	加藤　直人（　　）

1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　３・４ＳＴＥＰ
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：80点、保険試験：20点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	準備		実習場	1
実習	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ｽﾏｰﾄｷｰ効かない	実習場	3
実習	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ｴﾝｼﾞﾝ調子悪い	実習場	3
実習	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ワイヤレスドアロック効かない	実習場	3
実習	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ドアが閉まらない（にくい）	実習場	3
実習	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ起動せず	実習場	3
実習	国家試験問題	故障探究	実習場	3
実習	まとめ		実習場	4
実習	保険商品教育制度	新種/傷害	実習場	3
実習	保険商品教育制度	自動車	実習場	3
実習	片付け		実習場	1

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	前期	総合学科Ⅱ

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・国家試験一級合格に必要な知識を習得
2.教科の到達目標	・国家試験一級合格に向けて、教科書内容を理解する。 ・国家試験一級合格に必要な電子回路を理解する。 ・国家試験一級試験に出題される問題が解ける。
3.使用教科書、準備品	・一級自動車整備士　ｴﾝｼﾞﾝ電子制御装置 ・一級自動車整備士　シャシ電子制御 ・一級自動車整備士　新技術
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：80点　平常試験：20点

授業時間	学科	実習	試験
40	40	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	故障診断技術概要(ｴﾝｼﾞﾝ)	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	問診、前点検(ｴﾝｼﾞﾝ)、再現手法	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｴﾝｼﾞﾝ警告等点灯時の点検整備	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｴｱ・ﾌﾛｰ・ﾒｰﾀ、ﾊﾞｷｭｰﾑ・ｾﾝｻ,温度ｾﾝｻ系統	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｽﾛｯﾄﾙｾﾝｻ、O2ｾﾝｻ、ﾉｯｸｾﾝｻ系統	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	回転ｾﾝｻ、ｲｸﾞﾅｲﾀ系統、警告灯無灯時	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ＣＮＧ基礎、概要(新技術)	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ＣＮＧ構造	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ＣＮＧ機能	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ＣＮＧ燃料系ｼｽﾃﾑ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ＣＮＧ制御システム	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	CNG点検整備	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	CNG関連法規	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	平常試験(エンジン内容)		教室	1
学科	電子制御ＡＴ概要	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御ＡＴ電源回路	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御AT論理信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	電子制御ATﾘﾆｱ信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	電子制御AT周波数ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御ATｽｲｯﾁﾝｸﾞ ｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御ATﾘﾆｱ駆動ｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御AT　ECU制御	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	電子制御ATﾌｪｰﾙ機能	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	AT故障診断の進め方	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	AT異常コード表示時の点検整備(ｾﾝｻ系)	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	AT異常コード表示時の点検整備(ｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	AT異常コードを持たない場合	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	実力試験		教室	2
学科	定期試験(ｴﾝｼﾞﾝ内容)（ｼｬｼ内容)		教室	2

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	前期	総合実習Ⅱ

教員（実務経験）	阿知破　大祐（販売会社）	立山　耕司（　　）

1.授業概要と履修前提	・法令定期点検（12ヶ月、24ヶ月）整備、その他の点検（1ヶ月、6ヶ月、プロケア10）整備作業技術の習得 ・技術指導力向上とインターンシップに向けての予備知識・技術の習得 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・各種点検整備と記録簿の記載をミスなくできるようにする ・ai21を使用した整備作業の流れが分かる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：100点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	定期点検	国家試験問題（自動車点検整備）ができるようになる	教室	2
実習	定期点検	国家試験問題（自動車点検整備）ができるようになる	教室	1
実習	ａｉ２１の取り扱い	ａｉ２１の取り扱いのシステム概要を理解し、基本操作ができるようになる	CAI	1
実習	ａｉ２１の取り扱い	ａｉ２１帳票作成ができるようになる	CAI	1
実習	ａｉ２１の取り扱い	ａｉ２１を使用した業務ロープレができるようになる	CAI	1
実習	定期点検	定期点検整備作業に必要な工具、油脂等の準備ができるようになる	51	1
実習	定期点検	1,6無点 12検のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ、ｺｲﾙS/G交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	1,6無点 12検の油脂交換(ATF、D/F油、PS油)ができるようになる	51	2
実習	定期点検	12検+ﾌﾟﾛｹｱ10のｸｲｯｸ整備(ｵｲﾙ、ﾌｨﾙﾀ、ﾜｲﾊﾟ等)ができるようになる	51	2
実習	定期点検	12検のﾏｽﾀｼﾘﾝﾀﾞｷｯﾄ、ﾌﾞﾚｰｷﾎｰｽ交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	12検と24検のｼﾘﾝﾀﾞｷｯﾄ交換、R7ﾞﾚｰｷｼｭｰ交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	24検のﾌﾙｰﾄﾞ交換,ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	24検のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙとｼﾋﾞｱｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝ点検整備ができるようになる	51	2
実習	定期点検	24検+ﾌﾟﾛｹｱ10のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ、ｵﾙﾀﾈｰﾀとVﾍﾞﾙﾄ交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	24検+ﾌﾟﾛｹｱ10のﾌﾙｰﾄﾞ交換、LLC(含むｲﾝﾊﾞｰﾀ）交換ができるようになる	51	2
実習	定期点検	12ヶ月点検作業の未実施車両で不足分作業を行うことができる	51	2
実習	定期点検	受入れから作業の流れ、整備作業における注意事項がまとめられるようになる	51	2
実習	定期点検	工具、油脂等の片付け、４Ｓができるようになる	51	1

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	前期	教育実習

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟してきた定期点検作業を３年生に伝達することで人材育成力を育む
2.教科の到達目標	・定期点検作業を後輩に指導することで人材育成力を育む ・点検作業の習熟 ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	・TEAM-GP G3,G4
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	５項目の平常チェックにて評価：100点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	教育実習Ⅱ	指導手順を計画できる	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	指導内容の準備を行う	実習場	1
実習	教育実習Ⅱ	安全作業を確認し正確な作業を指導できる	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	指導内容の再確認を行う	実習場	1
実習	教育実習Ⅱ	点検及び記録簿記載方法の説明ができる	実習場	3
実習	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（2級）	実習場	3
実習	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（3級）	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（4級）	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	確認試験(技術ﾁｪｯｸ)準備	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ(1回目)	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ(2回目)	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	集計作業	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（2級）	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（3級）	実習場	2
実習	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（4級）	実習場	2

シラバス	高度自動車工学科　4 年		
	2026年度	前期	経営学

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・経営学のベーシックな理論を「経営組織」「経営戦略」「技術経営」の3つの視点で学ぶ ・『大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』（高橋伸夫著）をコンテンツの軸として進めるので 事前に読んでおくことが望ましい
2.教科の到達目標	会社の経営を担う立場としての基礎知識を修得し、現場の人材としても経営の観点をもち、 その知識を活かし企画などにおいて経営層に提案できる
3.使用教科書、準備品	・ネット通信が可能なパソコンまたはタブレット、スマートフォン ・教科書は必要なし ・授業資料はダウンロード可能
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ○　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に 基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート（発表コメント）：50点 課題発表プレゼン：50点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	経営組織論	組織デザインについて理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
学科	経営組織論	マクロ組織について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
学科	経営組織論	ﾘｰﾀﾞｰとﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝについて,自身に置き換えて考えることができる	HR	1
学科	経営戦略論	競争戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	2
学科	経営戦略論	多角化戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
学科	経営戦略論	全社戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
学科	経営戦略論	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞのﾌﾚｰﾑﾜｰｸを,実社会の事例と関連付けができる	HR	2
学科	課題のリサーチ	課題についてﾘｻｰﾁし,気づきを得る	HR	1
学科	発表資料の作成	ﾘｻｰﾁ内容の発表用の資料を完成させる	HR	1
学科	発表資料の作成	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄで解りやすい資料を作ることができる	HR	1
学科	技術経営	ﾃﾞﾌｧｸﾄｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞについて理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
学科	課題の発表	わかりやすいﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝと発表に対する改善提案ができる	HR	2

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	前期	故障探求評価実習

教員（実務経験）	伊藤　亮（　　）	加藤　直人（　　）

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟した知識技術を振り返る ・トヨタ検定§1、§2を習熟
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§1、§2を習熟 ・故障探求力の習熟 ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	・３STEP、４ＳＴＥＰ ・一級自動車整備士ｴﾝｼﾞﾝ電子制御装置
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：50点 トヨタ検定　§1及び§2の実技試験：50点

授業時間	学科	実習	試験
20	0	20	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	準備・片付		実習場	2
実習	故障探求総合	故障探求（エンジン不具合）	実習場	3
実習	故障探求総合	故障探求（ＨＶ故障探求１）	実習場	3
実習	故障探求総合	故障探求（ＨＶ故障探求２）	実習場	3
実習	故障探求総合	故障探求（ＨＶ故障探求３）	実習場	3
実習	故障探求総合	故障探求（ﾁｪｯｸﾗﾝﾌﾟ点灯）	実習場	3
実習	故障探求総合	一級対策	実習場	3

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	前期	総合学科Ⅱ

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・国家試験一級合格に必要な知識を習得
2.教科の到達目標	・国家試験一級合格に向けて、教科書内容を理解する。 ・国家試験一級合格に必要な電子回路を理解する。 ・国家試験一級試験に出題される問題が解ける。
3.使用教科書、準備品	・一級自動車整備士　ｴﾝｼﾞﾝ電子制御装置 ・一級自動車整備士　シャシ電子制御 ・一級自動車整備士　新技術
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ○　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている △　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
40	40	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	EPS概要、電源回路	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	EPS論理信号ｾﾝｻ,ﾘﾆｱ信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	3
学科	EPSｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ＥＰＳ　ECU回路	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ＥＰＳ　制御	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ＥＰＳ故障診断進め方	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	EPSﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持つ場合の故障診断	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	EPSﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持たない場合の故障診	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄAC概要、電源回路	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄAC論理信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄACﾘﾆｱ信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ｵｰﾄACｽｲｯﾁﾝｸﾞ駆動ｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ｵｰﾄACﾘﾆｱ駆動ｱｸﾁｭｴｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ｵｰﾄAC　ECU	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄAC故障診断にあたって	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄACﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持つ場合の故障診断	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ｵｰﾄACﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持たない場合の故障	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS概要、電源回路	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ABS論理信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	2
学科	ABSﾘﾆｱ信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS周波数信号ｾﾝｻ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABSポンプﾓｰﾀ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABSﾓｼﾞｭﾚｰﾀﾊﾞﾙﾌﾞ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS　ECU制御	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS　ﾌｪｲﾙｾｰﾌ制御	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS　故障診断を始める前に	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABS　ﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持つ場合の故障診断	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABSﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞを持たない場合の故障診	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	ABSまとめ	国家一級試験問題を解き、解説することが出来る	教室	1
学科	定期試験(EPS、ｵｰﾄAC）(ABS)		教室	2

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	前期	点検整備評価実習

教員（実務経験）	阿知破　大祐（販売会社）	立山　耕司（　　）

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟した知識技術を振り返ると共に３年生へ伝達をおこない、人材育成力を養う ・トヨタ検定§４、§６を習熟 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§４、§６を習熟 ・人材育成力を養う ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	レポート：10点 トヨタ検定　§４及び§６の実技試験：90点

授業時間	学科	実習	試験
50	0	50	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	体験実習まとめ	技術的な内容を共有し、自らのものにできる	実習場	3
実習	体験実習まとめ	業務的な内容を共有し、自らのものにできる	実習場	3
実習	体験実習まとめ	社会人として必要な知識を共有し、自らのものにできる	実習場	3
実習	体験実習まとめ	GWTの資料作成、発表が出来る	実習場	2
実習	準備		実習場	1
実習	点検・整備方法の検討	OJT(対3年）の方法考案できる	実習場	2
実習	片付け		実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	準備	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	セクション４　習熟	実習場	16
実習	トヨタ検定２級内容	セクション６　習熟	実習場	16
実習	トヨタ検定２級内容	検定　70％	実習場	2

シラバス	高度自動車工学科　4年		
	2026年度	後期	故障探求体験実習

教員（実務経験）	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・外部診断機を用いた故障探求の習熟及び安全管理の取り組みを理解する ・得た知識を生かし、故障探求業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	１級自動車整備士　環境・安全テキスト トヨタサービス　３ステップ４ステップ
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	インターンシップ先による評価：100点

授業時間	学科	実習	試験
43	0	43	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	安全管理	始業前の工場内４Sについて理解する	販売店	2
実習	安全管理	作業中の工場内４Sについて理解する	販売店	2
実習	安全管理	作業後の工場内４Sについて理解する	販売店	2
実習	安全管理	工具の整理整頓・管理について理解する	販売店	2
実習	安全管理	販売店における災害防止の取り組みについて理解する	販売店	2
実習	安全管理	工場設備・機器の維持管理の取り組みについて理解する	販売店	2
実習	故障診断	外部診断機を用いてダイアグコードの確認ができる	販売店	3
実習	故障診断	外部診断機を用いて初期設定ができる	販売店	3
実習	故障診断	外部診断機を用いてカスタマイズができる	販売店	3
実習	故障診断	各種測定機器を使用することができる	販売店	3
実習	故障診断	各種測定結果が理解できる	販売店	3
実習	故障診断	故障個所の切り分けができる	販売店	6
実習	故障診断	故障個所の特定ができる	販売店	10

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	総合診断体験実習

教員（実務経験）	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・受付・引渡し業務およびａｉ21ｼｽﾃﾑの基本操作の習熟、安全管理の取組を理解する ・得た知識を生かし、故障探求業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	インターンシップ先による評価：100点

授業時間	学科	実習	試験
43	0	43	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	環境保全	販売会社の取り組み方を理解する	販売店	3
実習	環境保全	ゴミの分別ができる	販売店	3
実習	環境保全	産業廃棄物の処理について理解する	販売店	2
実習	環境保全	再利用部品の活用について理解する	販売店	3
実習	環境保全	マニフェスト制度について理解する	販売店	3
実習	環境保全	自動車リサイクル法を理解する	販売店	3
実習	総合診断	受付業務ができる	販売店	3
実習	総合診断	引渡し業務ができる	販売店	3
実習	総合診断	作業管理ボードによる作業管理が理解できる	販売店	2
実習	総合診断	案内誘致活動ができる	販売店	2
実習	総合診断	フォロー活動ができる	販売店	2
実習	総合診断	お客様応対ができる	販売店	2
実習	総合診断	ai21の基本操作ができる	販売店	2
実習	総合診断	電子カタログで部品検索ができる	販売店	2
実習	総合診断	入庫部品の管理・整頓ができる	販売店	2
実習	総合診断	保証業務が理解できる	販売店	2
実習	総合診断	板金・塗装の見積業務ができる	販売店	2
実習	総合診断	ﾘｺｰﾙ・ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ業務を理解する	販売店	2

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	点検整備体験実習

教員（実務経験）	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当（販売会社）	

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。 ☆実務経験者により、上記専門知識を学ぶ
2.教科の到達目標	・定期点検作業及び付帯する整備作業を習熟 ・得た知識を生かし、定期点検業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ステップ３、４
4.ディプロマポリシーに基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	インターンシップ先による評価：100点

授業時間	学科	実習	試験
114	0	114	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	各種点検整備	エンジンオイル補充、交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	オイルフィルタの交換ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	LLCの補充、交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	エアクリーナの清掃、交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ファンベルトの調整、交換ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	バッテリの充電、交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ワイパーラバーの交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	灯火類のバルブ交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	タイヤの空気圧調整作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	タイヤローテーション作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ホイールバランス調整作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ブレーキフルード交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ブレーキパッド交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ドラムブレーキの隙間調整作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	ブレーキホイールシリンダがオーバーホールできる	販売店	4
実習	各種点検整備	タイミングベルト交換作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	点検整備記録簿が記載できる	販売店	4
実習	各種点検整備	12カ月点検の流れを理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	24カ月点検の流れを理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	車検時必要点検項目を理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	車検ラインの検査機器の取り扱いを理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	洗車及び室内清掃などの納車準備について理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	新車納車点検・整備について理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	下回り・エンジンルームのスチーム洗浄できる	販売店	3
実習	各種点検整備	下回りパスタ処理ができる	販売店	3
実習	各種点検整備	プロケア10作業ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	新車無料点検ができる	販売店	4
実習	各種点検整備	点検付帯作業について理解する	販売店	4
実習	各種点検整備	保安基準について理解する	販売店	4

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	故障探求評価実習

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟した知識技術を振り返る ・トヨタ検定§2、§3を習熟 ・TEAM-GP　各項目(空燃比F/B制御、VVT制御、故障診断)
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§2、§３を習熟 ・故障探求力の習熟 ・就職後に即戦力となる ・車の各装置の作動・特徴の理解
3.使用教科書、準備品	・３STEP、４ＳＴＥＰ ・一級自動車整備士ｴﾝｼﾞﾝ電子制御装置
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	トヨタ検定　§2及び§3の実技試験：100点 TEAM-GP　各問題の合格100%

授業時間	学科	実習	試験
35	0	35	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	準備・片付		実習場	2
実習	トヨタ検定２級試験	§2外部診断機を使用しデータモニタできる	実習場	3
実習	トヨタ検定２級試験	§2外部診断機を使用しアクティブテストができる	実習場	3
実習	トヨタ検定２級試験	§2切り分け法にて故障個所を特定できる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級試験	§3現象確認ができる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級試験	§3テスタにて電圧測定ができる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級試験	§3電源側から順に測定ができる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級試験	§3回路図が読める	実習場	1
実習	トヨタ検定２級試験	§3正しいテスタの取り扱いができる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級試験	§3不具合個所の特定ができる	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28004(空燃比E/B制御)	実習場	4
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28005(VVT制御)	実習場	4
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28001(故障診断１ DTC有]	実習場	4
実習	トヨタ検定２級試験	§２　実技試験	実習場	1
実習	トヨタ検定２級試験	§３　実技試験	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28004(空燃比診断：チェックシート)	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28005(VVT制御：チェックシート)	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28001(故障診断１ DTC有：チェックシート)	実習場	1

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	総合診断評価実習

教員（実務経験）	4年担当（　　）	4年担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・トヨタ検定§１、§５を習熟 ・TEAM-GP　各項目(LDA・ACC、スマート、ライト、リレー回路、灯火装置)
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§1、§5を習熟 ・故障探求力の習熟 ・就職後に即戦力となる ・車の各装置の作動・特徴の理解
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス　３STEP、４ＳＴＥＰ ・TEAM-GP【G2】
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	トヨタ検定　§1及び§5の実技試験：100点 TEAM-GP　各問題の合格100%

授業時間	学科	実習	試験
35	0	35	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	教材準備かたずけ		実習場	1
実習	TEAM-GP	内容確認	実習場	2
実習	トヨタ検定２級内容	§１ピストン外径の測定ができる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§１シリンダ内径の測定ができる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§１ピストンクリアランスが計算できる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§１良否判定ができる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§1オイル上がり、下がりの原因が特定できる	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§1ピストンの脱着作業ができる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級内容	§5EFIの学科的内容が理解できる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級内容	§5ATの学科的内容が理解できる	実習場	2
実習	トヨタ検定２級内容	§5CVTの学科的内容が理解できる	実習場	2
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G20189－G20191(ＬＤＡ、ＡＣＣ)	実習場	3
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G20206－G20208(スマート)	実習場	3
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G20223(ライト)	実習場	3
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28002(リレー回路)	実習場	3
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28003(灯火装置)	実習場	3
実習	トヨタ検定２級内容	§１　実技試験	実習場	1
実習	トヨタ検定２級内容	§５　実技試験	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28002(リレー回路：チェックシート)	実習場	1
実習	TEAM-GP【Ｇ２】	G28003(灯火装置：チェックシート)	実習場	1

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	自動車法規Ⅱ

教員（実務経験）	４年　担当（　　）	４年　担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・国家試験一級内容の自動車法規の知識を習得
2.教科の到達目標	・国家試験一級合格に向けた知識の習得 ・就職後に整備士として必要な関連法規を習得
3.使用教科書、準備品	・法令教材 ・法令教本
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	自動車法規	道路運送車両法　総則を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両法　自動車の登録を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両法　保安基準を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両法　点検整備を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両法　検査を理解する	教室	1
学科	自動車法規	自動車の整備事業を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両法施工規則の別表を理解する	教室	1
学科	自動車法規	自動車点検基準を理解する	教室	1
学科	自動車法規	道路運送車両の保安基準を理解する	教室	1
学科	自動車法規	保安基準を理解する(１６２条から１７０条)	教室	1
学科	自動車法規	保安基準を理解する(１７１条から１９７条)	教室	1
学科	自動車法規	保安基準を理解する(１９８条から２１８条)	教室	1
学科	自動車法規	保安基準を理解する(２１９条から２２４条)	教室	1
学科	自動車法規	保安基準を理解する(２２５条から２３７条)	教室	1
学科	自動車法規	定期試験	教室	1

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	学年末	総合実習Ⅲ

教員（実務経験）	４年　担当（　　）	４年　担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・国家1級試験（筆記）で合格点（８０％以上）を達成する。 ・国家1級試験（口述）で合格点（８０％以上）を達成する。
2.教科の到達目標	・過去の１級国家試験問題を全て理解できる ・過去のJAMCA問題を全て理解できる ・1級テキストの記載内容を全て理解し、内容を記憶できる
3.使用教科書、準備品	・1級テキスト（エンジン、ｼｬｼ、新技術、安全環境） ・法令テキスト
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	◎　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ◎　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	定期試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
205	0	205	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	1級模擬試験	国家1級試験の合格点と部分点の理解	教室	1
実習	1級模擬試験	診断定期試験	教室	2
実習	販売店業務の分析	定期点検以外の整備ができる	教室	3
実習	販売店業務の分析	車両整備以外のサービス業務が理解できる	教室	3
実習	販売店業務の分析	接客業務の概要が理解できる	教室	2
実習	販売店業務の分析	自己のスキルアップ目標が設定できる	教室	2
実習	国家１級口述練習	問診の質問項目が全て理解できる	教室	5
実習	国家１級口述練習	問診結果から不具合部位が予測できる	教室	5
実習	国家１級口述練習	作業内容の説明ができる	教室	5
実習	国家１級口述練習	不具合、交換部品の説明ができる	教室	5
実習	国家１級口述練習	計測値から正常、異常の判定ができる	教室	5
実習	国家１級口述練習	制限時間内に全ての項目が質問、説明できる	教室	5
実習	JAMCA模擬試験（口述）	過去問題の実施（2025～2022年度）	教室	8
実習	国家１級内容復習	装置別○×問題の理解（ｴﾝｼﾞﾝ）	教室	7
実習	国家１級内容復習	装置別○×問題の理解（ｼｬｼ）	教室	7
実習	国家１級内容復習	装置別○×問題の理解（ｴﾚｷ）	教室	7
実習	国家１級内容復習	装置別○×問題の理解（法令）	教室	7
実習	国家１級内容復習	装置別○×問題の理解（安全環境）	教室	7
実習	国家１級内容復習	過去問題の理解（2025～2018年度）	教室	56
実習	国家１級内容復習	JAMCA問題の理解（2025～2018年度）	教室	56
実習	国家１級内容復習	過去出題の苦手問題が克服できる	教室	4
実習	国家１級内容復習	定期試験	教室	3

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	学年末	エスティメーション実習

教員（実務経験）	４年　担当（　　）	４年　担当（　　）

1.授業概要と履修前提	高度自動車科課程の特色の一つである「エスティメーション3級」の資格を取得する為の知識を得る
2.教科の到達目標	・セクション１で70%以上正解すること ・セクション２で70%以上正解すること
3.使用教科書、準備品	・エスティメーション3級テキスト ・電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	エステメーション資格試験：100点

授業時間	学科	実習	試験
30	0	30	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	外板修正	事故受付け対応が理解できる	教室	1
実習	外板修正	見積もりの概要を理解できる	教室	1
実習	外板修正	見積もりに必要な知識が理解できる	教室	1
実習	外板修正	ﾎﾞﾃﾞｰ構造を理解できる	教室	1
実習	外板修正	衝撃波及と損傷診断を理解できる	教室	1
実習	修理技法	修理方法の判断が理解できる	教室	1
実習	修理技法	関連作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	標準作業時間と料金算定ができる	教室	1
実習	料金算定	標準時間の無い作業の料金が理解できる	教室	1
実習	料金算定	塗装の標準作業時間の知識が理解できる	教室	1
実習	料金算定	脱着・取替え作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	脱着・取替え作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	脱着・取替え作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	内板・骨格修正作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	内板・骨格修正作業が理解できる	教室	1
実習	料金算定	内板・骨格修正作業が理解できる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	外板修正範囲(小ﾀﾞﾒ)の把握できる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	外板修正範囲(小ﾀﾞﾒ)の把握できる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	塗装範囲と塗装料金算出ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	塗装範囲と塗装料金算出ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	ｴｽﾊﾟｰﾄII取扱い,見積書作成ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	ｴｽﾊﾟｰﾄII取扱い,見積書作成ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	総合診断ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	総合診断ができる	教室	1
実習	損傷診断,見積もり	総合診断ができる	教室	1
実習	演習１	演習１を解くことができる	教室	1
実習	演習２	演習２を解くことができる	教室	1
実習	演習３	演習３を解くことができる	教室	1
実習	演習４	演習４を解くことができる	教室	1
実習	演習５	演習５を解くことができる	教室	1

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	後期	車体構造・設計製図

教員（実務経験）	４年　担当（　　）	４年　担当（　　）

1.授業概要と履修前提	・エスティメーション3級資格に必要な自動車構造の知識を学ぶ ・自動車の構造と各部品名称を理解している、機械製図の作図と読図の基礎を理解していること
2.教科の到達目標	・外板，外装部品の名称や取り付け位置、材質、加工方法を理解できる ・自動車塗装や損傷の基礎知識を理解できる ・三角法の理解と簡単な機械部品を製図法に従って描けることができる
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト1・3STEP ・トヨタサービスエスティメーションテキスト，エスティメーションノート一式（３冊） ・コンパス、分度器、定規、三角定規
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ◎　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ○　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	設計製図(課題)：50点、車体構造(課題)：50点

授業時間	学科	実習	試験
15	15	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
学科	機械製図	機械製図の機械製図の線と文字の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の投影法の正投影法、第三角投影法の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の特殊表示法の部分投影図の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の局部投影図の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の回転投影図の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の断面法の理解	教室	1
学科	機械製図	機械製図の寸法記入法の理解	教室	1
学科	ボデー形状	ボデー形状の乗用車ﾎﾞﾃﾞｰの分類の理解	教室	1
学科	ボデー構造	ボデー構造の外板部品の自動車の外板部品の理解	教室	1
学科	ボデー構造	ボデー構造の外装部品の自動車の外装部品の理解	教室	1
学科	ボデー構造	ボデー構造の樹脂とガラスの自動車用樹脂とガラスの理解	教室	1
学科	車体材料	車体材料の塗料の基礎の塗料と塗装の基礎の理解	教室	1
学科	車体構造	車体構造の損傷診断の基礎の鋼板の特性の理解	教室	1
学科	車体構造	車体構造の新型車の構造の新型車の構造と機能の理解	教室	1
学科	車両取り扱い	車両取り扱いのHV車取り扱いのHV車の事故対応方法の理解	教室	1

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	通年	卒業研究

教員（実務経験）	４年　担当（　　）	

1.授業概要と履修前提	・高度自動車科の特色のある教育として実施する。 ・各ｾﾞﾐごとで能動的に活動し、卒業研究ｾﾞﾐを計画的に進めることで、ﾋｭｰﾏﾝｽｷﾙｱｯﾌﾟを目指す。 ・高度自動車科４年間教育の集大成とし、得意分野を持つ人材の育成をする。
2.教科の到達目標	・「自主性、創造力、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを身に付ける」 ・「向上心・探究心を養う」 ・「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を身に付ける」
3.使用教科書、準備品	・各種テキスト、過年度論文、自動車技術会発行論文集 ・電卓
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	△　国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている △　就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている △　自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	論文で評価：100点

授業時間	学科	実習	試験
179	0	179	0

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
実習	卒業研究(1)	検証	実習場	60
実習	卒業研究(2)	論文まとめ	実習場	30
実習	卒業研究(3)	発表・製本	実習場	13
実習	片付け		実習場	2
実習	国家試験対策		実習場	74

シラバス	高度自動車工学科　４年		
	2026年度	学年末	キャリア開発Ⅳ

教員（実務経験）	４年担当教員（　　）	

1.授業概要と履修前提	・社会人としての教養 ・国際感覚を養う ・定期試験の振り返り
2.教科の到達目標	・海外研修を通じて、リーダーシップ、高い国際感覚を涵養する。 ・明るく元気で、お客様に好感をいだかれる応対力を育む。 ・社会的責任の遂行力を醸成する。
3.使用教科書、準備品	・各行事、イベント用の実施要領書 ・パスポート
4.ディプロマポリシー に基づく達成目標	国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている 就職先で貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている 自動車工学の基礎知識を習得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ◎　サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている
5.評価方法	

授業時間	学科	実習	試験
0	0	0	

授業計画

学実	テーマ	到達目標	教場	時間
	講演	防災の大切さと避難方法の習得	教室	3
	インターン説明	販売店での仕事内容の理解	教室	3
	インターン説明	安全な整備作業の理解	教室	2
	インターン説明	職場のコミュニケーション手法の理解	教室	3
	国家試験	1級申請、換起	教室	4
	キャリア講演会	社会で活躍するための心構えの理解	教室	3